

令和6年度

丹生川まちづくりアンケート調査
— 報告書 —

令和6年12月5日
丹生川まちづくり協議会

目次

第1章 調査の概要	p.1
調査の目的		
調査対象		
調査方法		
調査期間		
配布方法		
回収方法		
アンケート結果の公表方法		
参考		
第2章 回収結果と標本の構成	p.2
回収結果		
標本の構成		
そのほか		
第3章 調査結果と分析	p.9
【一般向け】		
●あなたご自身について		
(1) 新聞購読状況について	p.9
(2) インターネットの利用状況について	p.10
(3) 日常の移動手段について	p.12
(4) 日常生活での困りごとについて	p.15
●丹生川まちづくり協議会について		
(5) にゅうかわまち協だよりについて	p.22
(6) まちづくり協議会活動への参加について	p.24
(7) まちづくり協議会活動に参加しない理由について	p.26
(8) 参加したい、今後も継続して欲しい事業について	p.28
(9) 見直すべき事業について	p.37
(10) まちおこしイベントの今後の在り方について	p.55
(11) まち協が取り組むべきことについて	p.59
●その他意見について		
(12) 自由意見	p.68
【中学生向け】		
●あなたご自身について		
(1) インターネットの利用状況について	p.79

（２） 日常の移動手段について	p.81
（３） 学校を除く日常生活での困りごとについて	p.83
●丹生川まちづくり協議会について		
（４） にゅうかわまち協だよりについて	p.86
（５） まちづくり協議会活動への参加について	p.88
（６） まちづくり協議会活動に参加しない理由について	p.90
（７） まちおこしイベントの今後の在り方について	p.92
（８） 最も大切にしたいまちおこしイベントについて	p.95
（９） まち協が取り組むといいことについて	p.97
●丹生川地域について		
（１０） 丹生川の魅力について	p.98
（１１） 将来の丹生川について	p.100
（１２） 丹生川のまちづくりへの取り組み意向について	p.102
【一般向けアンケート用紙】	p.104
【中学生向けアンケート用紙】	p.106

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

令和6年度は丹生川まちづくり協議会の設立から10年目となった。地域住民を対象とした「まちづくりアンケート調査」を実施し、これまでのまちづくり協議会の事業を評価・検証する。

2. 調査対象

- ①丹生川まちづくりアンケート（一般向け）丹生川地域の町内会加入世帯（1,104世帯×2名分）
- ②丹生川まちづくりアンケート（中学生向け）丹生川中学校在校の生徒（105名）

3. 調査方法

・無記名によるアンケート調査方式

4. 調査期間

- （1）丹生川まちづくりアンケート調査（一般向け）
令和6年7月1日（月）～7月31日（水）
- （2）丹生川まちづくりアンケート調査（中学生向け）
令和6年9月20日（金）～10月4日（金）

5. 配布方法

- （1）一般向けは、町内会を通じてアンケート用紙（各世帯数2枚）と返信用封筒を配布（オンライン回答用の2次元コード掲載）
- （2）中学生向けは、学校を通じてアンケート用紙を配布（オンライン回答用の2次元コード掲載）

6. 回収方法

- （1）返信用封筒にて送付
- （2）町内会で取りまとめてもらい回収
- （3）事務局へ持ち込み
- （4）オンライン回答

7. アンケート結果の公表方法

- （1）広報紙「にゅうかわまち協だより」
- （2）各世帯へアンケート調査報告書の配布
- （3）丹生川まちづくり協議会HPへの掲載

8. 参考

・令和5年度国府町まちづくりアンケート調査 ー報告書ー

第2章 回収結果と標本の構成

1. 回収結果

	【一般向け】	【中学生向け】
発送数	2,208 通	105 通
対象人数	2,208 人	105 人
回収数	1,273 人	97 人
回収率	57.7%	92.4%

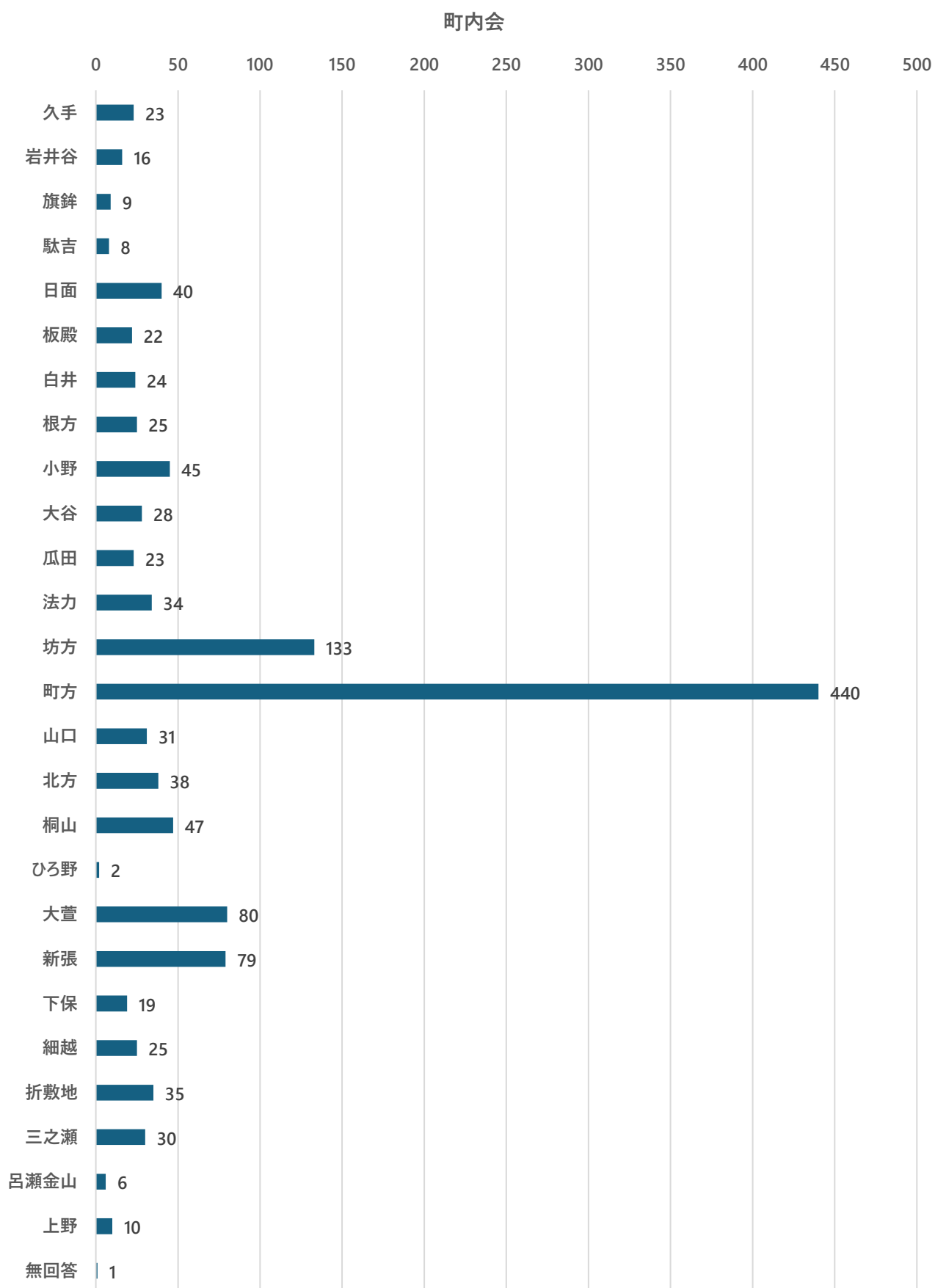
2. 標本の構成

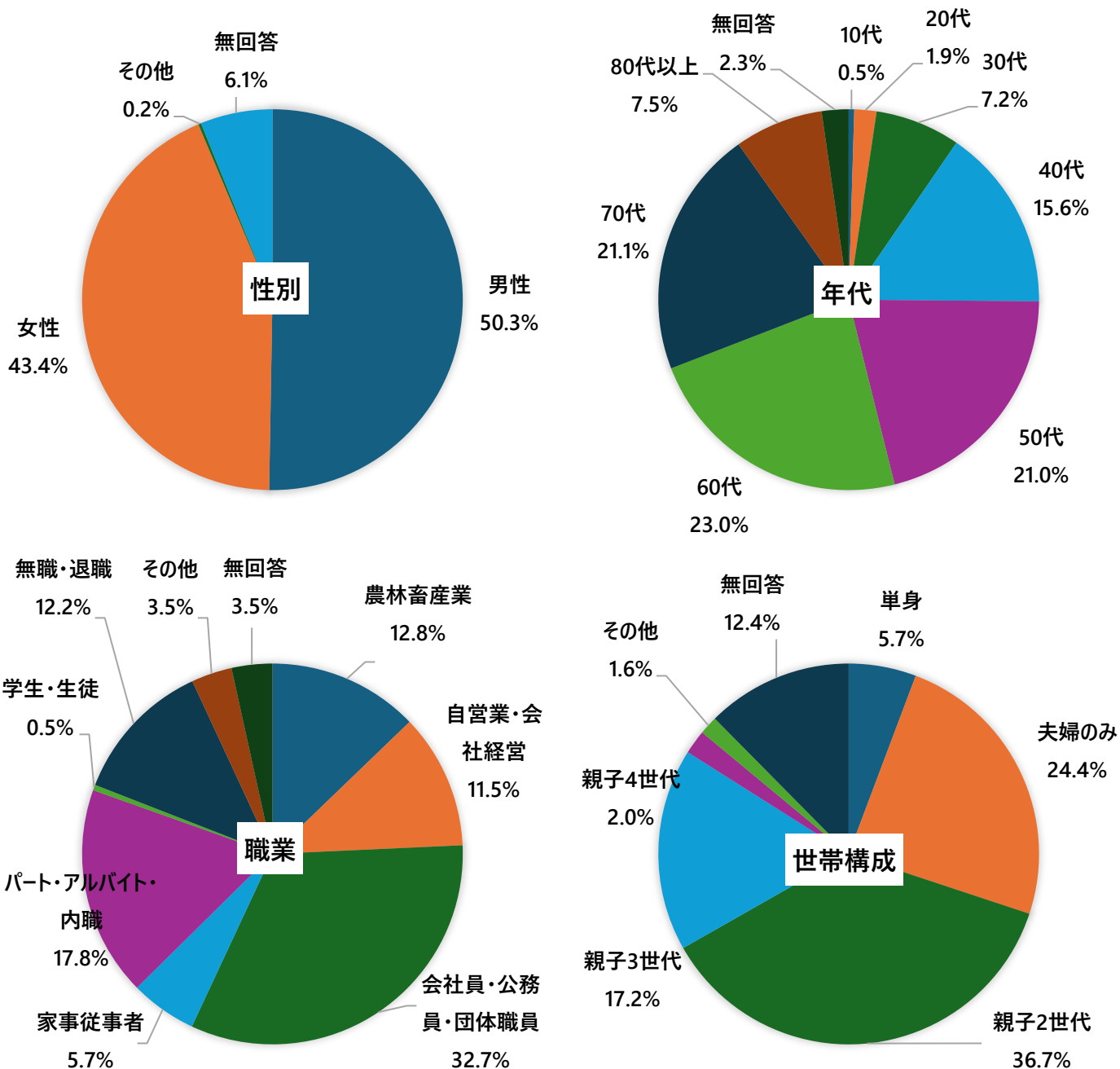
(1) 丹生川まちづくりアンケート 【一般向け】

1. 町内会	実数	構成比
① 久手	23	1.8%
② 岩井谷	16	1.3%
③ 旗鉾	9	0.7%
④ 駄吉	8	0.6%
⑤ 日面	40	3.1%
⑥ 板殿	22	1.7%
⑦ 白井	24	1.9%
⑧ 根方	25	2.0%
⑨ 小野	45	3.5%
⑩ 大谷	28	2.2%
⑪ 瓜田	23	1.8%
⑫ 法力	34	2.7%
⑬ 坊方	133	10.4%
⑭ 町方	440	34.6%
⑮ 山口	31	2.4%
⑯ 北方	38	3.0%
⑰ 桐山	47	3.7%
⑱ ひろ野	2	0.2%
⑲ 大萱	80	6.3%
⑳ 新張	79	6.2%
㉑ 下保	19	1.5%
㉒ 細越	25	2.0%
㉓ 折敷地	35	2.7%
㉔ 三之瀬	30	2.4%
㉕ 呂瀬金山	6	0.5%
㉖ 上野	10	0.8%
㉗ 無回答	1	0.1%
全体	1,273	100.0%

2. 性別	実数	構成比
① 男性	640	50.3%
② 女性	552	43.4%
③ その他	3	0.2%
④ 無回答	78	6.1%
全体	1,273	100.0%
3. 年代	実数	構成比
① 10代	6	0.5%
② 20代	24	1.9%
③ 30代	92	7.2%
④ 40代	198	15.6%
⑤ 50代	267	21.0%
⑥ 60代	293	23.0%
⑦ 70代	268	21.1%
⑧ 80代以上	96	7.5%
⑨ 無回答	29	2.3%
全体	1,273	100.0%
4. 職業	実数	構成比
① 農林畜産業	163	12.8%
② 自営業・会社経営	146	11.5%
③ 会社員・公務員・団体職員	416	32.7%
④ 家事従事者	72	5.7%
⑤ パート・アルバイト・内職	227	17.8%
⑥ 学生・生徒	6	0.5%
⑦ 無職・退職	155	12.2%
⑧ その他	44	3.5%
⑨ 無回答	44	3.5%
全体	1,273	100.0%
5. 世帯構成	実数	構成比
① 単身	73	5.7%
② 夫婦のみ	310	24.4%
③ 親子（2世代）	467	36.7%
④ 親子（3世代）	219	17.2%
⑤ 親子（4世代）	26	2.0%
⑥ その他	20	1.6%
⑦ 無回答	158	12.4%
全体	1,273	100.0%

<グラフで見た標本構成>





丹生川地域の年代別人口比率と回収年代別人口比率の対比

単位：%

年代	年代別人口比率	回収年代別人口比率	対比率
10代	9.5	0.5	5.3
20代	7.0	1.9	27.1
30代	7.8	7.2	92.3
40代	12.8	15.6	121.9
50代	13.6	21.0	154.4
60代	13.7	23.0	167.9
70代	15.9	21.1	132.7
80代以上	12.2	7.5	61.5

※年代別人口比率は、令和6年6月30日現在

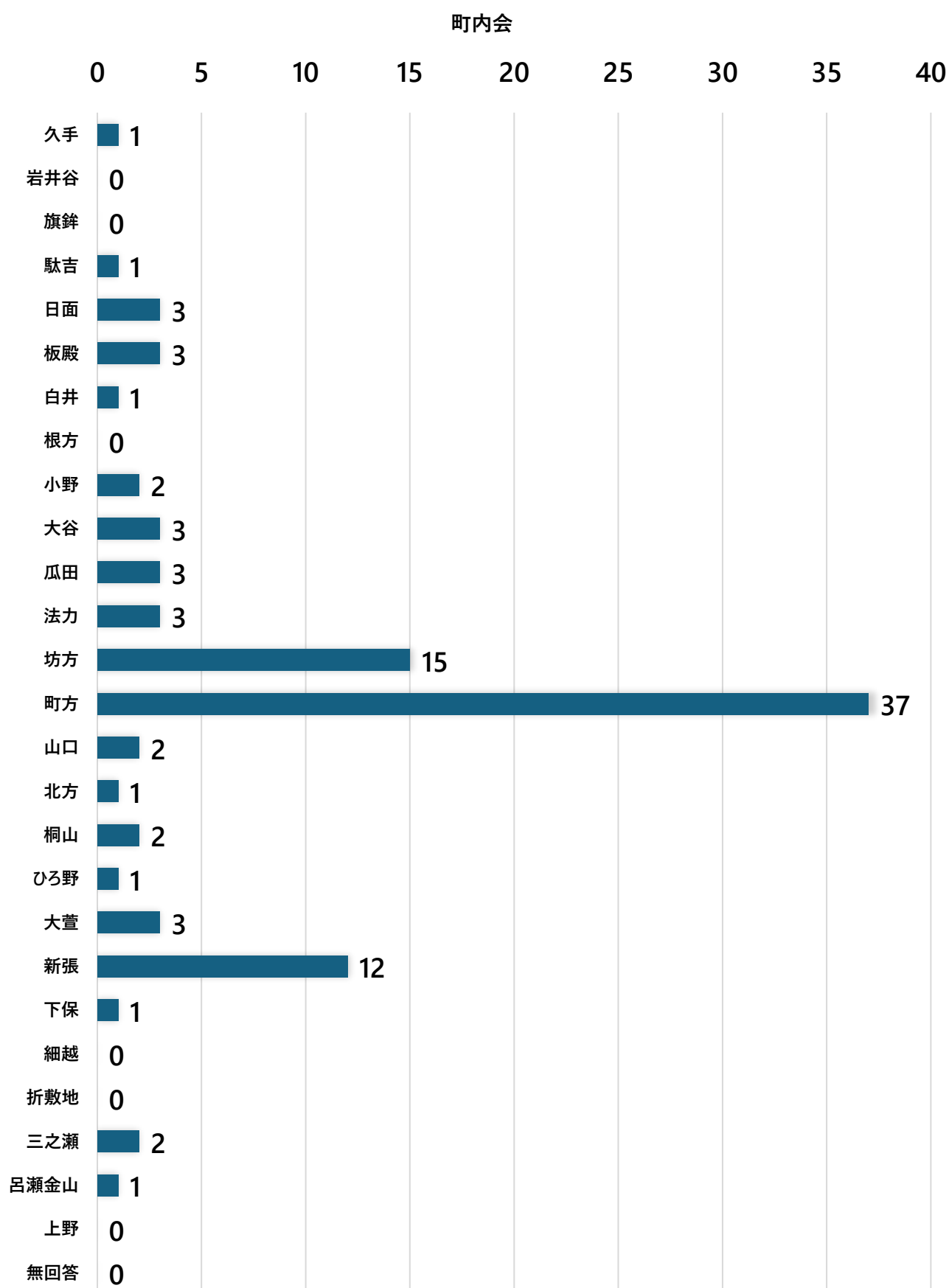
- ・世帯を対象としたアンケート調査は、老若男女幅広い意向を把握するため、可能な限り各世帯 2 人の協力を呼びかけた
- ・性別では男性が 50.3%とほぼ均衡した回収が得られた
- ・年代別では 40 代から 70 代が中心となり、30 代は相当比率となったが、20 代の回収は低迷し若年層の意向把握が課題となった
- ・中学生は別にアンケートを依頼したことから、10 代の比率は低くなった
- ・職業別では、会社員・公務員・団体職員などサラリーマンが約 3 分の 1、次いでパート・アルバイト・内職、農林畜産業の順となった
- ・家族構成では、親子（2 世代）が 36.7%と最も多かった

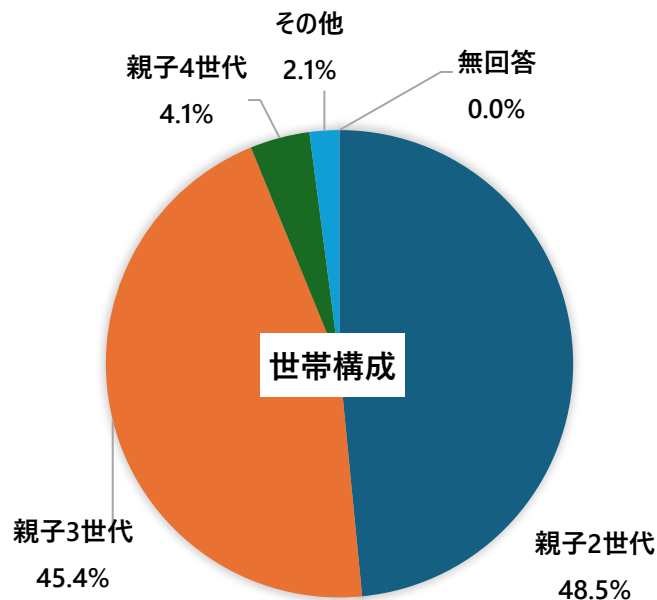
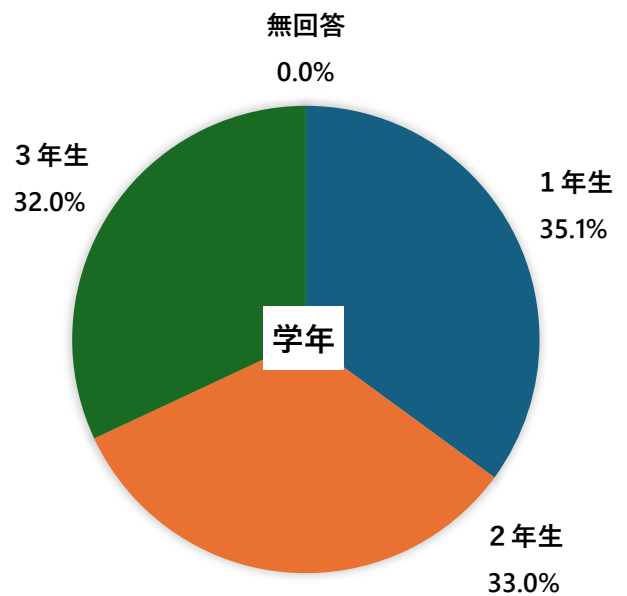
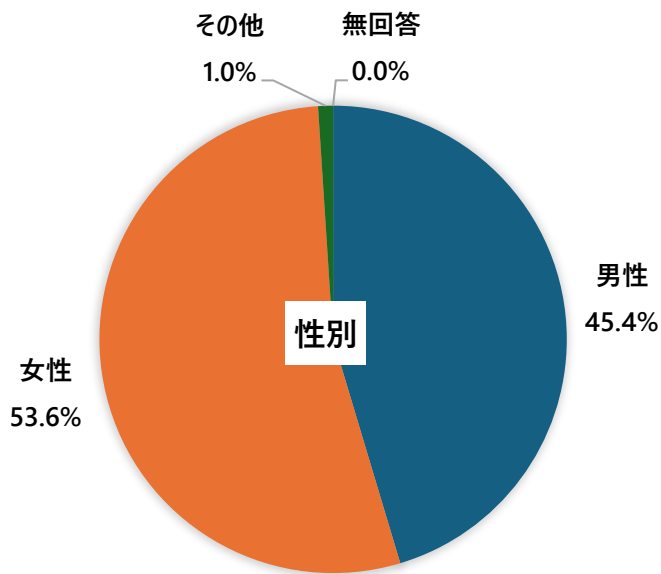
(2) 丹生川まちづくりアンケート【中学生向け】

1. 町内会	実数	構成比
① 久手	1	1.0%
② 岩井谷	0	0.0%
③ 旗鉾	0	0.0%
④ 駄吉	1	1.0%
⑤ 日面	3	3.1%
⑥ 板殿	3	3.1%
⑦ 白井	1	1.0%
⑧ 根方	0	0.0%
⑨ 小野	2	2.1%
⑩ 大谷	3	3.1%
⑪ 瓜田	3	3.1%
⑫ 法力	3	3.1%
⑬ 坊方	15	15.5%
⑭ 町方	37	38.1%
⑮ 山口	2	2.1%
⑯ 北方	1	1.0%
⑰ 桐山	2	2.1%
⑱ ひろ野	1	1.0%
⑲ 大萱	3	3.1%
⑳ 新張	12	12.4%
㉑ 下保	1	1.0%
㉒ 細越	0	0.0%
㉓ 折敷地	0	0.0%
㉔ 三之瀬	2	2.1%
㉕ 呂瀬金山	1	1.0%
㉖ 上野	0	0.0%
㉗ 無回答	0	0.0%
全体	97	100.0%

2. 性別	実数	構成比
① 男性	44	45.4%
② 女性	52	53.6%
③ その他	1	1.0%
④ 無回答	0	0.0%
全体	97	100.0%
3. 学年	実数	構成比
① 1年生	34	35.1%
② 2年生	32	33.0%
③ 3年生	31	32.0%
④ 無回答	0	0.0%
全体	97	100.0%
4. 世帯構成	実数	構成比
① 親子(2世代)	47	48.5%
② 親子(3世代)	44	45.4%
③ 親子(4世代)	4	4.1%
④ その他	2	2.1%
⑤ 無回答	0	0.0%
全体	97	100.0%

<グラフで見た標本構成>





- ・学校の郷土学として「にゅうかわ学」に取り組む中学生を対象にアンケート調査を行い、若年層の地域に対する意向を把握した
- ・中学生の人数も町内会間の格差が大きく、町方が突出している

3. そのほか

この報告書における「回答率」は次の計算式により算出している。

$$\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$$

回答率は百分率（％）で、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100％とはならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100％を超える。

第3章 調査結果と分析

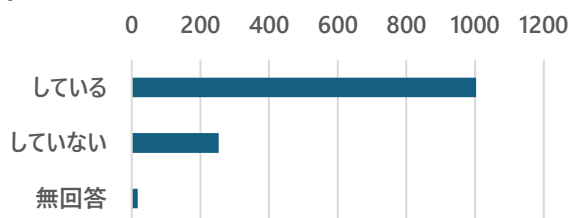
【一般向け】

●あなたご自身について

(1) 新聞購読状況について

問1. あなたのご家庭では新聞購読されていますか？

新聞購読	実数	回答率
① 新聞購読している	1003	78.8%
② 新聞購読していない	253	19.9%
③ 無回答	17	1.3%
全体	1273	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 新聞購読している	515	431	2	55	1003
② 新聞購読していない	123	120	1	9	253
③ 無回答	2	1	0	14	17
合計	640	552	3	78	1273

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① 新聞購読している	3	10	45	127	225	255	239	89	10	1003
② 新聞購読していない	3	14	47	70	42	38	28	6	5	253
③ 無回答	0	0	0	1	0	0	1	1	14	17
合計	6	24	92	198	267	293	268	96	29	1273

○全体

・新聞購読世帯はおよそ8割と多い状況である

○男女別にみると

・男性と女性では「新聞購読していない」にはあまり差はない

○年代別にみると

・30代より若い世代では「新聞購読している」と「新聞購読していない」では同じくらいである

⇒・新聞を購読している世帯は約8割。

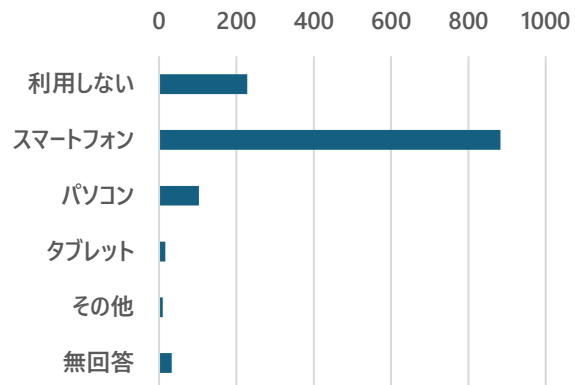
・40代以上の世帯では購読率が高いが、30代から若年層は約半数が購読していない状況。

・若年層への情報発信は新聞折込みによらない方法を検討する必要がある。

(2) インターネットの利用状況について

問2. あなたはインターネットを利用しますか？主にどんな機器を使いますか？

インターネット	実数	構成比
① 利用しない	228	17.9%
② スマートフォン	883	69.4%
③ パソコン	103	8.1%
④ タブレット	16	1.3%
⑤ その他	10	0.8%
⑥ 無回答	33	2.6%
全体	1273	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 利用しない	96	114	1	17	228
② スマートフォン	447	400	1	35	883
③ パソコン	82	18	1	2	103
④ タブレット	8	6	0	2	16
⑤ その他	4	4	0	2	10
⑥ 無回答	3	10	0	20	33
合計	640	552	3	78	1273

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① 利用しない	1	0	2	3	10	42	100	64	6	228
② スマートフォン	4	21	87	186	230	203	128	16	8	883
③ パソコン	0	3	2	7	23	38	27	3	0	103
④ タブレット	0	0	0	1	4	6	3	1	1	16
⑤ その他	1	0	1	1	0	2	1	4	0	10
⑥ 無回答	0	0	0	0	0	2	9	8	14	33
合計	6	24	92	198	267	293	268	96	29	1273

○全体

- ・インターネットを利用する方がおよそ 8 割
- ・どの年代も「スマートフォン」の利用が多い
- ・その他の意見として「ゲーム機」、「スマートフォンとパソコン」、「すべてで利用」などがあつた

○男女別にみると

- ・「インターネットを利用しない」はおよそ 20%いる
- ・男性よりも女性が「インターネットを利用しない」が多い

○年代別にみると

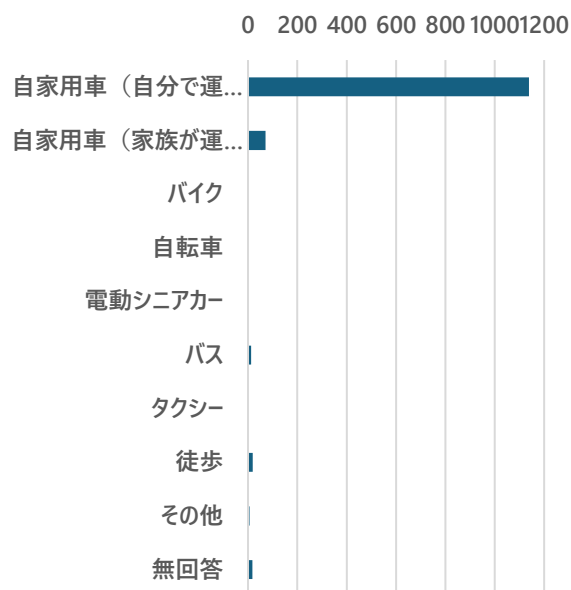
- ・ほとんどの世代で「スマートフォン」を使ってインターネット利用を行っているが、80 代以上では「インターネット利用はしない」が多い
- ・60 代のうち「インターネット利用をしない」人は 10%程度いる
- ・70 代のうち「インターネット利用をしない」人は 30%程度いる
- ・80 代以上のうち「インターネット利用をしない」は「スマートフォン」で利用するよりも 4 倍いる

- ⇒・インターネットを利用しないとの回答は 2 割弱で、8 割は何らかの方法でインターネットを利用しており、特にスマートフォンの利用が 7 割と最も多くなっている。
- ・スマートフォン活用に適した情報発信や状況把握が必要となる。
 - ・2 割弱はインターネットを利用していなく、従来の新聞折込みやまち協だよりなどの媒体も欠くことはできない。

(3) 日常の移動手段について

問3. 通勤・通学、買い物・通院など、あなたの日常の主な移動手段は何ですか？

移動手段	実数	構成比
① 自家用車（自分で運転）	1138	89.4%
② 自家用車（家族が運転）	71	5.6%
③ バイク	4	0.3%
④ 自転車	3	0.2%
⑤ 電動シニアカー	1	0.1%
⑥ バス	13	1.0%
⑦ タクシー	0	0.0%
⑧ 徒歩	19	1.5%
⑨ その他	6	0.5%
⑩ 無回答	18	1.4%
全体	1273	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 自家用車（自分で運転）	605	480	2	51	1138
② 自家用車（家族が運転）	21	42	1	7	71
③ バイク	1	3	0	0	4
④ 自転車	3	0	0	0	3
⑤ 電動シニアカー	0	0	0	1	1
⑥ バス	0	11	0	2	13
⑦ タクシー	0	0	0	0	0
⑧ 徒歩	4	14	0	1	19
⑨ その他	3	2	0	1	6
⑩ 無回答	3	0	0	15	18
合計	640	552	3	78	1273

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① 自家用車 (自分で運転)	0	24	91	194	259	277	238	43	12	1138
② 自家用車 (家族が運転)	1	0	0	1	3	14	14	37	1	71
③ バイク	0	0	0	1	0	0	1	2	0	4
④ 自転車	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
⑤ 電動シニアカー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
⑥ バス	0	0	1	0	1	1	5	5	0	13
⑦ タクシー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 徒歩	3	0	0	0	2	1	8	3	2	19
⑨ その他	0	0	0	2	0	0	1	3	0	6
⑩ 無回答	0	0	0	0	1	0	0	3	14	18
合計	6	24	92	198	267	293	268	96	29	1273

地区公民館別内訳	旗鉾地区	白井地区	法力地区	坊方地区	町方地区	中根地区	細越地区	荒城地区	無回答	合計
① 自家用車 (自分で運転)	49	137	82	120	410	154	125	60	1	1138
② 自家用車 (家族が運転)	6	8	3	6	31	4	3	10	0	71
③ バイク	0	1	0	1	0	2	0	0	0	4
④ 自転車	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
⑤ 電動シニアカー	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
⑥ バス	1	5	0	2	2	3	0	0	0	13
⑦ タクシー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 徒歩	0	0	0	1	15	1	2	0	0	19
⑨ その他	0	1	0	1	2	1	1	0	0	6
⑩ 無回答	0	4	0	1	10	1	1	1	0	18
合計	56	156	85	133	471	167	133	71	1	1273

○全体

- ・日常的な移動手段としては「自家用車（自分で運転）」、「自家用車（家族が運転）」での移動がほとんどである
- ・「自家用車（自分で運転）」、「自家用車（家族が運転）」の順に多い
- ・「バス」で移動するも多い
- ・その他の意見としては「友人や知人」、「社用車」などがあつた

○男女別にみると

- ・「自家用車（家族が運転）」で移動するは女性が男性より多い
- ・女性は「バス」で移動するが多い

○年代別にみると

- ・高齢になれば「自家用車（家族が運転）」の割合が多い
- ・70代や80代以上の方は「バス」で移動するが増える

○地区公民館別にみると

- ・町方地区在住の方は「徒歩」移動するもある
- ・町方地区は「自家用車（家族が運転）」で移動するが多い

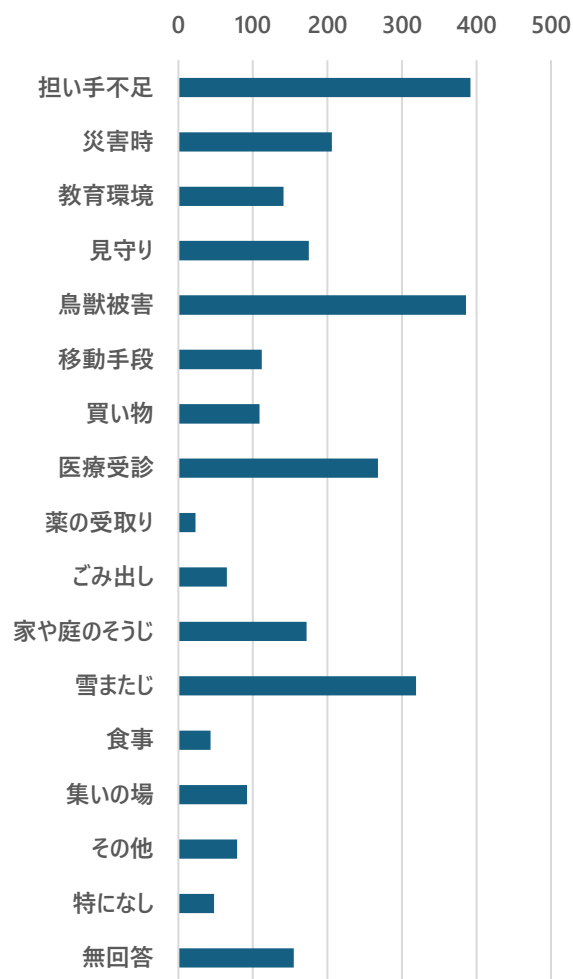
⇒・日常の移動手段の約9割が自家用車を自分で運転する回答が占め、バスなどの公共交通機関の利用は極めて少ない状況。

- ・80代以上では家族が運転する自家用車利用の回答とほぼ近い数値となり、高齢者を支える年齢層が減少傾向となっている現状から、今後さらに移動手段が大きな課題となる。

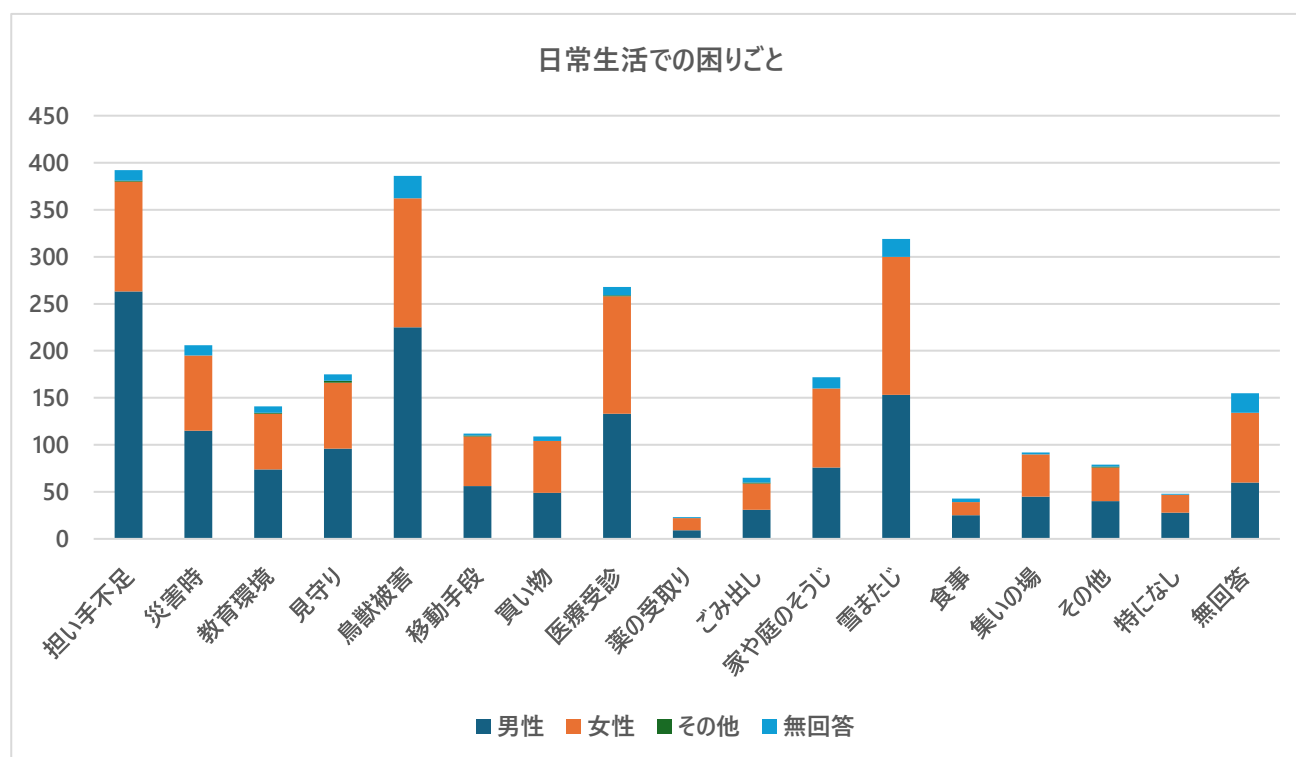
(4) 日常生活での困りごとについて

問4. 日常生活の中で、困っていることは何ですか？

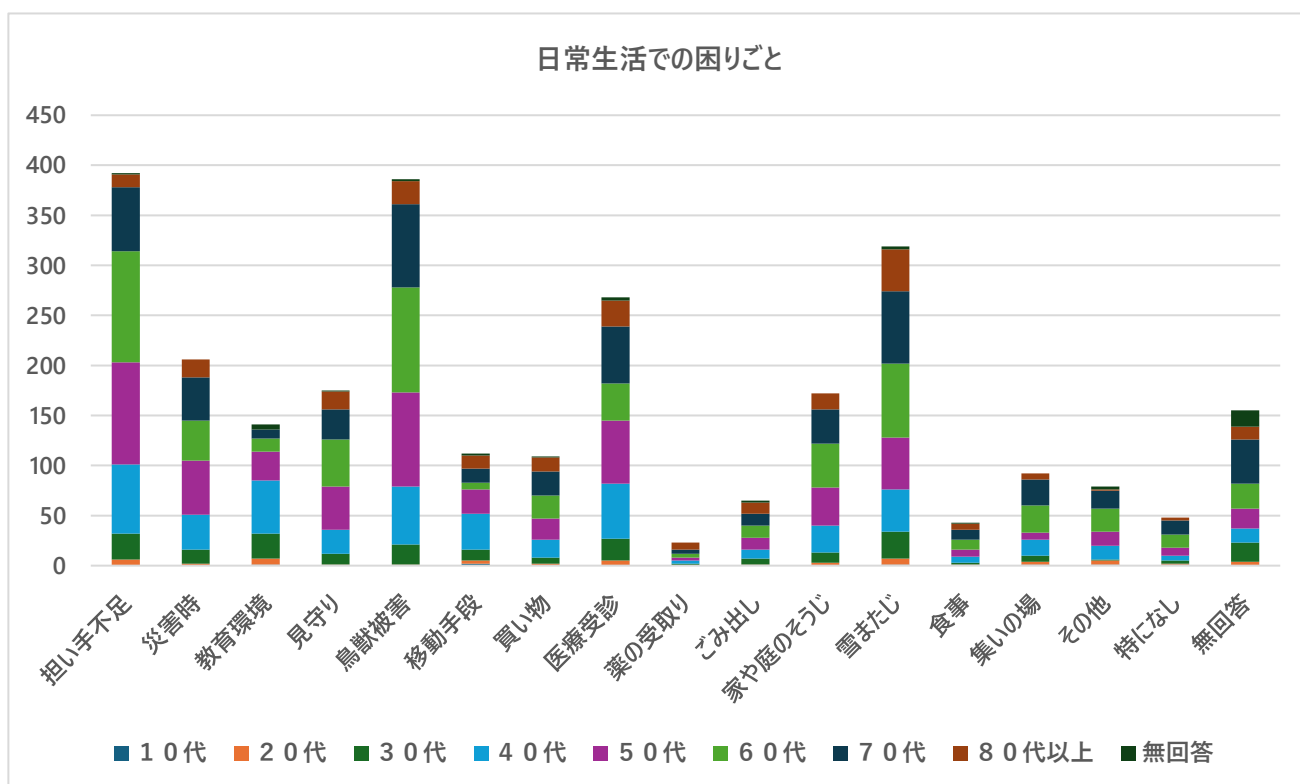
日常生活での困りごと	実数	構成比
① 地域の担い手不足	392	14.1%
② 災害時の対応	206	7.4%
③ 子どもの教育環境	141	5.1%
④ 高齢者の見守り体制	175	6.3%
⑤ 鳥獣被害	386	13.9%
⑥ 移動手段	112	4.0%
⑦ 食料品日用品の買い物	109	3.9%
⑧ 医療受診	268	9.6%
⑨ 薬の受取り	23	0.8%
⑩ ごみ出し	65	2.3%
⑪ 家や庭のそうじ	172	6.2%
⑫ 雪またじ	319	11.5%
⑬ 食事の手配	43	1.5%
⑭ 集いの場が少ない	92	3.3%
⑮ その他	79	2.8%
⑯ 特になし	48	1.7%
⑰ 無回答	155	5.6%
全体	2785	100.0%



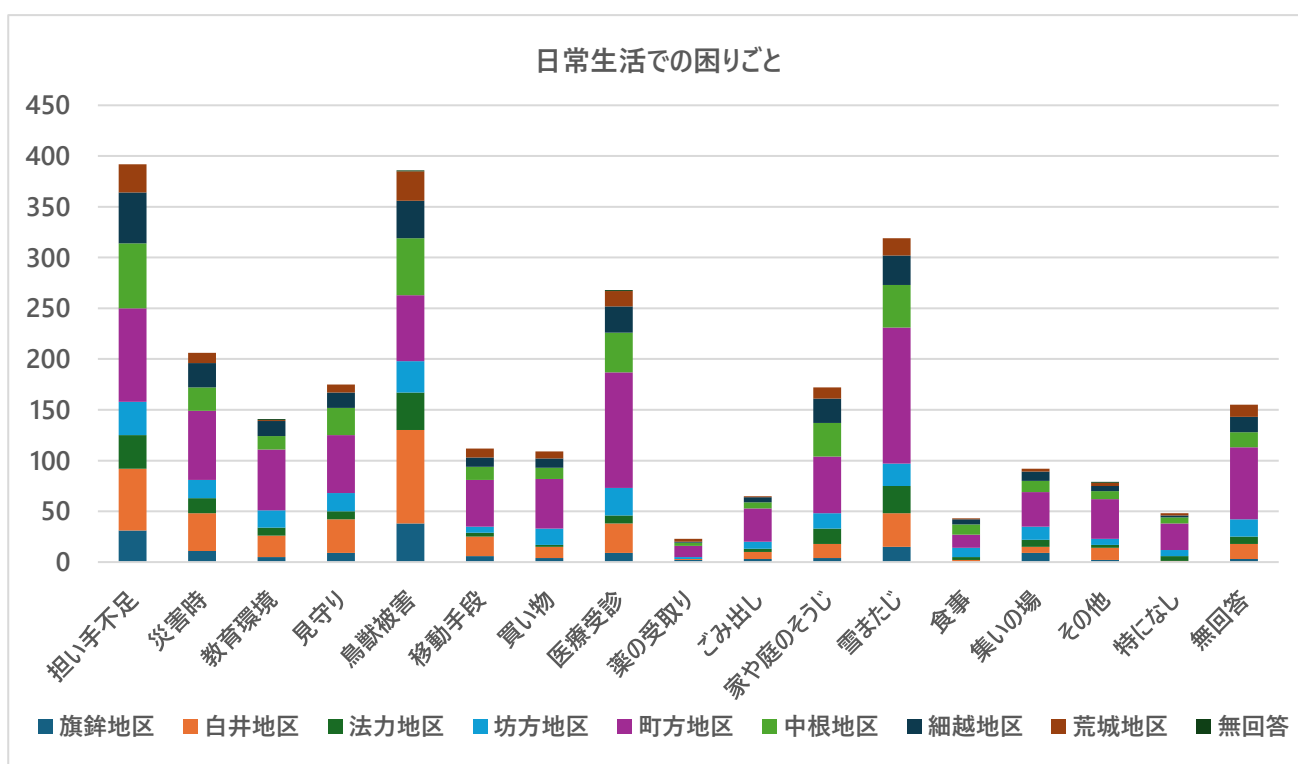
性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 地域の担い手不足	263	117	1	11	392
② 災害時の対応	115	80	0	11	206
③ 子どもの教育環境	74	59	1	7	141
④ 高齢者の見守り体制	96	70	2	7	175
⑤ 鳥獣被害	225	137	0	24	386
⑥ 移動手段	56	53	1	2	112
⑦ 食料品日用品の買い物	49	55	0	5	109
⑧ 医療受診	133	125	1	9	268
⑨ 薬の受取り	9	13	0	1	23
⑩ ごみ出し	31	28	1	5	65
⑪ 家や庭のそうじ	76	84	0	12	172
⑫ 雪またじ	153	147	0	19	319
⑬ 食事の手配	25	14	0	4	43
⑭ 集いの場が少ない	45	45	0	2	92
⑮ その他	40	36	1	2	79
⑯ 特になし	28	19	0	1	48
⑰ 無回答	60	74	0	21	155
合計	1478	1156	8	143	2785



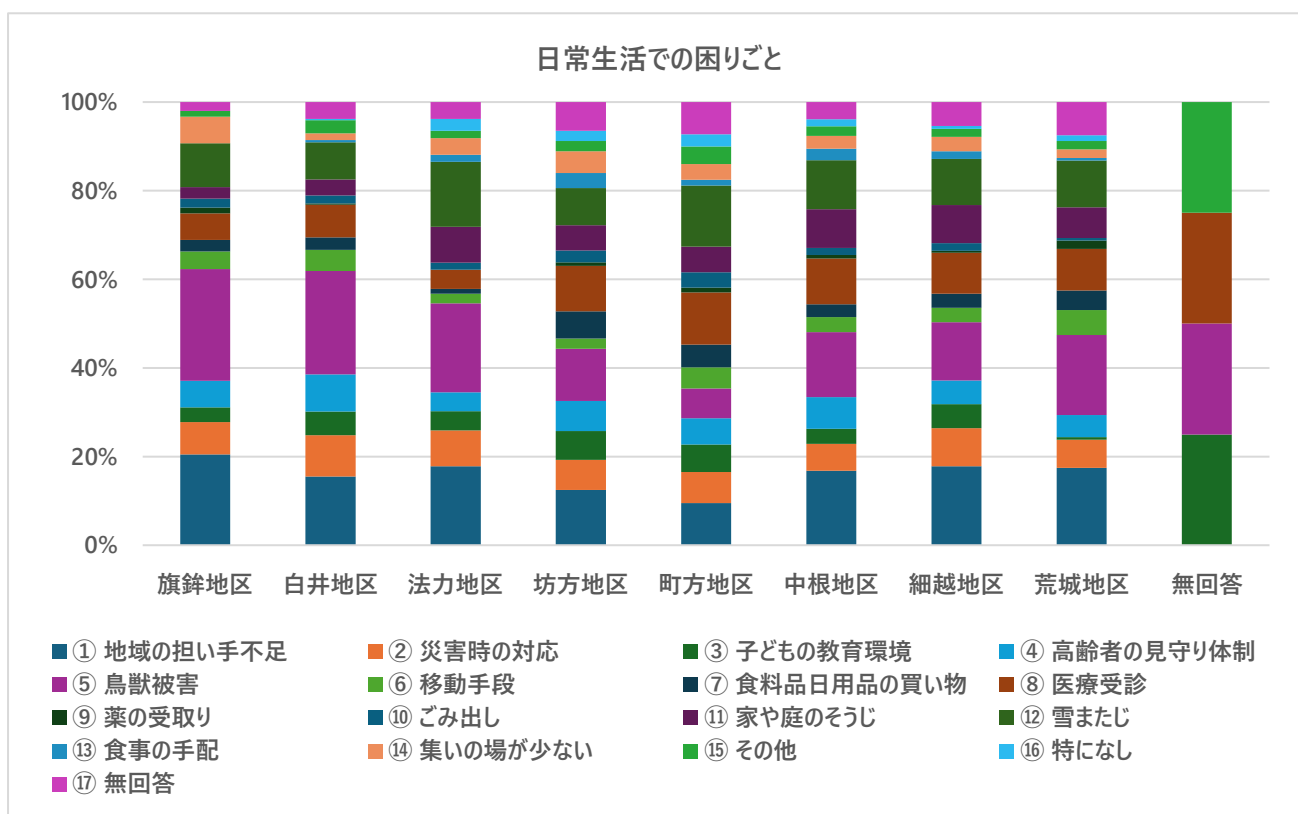
年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① 地域の担い手不足	0	6	26	69	102	111	64	13	1	392
② 災害時の対応	0	2	14	35	54	40	43	18	0	206
③ 子どもの教育環境	1	6	25	53	29	13	9	0	5	141
④ 高齢者の見守り体制	0	1	11	24	43	47	30	18	1	175
⑤ 鳥獣被害	0	1	20	58	94	105	83	23	2	386
⑥ 移動手段	2	3	11	36	24	7	14	13	2	112
⑦ 食料品日用品の買い物	0	2	6	18	21	23	24	14	1	109
⑧ 医療受診	0	5	22	55	63	37	57	26	3	268
⑨ 薬の受取り	0	0	2	3	3	4	4	7	0	23
⑩ ごみ出し	0	1	6	9	12	12	12	11	2	65
⑪ 家や庭のそうじ	0	3	10	27	38	44	34	16	0	172
⑫ 雪またじ	1	6	27	42	52	74	72	42	3	319
⑬ 食事の手配	0	1	2	6	7	10	10	6	1	43
⑭ 集いの場が少ない	1	3	6	16	7	27	26	6	0	92
⑮ その他	1	4	1	14	14	23	18	1	3	79
⑯ 特になし	1	1	3	5	8	13	14	3	0	48
⑰ 無回答	0	4	19	14	20	25	44	13	16	155
合計	7	49	211	484	591	615	558	230	40	2785



地区公民館別内訳	旗鉾地区	白井地区	法力地区	坊方地区	町方地区	中根地区	細越地区	荒城地区	無回答	合計
① 地域の担い手不足	31	61	33	33	92	64	50	28	0	392
② 災害時の対応	11	37	15	18	68	23	24	10	0	206
③ 子どもの教育環境	5	21	8	17	60	13	15	1	1	141
④ 高齢者の見守り体制	9	33	8	18	57	27	15	8	0	175
⑤ 鳥獣被害	38	92	37	31	65	56	37	29	1	386
⑥ 移動手段	6	19	4	6	46	13	9	9	0	112
⑦ 食料品日用品の買い物	4	11	2	16	49	11	9	7	0	109
⑧ 医療受診	9	29	8	27	114	39	26	15	1	268
⑨ 薬の受取り	2	1	0	2	11	3	1	3	0	23
⑩ ごみ出し	3	7	3	7	33	6	5	1	0	65
⑪ 家や庭のそうじ	4	14	15	15	56	33	24	11	0	172
⑫ 雪またじ	15	33	27	22	134	42	29	17	0	319
⑬ 食事の手配	0	2	3	9	13	10	5	1	0	43
⑭ 集いの場が少ない	9	6	7	13	34	11	9	3	0	92
⑮ その他	2	12	3	6	39	8	5	3	1	79
⑯ 特になし	0	1	5	6	26	6	2	2	0	48
⑰ 無回答	3	15	7	17	71	15	15	12	0	155
合計	151	394	185	263	968	380	280	160	4	2785



地区公民館別内訳（割合）	旗鈴地区	白井地区	法力地区	坊方地区	町方地区	中根地区	細越地区	荒城地区	無回答	合計
① 地域の担い手不足	20.5	15.5	17.8	12.5	9.5	16.8	17.9	17.5	0.0	20.5%
② 災害時の対応	7.3	9.4	8.1	6.8	7.0	6.1	8.6	6.3	0.0	7.3%
③ 子どもの教育環境	3.3	5.3	4.3	6.5	6.2	3.4	5.4	0.6	25.0	3.3%
④ 高齢者の見守り体制	6.0	8.4	4.3	6.8	5.9	7.1	5.4	5.0	0.0	6.0%
⑤ 鳥獣被害	25.2	23.4	20.0	11.8	6.7	14.7	13.2	18.1	25.0	25.2%
⑥ 移動手段	4.0	4.8	2.2	2.3	4.8	3.4	3.2	5.6	0.0	4.0%
⑦ 食料品日用品の買い物	2.6	2.8	1.1	6.1	5.1	2.9	3.2	4.4	0.0	2.6%
⑧ 医療受診	6.0	7.4	4.3	10.3	11.8	10.3	9.3	9.4	25.0	6.0%
⑨ 薬の受取り	1.3	0.3	0.0	0.8	1.1	0.8	0.4	1.9	0.0	1.3%
⑩ ごみ出し	2.0	1.8	1.6	2.7	3.4	1.6	1.8	0.6	0.0	2.0%
⑪ 家や庭のそうじ	2.6	3.6	8.1	5.7	5.8	8.7	8.6	6.9	0.0	2.6%
⑫ 雪またじ	9.9	8.4	14.6	8.4	13.8	11.1	10.4	10.6	0.0	9.9%
⑬ 食事の手配	0.0	0.5	1.6	3.4	1.3	2.6	1.8	0.6	0.0	0.0%
⑭ 集いの場が少ない	6.0	1.5	3.8	4.9	3.5	2.9	3.2	1.9	0.0	6.0%
⑮ その他	1.3	3.0	1.6	2.3	4.0	2.1	1.8	1.9	25.0	1.3%
⑯ 特になし	0.0	0.3	2.7	2.3	2.7	1.6	0.7	1.3	0.0	0.0%
⑰ 無回答	2.0	3.8	3.8	6.5	7.3	3.9	5.4	7.5	0.0	2.0%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



○全体

- ・上から順に「地域の担い手不足」、「鳥獣被害」、「雪またじ」、「医療受診」、「災害時の対応」となった
- ・「薬の受取り」については少ない
- ・その他の意見として「地域の高齢化と若者の減少による過疎化」や「町内会や地域の祭礼等の人出不足」、「田畑など草刈り」、「山の手入れ・熊の出没」、自身の暮らしや移動（ごみ捨てや移動、子どもの医療体制、子どもの移動手段など）についてがあった
- ・また「移動手段」や「ごみ捨て」、「食料品などの買物」といったことが困ると将来を予測している

日常生活での困りごと	全体	回答数（全 2785 件のうち）
1 位	地域の担い手不足	392
2 位	鳥獣被害	386
3 位	雪またじ	319
4 位	医療受診	268
5 位	災害時の対応	206

○男女別にみると

- ・男性は上から順に「地域の担い手不足」、「鳥獣被害」、「雪またじ」、「医療受診」、「災害時の対応」となった
- ・女性は上から順に「雪またじ」、「鳥獣被害」、「医療受診」、「地域の担い手不足」、「家や庭のそうじ」となった
- ・無回答者は上から順に「鳥獣被害」、「雪またじ」、「家や庭のそうじ」となり、「地域の担い手不足」、「災害時の対応」が同じとなった
- ・男性は「地域の担い手不足」、「災害時の対応」、「子どもの教育環境」、「高齢者の見守り体制」、「鳥獣被害」が多い
- ・女性は「食料品日用品の買物」、「薬の受取り」「家や庭のそうじ」が多い

日常生活での困りごと	男性	回答数 （全 1478 のうち）	女性	回答数 （全 1156 件のうち）
1 位	地域の担い手不足	263	雪またじ	147
2 位	鳥獣被害	225	鳥獣被害	137
3 位	雪またじ	153	医療受診	125
4 位	医療受診	133	地域の担い手不足	117
5 位	災害時の対応	115	家や庭のそうじ	84

○年代別にみると

- ・50 代、60 代は「地域の担い手不足」が多い
- ・50 代は「災害時の対応」が多い
- ・40 代は「子供の教育環境」が多い
- ・60 代、50 代、70 代と順に「鳥獣被害」が多い
- ・40 代は「移動手段」が多い

- ・50代、70代、40代と順に「医療受診」が多い
- ・60代、70代は「雪またじ」が多い
- ・60代、70代は「集いの場が少ない」が多い

日常生活での困りごと	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
地域の担い手不足	1位	2位	1位	1位	1位		
子どもの教育環境	1位	3位					
鳥獣被害			2位	2位	2位		3位
医療受診			3位	3位			2位
雪またじ	1位	1位			3位	2位	1位

○地区公民館別にみると

- ・旗鉾地区と荒城地区では上から順に「鳥獣被害」、「地域の担い手不足」、「雪またじ」となった
- ・白井地区では上から順に「鳥獣被害」、「地域の担い手不足」、「災害時の対応」となった
- ・法力地区では上から順に「鳥獣被害」、「雪またじ」、「地域の担い手不足」となった
- ・坊方地区では上から順に「地域の担い手不足」、「鳥獣被害」、「医療受診」となった
- ・町方地区では上から順に「雪またじ」、「医療受診」、「地域の担い手不足」となった
- ・中根地区では上から順に「地域の担い手不足」、「鳥獣被害」、「雪またじ」、「医療受診」となった
- ・細越地区では上から順に「地域の担い手不足」、「鳥獣被害」、「雪またじ」となった

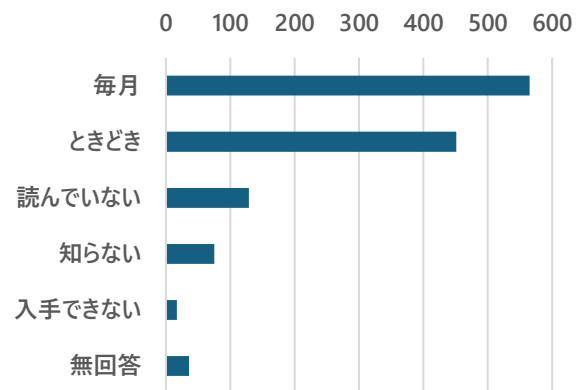
日常生活での困りごと	旗鉾	白井	法力	坊方	町方	中根	細越	荒城
地域の担い手不足	2位	2位	2位	1位	1位	1位	2位	2位
災害時の対応		3位						
鳥獣被害	1位	1位	1位	2位		2位	1位	1位
医療受診				3位	2位			
雪またじ	3位		3位		1位	3位	3位	3位

- ⇒「地域の担い手不足」、「鳥獣被害」、「雪またじ」、「医療受診」、「災害時の対応」、「高齢者の見守り体制」、「家や庭のそうじ」などの順となっている。
- ・女性に比較し地域の活動や行事などへの参画割合が多い男性は、「地域の担い手不足」をより深刻に感じていると考えられる。
 - ・日常生活の困りごとを支え合える体制づくりが必要と考えられる。

●丹生川まちづくり協議会について
 (5) にゅうかわまち協だよりについて

問5. あなたは「にゅうかわまち協だより」をご存じですか？

まち協だより	実数	構成比
① 毎月読んでいる	565	44.4%
② ときどき読んでいる	451	35.4%
③ 知っているが読んでいない	129	10.1%
④ 知らない	75	5.9%
⑤ まち協だよりを入手できない	17	1.3%
⑥ 無回答	36	2.8%
全体	1273	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 毎月読んでいる	269	268	0	28	565
② ときどき読んでいる	239	186	1	25	451
③ 知っているが読んでいない	77	47	2	3	129
④ 知らない	40	31	0	4	75
⑤ まち協だよりを入手できない	3	13	0	1	17
⑥ 無回答	12	7	0	17	36
合計	640	552	3	78	1273

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① 毎月読んでいる	1	3	12	68	109	135	172	59	6	565
② ときどき読んでいる	1	5	43	83	113	116	62	21	7	451
③ 知っているが 読んでいない	0	6	18	22	29	28	19	6	1	129
④ 知らない	3	7	17	16	12	6	6	6	2	75
⑤ まち協だよりを 入手できない	1	2	1	6	4	2	0	0	1	17
⑥ 無回答	0	1	1	3	0	6	9	4	12	36
合計	6	24	92	198	267	293	268	96	29	1273

地区公民館別内訳	旗鉾 地区	白井 地区	法力 地区	坊方 地区	町方 地区	中根 地区	細越 地区	荒城 地区	無回 答	合計
① 毎月読んでいる	32	78	47	50	182	80	64	32	0	565
② ととき読んでいる	17	57	24	56	179	56	37	25	0	451
③ 知っているが 読んでいない	5	13	7	16	49	17	15	7	0	129
④ 知らない	0	3	5	5	37	8	12	4	1	75
⑤ まち協だよりを 入手できない	1	0	0	4	8	4	0	0	0	17
⑥ 無回答	1	5	2	2	16	2	5	3	0	36
合計	56	156	85	133	471	167	133	71	1	1273

○全体

- ・およそ 8 割の方がまち協だよりを読んだことがある
- ・「毎月読んでいる」はおよそ 45%である

○男女別にみると

- ・男性も女性も同じくらいが「毎月読んでいる」
- ・「ときどき読んでいる」や「知っているが読んでいない」は男性が多い
- ・まち協だよりを「入手できない」は女性が多い

○年代別にみると

- ・70 代では「毎月読んでいる」が特に多い
- ・60 代の人では「毎月読んでいる」多い
- ・50 代、40 代では「ときどき読んでいる」が多い
- ・30 代の人では「ときどき読んでいる」が多い
- ・20 代、10 代の人ではまち協だよりを「知っているが読んでいない」が多い

○地区公民館別にみると

- ・旗鉾地区は「毎月読んでいる」が多い
- ・坊方地区では「ときどき読んでいる」が多い
- ・町方地区ではまち協だよりを「知っているが読んでいない」、「知らない」がほかの地区に比べて多い

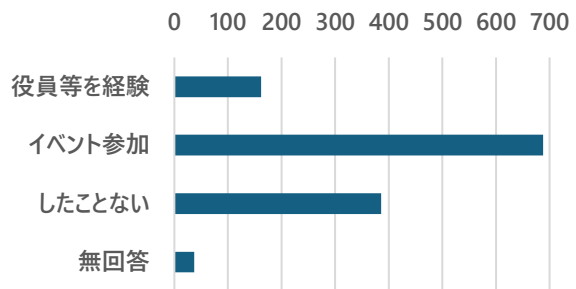
⇒「ときどき読んでいる」を含め、約 8 割がまち協だよりを読んでおり、約 45%は「毎月読んでいる」との回答であった。

- ・広報媒体として一定の効果が確認できる一方で、「まち協だよりを入手できない」との回答もあり、多様な配布方法が必要となる。

(6) まちづくり協議会活動への参加について

問6. 丹生川まちづくり協議会の活動に、あなたは参加されたことはありますか？

活動に参加	実数	構成比
① 役員や理事、 代議員などを経験	162	12.7%
② 行事やイベントに参加	688	54.0%
③ 参加したことがない	386	30.3%
④ 無回答	37	2.9%
全体	1273	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 役員や理事、 代議員などを経験	122	34	0	6	162
② 行事やイベントに参加	339	316	3	30	688
③ 参加したことがない	171	189	0	26	386
④ 無回答	8	13	0	16	37
合計	640	552	3	78	1273

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	無回 答	合計
① 役員や理事、 代議員などを経験	0	2	6	22	55	42	26	7	2	162
② 行事やイベントに参加	5	11	55	135	148	159	131	35	9	688
③ 参加したことがない	1	10	30	38	64	87	104	46	6	386
④ 無回答	0	1	1	3	0	5	7	8	12	37
合計	6	24	92	198	267	293	268	96	29	1273

地区公民館別内訳	旗鉾 地区	白井 地区	法力 地区	坊方 地区	町方 地区	中根 地区	細越 地区	荒城 地区	無回 答	合計
① 役員や理事、 代議員などを経験	12	18	14	24	39	21	20	13	1	162
② 行事やイベントに参加	28	89	38	65	265	93	74	36	0	688
③ 参加したことがない	13	44	31	42	153	50	34	19	0	386
④ 無回答	3	5	2	2	14	3	5	3	0	37
合計	56	156	85	133	471	167	133	71	1	1273

○全体

- ・およそ 3 分の 2 がまち協のイベント等の活動に関わり参加をしている
- ・まち協の活動に「参加したことがない」割合は 3 0 %

○男女別にみると

- ・「役員や理事、代議員などを経験」は男性が多い
- ・女性はイベント等に「参加したことがない」が多い

○年代別にみると

- ・50 代、60 代では「役員や理事、代議員などを経験」が他と比べて多い
- ・20 代はおよそ半数、30 代ではおよそ 3 分の 1 が「参加したことがない」
- ・70 代も「参加したことがない」が多い
- ・40 代と比べて 50 代、60 代は「参加したことがない」が多い

○地区公民館別にみると

- ・大半の地区で「参加したことがない」と答えた方は「行事やイベントに参加」と答えた方の約半分
- ・法力地区では「行事やイベントに参加」と「参加したことがない」は同じくらいである

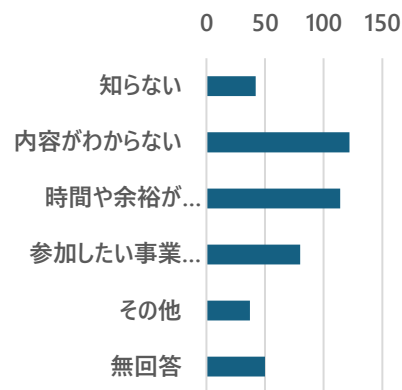
⇒・およそ 3 分の 2 がまち協イベント等の活動に関わり参加している。

- ・男性の役員経験者が多い。
- ・20 代 30 代の参加経験者が少ない。
- ・性別年齢層を問わず、より多くの参加を促せる仕組みづくりが必要と考えられる。多くの人がまち協の活動に参加したことがある。

(7) まちづくり協議会活動に参加しない理由

問7. 問6で「③参加したことがない」と答えた主な理由は何ですか？

参加しない理由	実数	構成比
① まち協のことを知らない	42	9.4%
② 名前は知っているが活動内容がわからない	122	27.4%
③ 参加したいが、時間や余裕がない	114	25.6%
④ 参加したい事業がない	80	18.0%
⑤ その他	37	8.3%
⑥ 無回答	50	11.2%
全体	445	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① まち協のことを知らない	21	20	0	1	42
② 名前は知っているが活動内容がわからない	47	67	0	8	122
③ 参加したいが、時間や余裕がない	60	51	0	3	114
④ 参加したい事業がない	40	34	1	5	80
⑤ その他	11	23	0	3	37
⑥ 無回答	13	17	0	20	50
合計	192	212	1	40	445

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① まち協のことを知らない	1	6	5	2	9	7	7	5	0	42
② 名前は知っているが活動内容がわからない	0	2	14	18	19	31	26	11	1	122
③ 参加したいが、時間や余裕がない	0	0	11	9	20	40	26	8	0	114
④ 参加したい事業がない	0	1	0	10	14	20	24	8	3	80
⑤ その他	0	2	0	0	3	5	15	12	0	37
⑥ 無回答	0	1	2	4	1	4	13	10	15	50
合計	1	12	32	43	66	107	111	54	19	445

地区公民館別内訳	旗銚 地区	白井 地区	法力 地区	坊方 地区	町方 地区	中根 地区	細越 地区	荒城 地区	無回 答	合計
① まち協のことを知らない	0	4	2	3	22	5	5	1	0	42
② 名前は知っているが 活動内容がわからない	1	14	10	11	54	16	9	7	0	122
③ 参加したいが、時間や 余裕がない	6	13	11	12	34	18	17	3	0	114
④ 参加したい事業がない	6	8	7	9	25	11	7	7	0	80
⑤ その他	0	4	1	6	21	2	1	2	0	37
⑥ 無回答	3	5	4	4	21	2	5	6	0	50
合計	16	48	35	45	177	54	44	26	0	445

○全体

- ・上から順に「名前は知っているが活動内容がわからない」、「参加したいが、時間や余裕がない」、「参加したい事業がない」となった

○男女別にみると

- ・「まち協のことを知らない」は男女ほぼ同じくらいである
- ・「名前は知っているが、活動内容がわからない」は男性よりも女性が多い
- ・「参加したいが、時間や余裕がない」や「参加したい事業がない」の男女差はそれほどない

○年代別にみると

- ・まち協のことを「知らない」人は各年代にいる
- ・60代、70代で「活動内容がわからない」や「参加したい事業がない」が特に多い
- ・60代では「参加したいが、時間や余裕がない」が多い

○地区公民館別にみると

- ・白井地区、法力地区、坊方地区、中根地区では「名前は知っているが活動内容がわからない」、「参加したいが、時間や余裕がない」が同じくらいである

⇒・「名前は知っているが活動内容が分からない」、「参加したいが時間や余裕がない」、「参加したい事業がない」の順となった。

- ・さらに、多様な媒体を使用した情報提供が必要となる。

(8) 参加したい、今後も継続して欲しい事業について

問8. 参加したい、今後も継続して欲しい事業は何ですか？（5つ以内）



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① クリーン作戦	248	169	0	26	443
② 花いっぱい運動	78	86	0	11	175
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森自然体験学習会	77	54	0	3	134
④ 広報紙等情報発信	77	66	1	6	150
⑤ 寄せ植え講座	0	21	0	3	24
⑥ 日本酒講座	16	10	0	3	29
⑦ ワイン講座	20	17	0	4	41
⑧ 丹生川マルシェ	142	148	0	11	301
⑨ 親子ピクニック	11	8	0	0	19
⑩ 令和の文化展	10	8	0	0	18
⑪ ドラム缶ピザづくり	21	19	0	1	41
⑫ 防災講演会	38	29	0	3	70
⑬ 防災マップづくり	39	32	0	3	74
⑭ 文化講演会	51	43	0	5	99
⑮ 文化学習研修	8	7	0	1	16
⑯ 芸能祭	45	44	0	6	95
⑰ 郷土芸能学習会	7	7	0	1	15
⑱ スポーツ体験会	27	16	0	0	43
⑲ ウィンタースポーツ講習会	33	25	0	1	59
⑳ 各種スポーツ大会	72	22	0	1	95
㉑ 子ども会育成者研修会	8	5	0	0	13
㉒ 子ども育成事業	43	29	0	3	75
㉓ 夏休み子ども講座	24	41	0	3	68
㉔ 女性部講座	2	21	0	2	25
㉕ 1円玉募金	13	66	0	5	84
㉖ ペットボトルキャップ回収	42	122	0	8	172
㉗ 介護布寄付	7	52	0	4	63
㉘ 高齢者学級学習会	25	18	0	1	44
㉙ 高齢者学級視察研修	16	14	0	0	30
㉚ 高齢者学級サークル活動	17	15	0	0	32
㉛ にゅうかわ夏まつり	334	317	1	22	674
㉜ 飛騨にゅうかわ宿舎まつり	239	219	1	20	479
㉝ ウィンターカーニバル	53	38	1	0	92
㉞ 特になし	120	79	1	32	232
㉟ その他	6	5	0	0	11
合計	1969	1872	5	189	4035

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① クリーン作戦	1	5	17	46	87	124	112	45	6	443
② 花いっぱい運動	0	3	4	16	28	44	58	21	1	175
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森 自然体験学習会	1	4	9	24	34	36	24	2	0	134
④ 広報紙等情報発信	0	2	5	18	37	33	40	13	2	150
⑤ 寄せ植え講座	0	0	0	6	4	10	4	0	0	24
⑥ 日本酒講座	0	2	3	4	10	10	0	0	0	29
⑦ ワイン講座	0	2	2	8	16	11	2	0	0	41
⑧ 丹生川マルシェ	2	10	39	91	73	58	23	2	3	301
⑨ 親子ピクニック	0	1	5	2	4	2	2	3	0	19
⑩ 令和の文化展	0	2	1	2	1	2	5	5	0	18
⑪ ドラム缶ピザづくり	0	3	8	11	10	3	3	2	1	41
⑫ 防災講演会	0	1	2	10	22	21	9	5	0	70
⑬ 防災マップづくり	0	2	4	19	19	21	4	4	1	74
⑭ 文化講演会	0	2	0	8	15	26	40	8	0	99
⑮ 文化学習研修	0	1	0	5	2	1	5	2	0	16
⑯ 芸能祭	1	2	3	10	16	16	25	22	0	95
⑰ 郷土芸能学習会	0	1	0	5	4	1	1	3	0	15
⑱ スポーツ体験会	1	3	6	13	8	4	7	1	0	43
⑲ ウィンタースポーツ講習会	1	3	6	34	7	3	3	2	0	59
⑳ 各種スポーツ大会	0	8	9	21	16	18	16	7	0	95
㉑ 子ども会育成者研修会	0	1	1	4	3	3	1	0	0	13
㉒ 子ども育成事業	0	1	9	24	16	11	10	3	1	75
㉓ 夏休み子ども講座	0	4	14	27	15	2	3	3	0	68
㉔ 女性部講座	0	1	0	5	5	9	5	0	0	25
㉕ 1円玉募金	0	0	3	2	12	24	24	19	0	84
㉖ ペットボトルキャップ回収	0	1	8	13	29	54	50	16	1	172
㉗ 介護布寄付	0	1	2	3	11	23	16	7	0	63
㉘ 高齢者学級学習会	0	1	0	1	4	9	14	15	0	44
㉙ 高齢者学級視察研修	0	1	0	0	1	3	17	8	0	30
㉚ 高齢者学級サークル活動	0	0	1	0	3	4	18	6	0	32
㉛ にゅうかわ夏まつり	4	17	67	145	147	145	112	31	6	674
㉜ 飛騨にゅうかわ宿儺まつり	3	14	51	107	89	99	86	25	5	479
㉝ ウィンターカーニバル	1	6	14	31	21	7	9	3	0	92
㉞ 特になし	1	2	16	19	46	48	61	20	19	232
㉟ その他	0	2	0	1	2	4	1	1	0	11
合計	16	109	309	735	817	889	810	304	46	4035

地区公民館別内訳	旗鉾地区	白井地区	法力地区	坊方地区	町方地区	中根地区	細越地区	荒城地区	無回答	合計
① クリーン作戦	33	65	23	39	143	64	56	20	0	443
② 花いっぱい運動	9	19	21	24	56	23	17	6	0	175
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森 自然体験学習会	5	12	8	13	61	18	8	9	0	134
④ 広報紙等情報発信	5	25	11	15	40	25	17	12	0	150
⑤ 寄せ植え講座	1	1	4	6	6	3	2	1	0	24
⑥ 日本酒講座	1	4	0	7	10	4	3	0	0	29
⑦ ワイン講座	0	5	0	10	16	5	5	0	0	41
⑧ 丹生川マルシェ	10	38	16	36	132	29	29	11	0	301
⑨ 親子ピクニック	0	2	3	1	10	1	2	0	0	19
⑩ 令和の文化展	0	5	0	1	7	4	1	0	0	18
⑪ ドラム缶ピザづくり	2	4	0	10	14	2	8	1	0	41
⑫ 防災講演会	3	16	5	4	23	13	5	1	0	70
⑬ 防災マップづくり	2	9	6	7	36	3	10	1	0	74
⑭ 文化講演会	1	17	9	9	38	12	10	3	0	99
⑮ 文化学習研修	1	1	2	2	6	1	2	1	0	16
⑯ 芸能祭	5	12	5	13	32	13	10	5	0	95
⑰ 郷土芸能学習会	0	2	1	1	9	2	0	0	0	15
⑱ スポーツ体験会	2	4	4	9	18	5	1	0	0	43
⑲ ウィンタースポーツ講習会	3	9	7	10	24	2	2	2	0	59
⑳ 各種スポーツ大会	8	13	4	10	31	14	9	6	0	95
㉑ 子ども会育成者研修会	0	3	0	1	6	1	2	0	0	13
㉒ 子ども育成事業	1	13	5	11	29	9	3	4	0	75
㉓ 夏休み子ども講座	2	6	4	13	28	8	6	1	0	68
㉔ 女性部講座	1	3	3	4	4	3	4	3	0	25
㉕ 1円玉募金	5	11	3	7	31	12	8	7	0	84
㉖ ペットボトルキャップ回収	10	18	12	9	67	16	27	13	0	172
㉗ 介護布寄付	4	7	0	4	24	7	9	8	0	63
㉘ 高齢者学級学習会	2	10	3	4	13	6	4	2	0	44
㉙ 高齢者学級視察研修	1	3	2	2	8	8	2	4	0	30
㉚ 高齢者学級サークル活動	1	6	0	2	15	5	1	2	0	32
㉛ にゅうかわ夏まつり	21	70	43	79	276	84	70	31	0	674
㉜ 飛騨にゅうかわ宿儺まつり	17	49	33	56	188	56	53	27	0	479
㉝ ウィンターカーニバル	10	8	11	14	33	7	5	4	0	92
㉞ 特になし	9	30	18	14	89	35	20	16	1	232
㉟ その他	0	3	1	1	5	1	0	0	0	11
合計	175	503	267	448	1528	501	411	201	1	4035

地区公民館別内訳 (割合)	旗鉾 地区	白井 地区	法力 地区	坊方 地区	町方 地区	中根 地区	細越 地区	荒城 地区	無回 答	合計
① クリーン作戦	18.9	12.9	8.6	8.7	9.4	12.8	13.6	10.0	0.0	11.0%
② 花いっぱい運動	5.1	3.8	7.9	5.4	3.7	4.6	4.1	3.0	0.0	4.3%
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森 自然体験学習会	2.9	2.4	3.0	2.9	4.0	3.6	1.9	4.5	0.0	3.3%
④ 広報紙等情報発信	2.9	5.0	4.1	3.3	2.6	5.0	4.1	6.0	0.0	3.7%
⑤ 寄せ植え講座	0.6	0.2	1.5	1.3	0.4	0.6	0.5	0.5	0.0	0.6%
⑥ 日本酒講座	0.6	0.8	0.0	1.6	0.7	0.8	0.7	0.0	0.0	0.7%
⑦ ワイン講座	0.0	1.0	0.0	2.2	1.0	1.0	1.2	0.0	0.0	1.0%
⑧ 丹生川マルシェ	5.7	7.6	6.0	8.0	8.6	5.8	7.1	5.5	0.0	7.5%
⑨ 親子ピクニック	0.0	0.4	1.1	0.2	0.7	0.2	0.5	0.0	0.0	0.5%
⑩ 令和の文化展	0.0	1.0	0.0	0.2	0.5	0.8	0.2	0.0	0.0	0.4%
⑪ ドラム缶ピザづくり	1.1	0.8	0.0	2.2	0.9	0.4	1.9	0.5	0.0	1.0%
⑫ 防災講演会	1.7	3.2	1.9	0.9	1.5	2.6	1.2	0.5	0.0	1.7%
⑬ 防災マップづくり	1.1	1.8	2.2	1.6	2.4	0.6	2.4	0.5	0.0	1.8%
⑭ 文化講演会	0.6	3.4	3.4	2.0	2.5	2.4	2.4	1.5	0.0	2.5%
⑮ 文化学習研修	0.6	0.2	0.7	0.4	0.4	0.2	0.5	0.5	0.0	0.4%
⑯ 芸能祭	2.9	2.4	1.9	2.9	2.1	2.6	2.4	2.5	0.0	2.4%
⑰ 郷土芸能学習会	0.0	0.4	0.4	0.2	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4%
⑱ スポーツ体験会	1.1	0.8	1.5	2.0	1.2	1.0	0.2	0.0	0.0	1.1%
⑲ ウィンタースポーツ講習会	1.7	1.8	2.6	2.2	1.6	0.4	0.5	1.0	0.0	1.5%
⑳ 各種スポーツ大会	4.6	2.6	1.5	2.2	2.0	2.8	2.2	3.0	0.0	2.4%
㉑ 子ども会育成者研修会	0.0	0.6	0.0	0.2	0.4	0.2	0.5	0.0	0.0	0.3%
㉒ 子ども育成事業	0.6	2.6	1.9	2.5	1.9	1.8	0.7	2.0	0.0	1.9%
㉓ 夏休み子ども講座	1.1	1.2	1.5	2.9	1.8	1.6	1.5	0.5	0.0	1.7%
㉔ 女性部講座	0.6	0.6	1.1	0.9	0.3	0.6	1.0	1.5	0.0	0.6%
㉕ 1円玉募金	2.9	2.2	1.1	1.6	2.0	2.4	1.9	3.5	0.0	2.1%
㉖ ペットボトルキャップ回収	5.7	3.6	4.5	2.0	4.4	3.2	6.6	6.5	0.0	4.3%
㉗ 介護布寄付	2.3	1.4	0.0	0.9	1.6	1.4	2.2	4.0	0.0	1.6%
㉘ 高齢者学級学習会	1.1	2.0	1.1	0.9	0.9	1.2	1.0	1.0	0.0	1.1%
㉙ 高齢者学級視察研修	0.6	0.6	0.7	0.4	0.5	1.6	0.5	2.0	0.0	0.7%
㉚ 高齢者学級サークル活動	0.6	1.2	0.0	0.4	1.0	1.0	0.2	1.0	0.0	0.8%
㉛ にゅうかわ夏まつり	12.0	13.9	16.1	17.6	18.1	16.8	17.0	15.4	0.0	16.7%
㉜ 飛騨にゅうかわ宿儺まつり	9.7	9.7	12.4	12.5	12.3	11.2	12.9	13.4	0.0	11.9%
㉝ ウィンターカーニバル	5.7	1.6	4.1	3.1	2.2	1.4	1.2	2.0	0.0	2.3%
㉞ 特になし	5.1	6.0	6.7	3.1	5.8	7.0	4.9	8.0	100.	5.7%
㉟ その他	0.0	0.6	0.4	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

○全体

- ・上から順に「にゅうかわ夏まつり」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」、「クリーン作戦」、「丹生川マルシェ」、「特になし」がほかの項目と比べてもとりわけ多かった
- ・「ペットボトルキャップ回収」や「花いっぱい運動」、「広報紙等情報発信」、「乗鞍岳・五色ヶ原の森自然体験学習会」も 100 件以上の希望があった
- ・「文化講演会」、「芸能祭」、「各種スポーツ大会」、「ウィンターカーニバル」、「1 円玉募金」といった事業にも 100 件近くある
- ・下から順だと「子ども会育成者研修会」、「郷土芸能学習会」、「文化学習研修」、「令和の文化展」、「親子ピクニック」となった

継続してほしい事業	全体	回答数（全 4035 件のうち）
1 位	にゅうかわ夏まつり	672
2 位	飛騨にゅうかわ宿儺まつり	479
3 位	クリーン作戦	443
4 位	丹生川マルシェ	301
5 位	特になし	232

○男女別にみると

- ・男性は上から順に「にゅうかわ夏まつり」、「クリーン作戦」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」、「丹生川マルシェ」、「特になし」となった
- ・女性は上から順に「にゅうかわ夏まつり」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」、「クリーン作戦」、「丹生川マルシェ」、「ペットボトルキャップ回収」となった
- ・女性に人気の事業は「寄せ植え講座」や「夏休み子ども講座」、「女性部講座」、「1 円玉募金」、「介護布寄付」であった
- ・男性に人気の事業は「乗鞍岳・五色ヶ原の森自然体験学習会」や「スポーツ体験会」、「各種スポーツ大会」、「子ども育成事業」であった

継続してほしい事業	男性	回答数 (全 1478 件)	女性	回答数 (全 1156 件)
1 位	にゅうかわ夏まつり	334	にゅうかわ夏まつり	317
2 位	クリーン作戦	248	飛騨にゅうかわ宿儺まつり	219
3 位	飛騨にゅうかわ宿儺まつり	239	クリーン作戦	168
4 位	丹生川マルシェ	142	丹生川マルシェ	148
5 位	特になし	120	ペットボトルキャップ回収	122

○年代別にみると

- ・「クリーン作戦」は 50 代以上に人気があるが、70 代や 80 代以上が 1 番多い
- ・「花いっぱい運動」は 70 代に人気があり、60 代も多い
- ・「乗鞍岳・五色ヶ原の森自然体験学習会」は 40 代～70 代が多い
- ・「広報紙等情報発信」は 50 代～70 代が多い
- ・「寄せ植え講座」は 60 代が多い
- ・「日本酒講座」、「ワイン講座」は 50 代～60 代が多い
- ・「丹生川マルシェ」は 20 代～40 代の上位 3 項目だが、50 代～60 代にも人気である
- ・「親子ピクニック」は 30 代、令和の文化展は 70 代、80 代以上が多い
- ・「ドラム缶ピザづくり」は 40 代～50 代が多い
- ・「防災講演会」は 50 代～60 代が多いが、「防災マップづくり」は 40 代～60 代が多い
- ・「文化講演会」は 70 代が多く、60 代、50 代が次に多いが、「文化学習研修」は 40 代、70 代が多い
- ・「芸能祭」は 70 代、80 代以上が多く、50 代、60 代も多いが、「郷土芸能学習会」は 40 代が多い
- ・「スポーツ体験会」、「ウィンタースポーツ講習会」は 40 代が多いが、「各種スポーツ大会」は 40 代～70 代が多い
- ・「子ども会育成者研修会」は 40 代が多く、「子ども育成事業」は 40 代～50 代が多い
- ・「夏休み子ども講座」は 40 代が多く、30 代や 50 代も多い
- ・「女性部講座」と「介護布寄付」は 60 代が多い
- ・「1 円玉募金」、「ペットボトルキャップ回収」は 60 代 70 代が多い
- ・「高齢者学級学習会」は 70 代、80 代以上が多いが、「高齢者学級視察研修」、「高齢者学級サークル活動」は 70 代が多い
- ・「にゅうかわ夏まつり」はどの年代にも人気の事業であり、80 代以上を除き、一番人気である
- ・「飛騨にゅうかわ宿讎まつり」は 10 代～50 代までは 2 番人気だが、60 代以上では 3 番人気である
- ・「ウィンターカーニバル」は 40 代、50 代が多い

継続してほしい事業	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上
クリーン作戦				3 位	2 位	1 位	1 位
花いっぱい運動						5 位	5 位
丹生川マルシェ	3 位	3 位	3 位	4 位	4 位		
芸能祭							4 位
ウィンタースポーツ講習会			5 位				
各種スポーツ大会	4 位						
夏休み子ども講座		5 位					
ペットボトルキャップ回収					5 位		
にゅうかわ夏まつり	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	2 位
飛騨にゅうかわ宿讎まつり	2 位	2 位	2 位	2 位	3 位	3 位	3 位
ウィンターカーニバル			5 位				
特になし				5 位		4 位	

○地区公民館別にみると

- ・旗鉾地区では上から順に「クリーン作戦」、「にゅうかわ夏まつり」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」である
- ・白井地区、中根地区、細越地区では上から順に「にゅうかわ夏まつり」、「クリーン作戦」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」である
- ・法力地区、坊方地区、町方地区、荒城地区では上から順に「にゅうかわ夏まつり」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」、クリーン作戦」である
- ・「クリーン作戦」は上から順に旗鉾地区、細越地区、白井地区、中根地区、荒城地区が多い
- ・「花いっぱい運動」は法力地区が多い
- ・「乗鞍岳・五色ヶ原の森自然体験学習会」は上から順に荒城地区、町方地区が多い
- ・「広報紙等情報発信」は上から順に荒城地区が多く、白井地区と中根地区は同じである
- ・「寄せ植え講座」は上から順に法力地区、坊方地区が多い
- ・「日本酒講座」は坊方地区が多い
- ・「ワイン講座」は上から順に坊方地区、細越地区が多く、白井地区、町方地区、中根地区は同じである
- ・「丹生川マルシェ」は上から順に町方地区、坊方地区、白井地区、細越地区が多い
- ・「親子ピクニック」は法力地区が多い
- ・「ドラム缶ピザづくり」は上から順に細越地区、旗鉾地区が多い
- ・「防災講演会」は上から順に白井地区、中根地区が多い
- ・「防災マップづくり」は町方地区と細越地区が同じであり、次に法力地区が多い
- ・「文化講演会」は白井地区、法力地区が多い
- ・「文化学習研修」は法力地区と旗鉾地区が多い
- ・「芸能祭」は旗鉾地区、坊方地区が多い
- ・「郷土芸能学習会」はどこの地区も同じような数である
- ・「スポーツ体験会」は坊方地区が多い
- ・「ウィンタースポーツ講習会」は法力地区と坊方地区が多い
- ・「各種スポーツ大会」は上から順に旗鉾地区と荒城地区が多い
- ・「子ども会育成者研修会」はどこも同じような数である
- ・「子ども育成事業」は上から順に白井地区、坊方地区が多い
- ・「夏休み子ども講座」は坊方地区が多い
- ・「女性部講座」は荒城地区が多い
- ・「1円玉募金」は旗鉾地区が多い
- ・「ペットボトルキャップ回収」は上から順に細越地区、荒城地区が多い
- ・「介護布寄付」は上から順に旗鉾地区と細越地区が多い
- ・「高齢者学級学習会」は白井地区が多い
- ・「高齢者学級視察研修」は中根地区が多い
- ・「高齢者学級サークル活動」は白井地区が最も多く、町方地区、中根地区、荒城地区が同じである
- ・「にゅうかわ夏まつり」はどの地区でも人気の事業である
- ・「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」はどの地区も2位または3位と人気が高い
- ・「ウィンターカーニバル」は旗鉾地区が多い

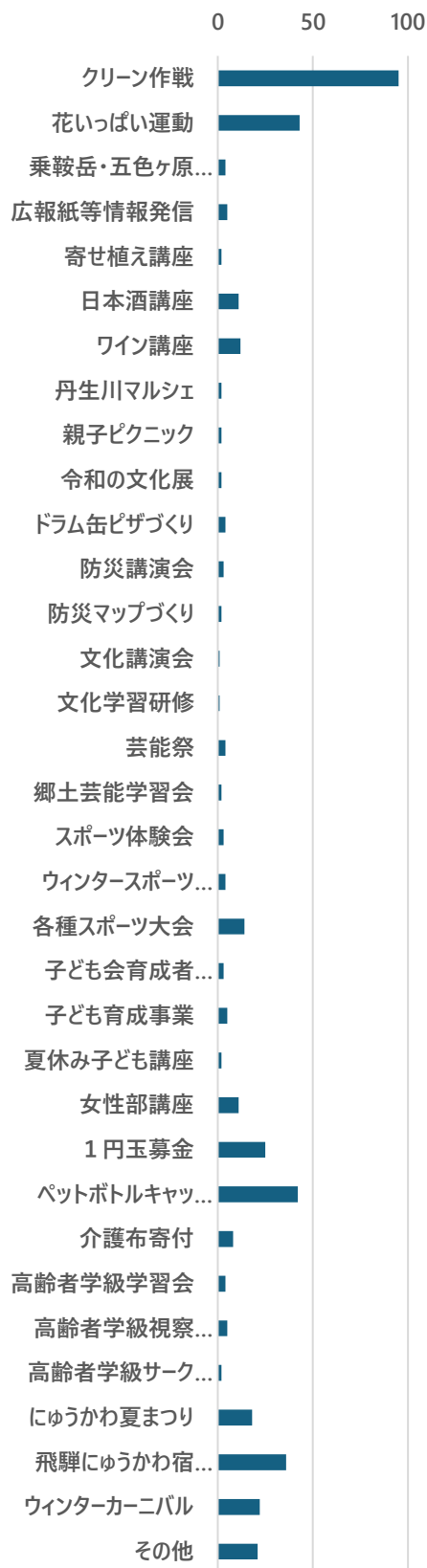
継続してほしい事業	旗鈴	白井	法力	坊方	町方	中根	細越	荒城
クリーン作戦	1位	2位	3位	3位	3位	2位	2位	3位
花いっぱい運動			4位	5位				
丹生川マルシェ	4位	4位		4位	4位	5位	4位	
ペットボトルキャップ回収	4位						5位	5位
にゅうかわ夏まつり	2位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位
飛騨にゅうかわ宿儺まつり	3位	3位	2位	2位	2位	3位	3位	2位
ウインターカーニバル	4位							
特になし		5位	5位		5位	4位		4位

- ⇒・「にゅうかわ夏まつり」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」、「クリーン作戦」、「丹生川マルシェ」の順で支持されている。
- ・男女別でも順位は異なるものの、ほぼ同様の事業が支持されている。
 - ・年代別や地区別でも大きな差異はないが、「丹生川マルシェ」は特に若い世代の支持が、「クリーン作戦」は特に50代以上の世代に支持されている。
 - ・地域のにぎわいと人と人のふれあいを重視する住民意向がうかがえる。

(9) 見直す事業について

問9. 問8のまち協事業のうち、見直すべきとお考えの事業はありますか？

見直す事業	実数	構成比
① クリーン作戦	95	22.6%
② 花いっぱい運動	43	10.2%
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森自然体験学習会	4	1.0%
④ 広報紙等情報発信	5	1.2%
⑤ 寄せ植え講座	2	0.5%
⑥ 日本酒講座	11	2.6%
⑦ ワイン講座	12	2.9%
⑧ 丹生川マルシェ	2	0.5%
⑨ 親子ピクニック	2	0.5%
⑩ 令和の文化展	2	0.5%
⑪ ドラム缶ピザづくり	4	1.0%
⑫ 防災講演会	3	0.7%
⑬ 防災マップづくり	2	0.5%
⑭ 文化講演会	1	0.2%
⑮ 文化学習研修	1	0.2%
⑯ 芸能祭	4	1.0%
⑰ 郷土芸能学習会	2	0.5%
⑱ スポーツ体験会	3	0.7%
⑲ ウィンタースポーツ講習会	4	1.0%
⑳ 各種スポーツ大会	14	3.3%
㉑ 子ども会育成者研修会	3	0.7%
㉒ 子ども育成事業	5	1.2%
㉓ 夏休み子ども講座	2	0.5%
㉔ 女性部講座	11	2.6%
㉕ 1円玉募金	25	6.0%
㉖ ペットボトルキャップ回収	42	10.0%
㉗ 介護布寄付	8	1.9%
㉘ 高齢者学級学習会	4	1.0%
㉙ 高齢者学級視察研修	5	1.2%
㉚ 高齢者学級サークル活動	2	0.5%
㉛ にゅうかわ夏まつり	18	4.3%
㉜ 飛騨にゅうかわ宿儺まつり	36	8.6%
㉝ ウィンターカーニバル	22	5.2%
㉞ その他	21	5.0%
全体	420	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① クリーン作戦	47	43	0	5	95
② 花いっぱい運動	17	22	0	4	43
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森自然体験学習会	1	3	0	0	4
④ 広報紙等情報発信	1	4	0	0	5
⑤ 寄せ植え講座	0	2	0	0	2
⑥ 日本酒講座	4	6	0	1	11
⑦ ワイン講座	4	7	0	1	12
⑧ 丹生川マルシェ	0	2	0	0	2
⑨ 親子ピクニック	0	2	0	0	2
⑩ 令和の文化展	0	2	0	0	2
⑪ ドラム缶ピザづくり	2	2	0	0	4
⑫ 防災講演会	2	1	0	0	3
⑬ 防災マップづくり	2	0	0	0	2
⑭ 文化講演会	0	1	0	0	1
⑮ 文化学習研修	0	1	0	0	1
⑯ 芸能祭	1	3	0	0	4
⑰ 郷土芸能学習会	0	2	0	0	2
⑱ スポーツ体験会	1	2	0	0	3
⑲ ウィンタースポーツ講習会	1	3	0	0	4
⑳ 各種スポーツ大会	8	5	0	1	14
㉑ 子ども会育成者研修会	1	2	0	0	3
㉒ 子ども育成事業	2	3	0	0	5
㉓ 夏休み子ども講座	0	2	0	0	2
㉔ 女性部講座	3	8	0	0	11
㉕ 1円玉募金	7	17	0	1	25
㉖ ペットボトルキャップ回収	6	33	0	3	42
㉗ 介護布寄付	0	8	0	0	8
㉘ 高齢者学級学習会	3	1	0	0	4
㉙ 高齢者学級視察研修	3	2	0	0	5
㉚ 高齢者学級サークル活動	1	1	0	0	2
㉛ にゅうかわ夏まつり	12	6	0	0	18
㉜ 飛騨にゅうかわ宿讎まつり	28	7	0	1	36
㉝ ウィンターカーニバル	17	3	0	2	22
㉞ その他	12	8	0	1	21
合計	186	214	0	20	420

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① クリーン作戦	0	1	9	19	23	28	12	1	2	95
② 花いっぱい運動	0	2	0	5	12	14	7	1	2	43
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森 自然体験学習会	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
④ 広報紙等情報発信	0	1	0	0	2	1	1	0	0	5
⑤ 寄せ植え講座	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
⑥ 日本酒講座	0	0	0	2	4	3	2	0	0	11
⑦ ワイン講座	0	0	0	2	4	4	2	0	0	12
⑧ 丹生川マルシェ	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
⑨ 親子ピクニック	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
⑩ 令和の文化展	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
⑪ ドラム缶ピザづくり	0	0	0	2	0	2	0	0	0	4
⑫ 防災講演会	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
⑬ 防災マップづくり	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
⑭ 文化講演会	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
⑮ 文化学習研修	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
⑯ 芸能祭	0	0	0	1	1	1	0	1	0	4
⑰ 郷土芸能学習会	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
⑱ スポーツ体験会	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
⑲ ウィンタースポーツ講習会	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
⑳ 各種スポーツ大会	0	0	2	3	4	4	1	0	0	14
㉑ 子ども会育成者研修会	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
㉒ 子ども育成事業	0	0	0	0	1	2	2	0	0	5
㉓ 夏休み子ども講座	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
㉔ 女性部講座	0	0	0	2	5	2	1	1	0	11
㉕ 1円玉募金	0	2	0	2	11	10	0	0	0	25
㉖ ペットボトルキャップ回収	0	2	0	4	27	6	1	1	1	42
㉗ 介護布寄付	0	0	0	1	3	2	1	1	0	8
㉘ 高齢者学級学習会	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4
㉙ 高齢者学級視察研修	0	0	0	0	0	2	3	0	0	5
㉚ 高齢者学級サークル活動	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
㉛ にゅうかわ夏まつり	0	0	0	3	8	5	2	0	0	18
㉜ 飛騨にゅうかわ宿儺まつり	0	0	0	7	13	10	5	1	0	36
㉝ ウィンターカーニバル	0	1	1	4	4	9	3	0	0	22
㉞ その他	0	1	2	4	7	5	1	1	0	21
合計	0	10	14	66	141	129	46	9	5	420

地区公民館別内訳	旗鉾地区	白井地区	法力地区	坊方地区	町方地区	中根地区	細越地区	荒城地区	無回答	合計
① クリーン作戦	4	9	7	6	45	4	16	4	0	95
② 花いっぱい運動	0	11	3	0	22	4	2	1	0	43
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森 自然体験学習会	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
④ 広報紙等情報発信	0	1	0	0	3	0	0	1	0	5
⑤ 寄せ植え講座	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
⑥ 日本酒講座	0	2	1	1	4	0	3	0	0	11
⑦ ワイン講座	0	2	2	1	4	0	3	0	0	12
⑧ 丹生川マルシェ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
⑨ 親子ピクニック	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
⑩ 令和の文化展	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
⑪ ドラム缶ピザづくり	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
⑫ 防災講演会	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
⑬ 防災マップづくり	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
⑭ 文化講演会	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
⑮ 文化学習研修	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
⑯ 芸能祭	1	0	0	0	2	0	1	0	0	4
⑰ 郷土芸能学習会	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
⑱ スポーツ体験会	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
⑲ ウィンタースポーツ講習会	0	0	0	0	3	0	1	0	0	4
⑳ 各種スポーツ大会	0	4	0	0	4	4	1	1	0	14
㉑ 子ども会育成者研修会	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
㉒ 子ども育成事業	0	1	0	0	4	0	0	0	0	5
㉓ 夏休み子ども講座	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
㉔ 女性部講座	0	2	0	1	7	1	0	0	0	11
㉕ 1円玉募金	0	5	0	3	8	6	1	2	0	25
㉖ ペットボトルキャップ回収	2	10	3	3	13	9	2	0	0	42
㉗ 介護布寄付	0	0	0	0	4	1	2	1	0	8
㉘ 高齢者学級学習会	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4
㉙ 高齢者学級視察研修	0	2	0	1	1	1	0	0	0	5
㉚ 高齢者学級サークル活動	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
㉛ にゅうかわ夏まつり	5	1	0	2	6	3	0	1	0	18
㉜ 飛騨にゅうかわ宿儺まつり	5	4	2	8	8	5	1	3	0	36
㉝ ウィンターカーニバル	2	3	1	3	6	2	2	3	0	22
㉞ その他	0	4	2	3	6	5	1	0	0	21
合計	20	64	21	34	180	47	37	17	0	420

地区公民館別内訳 (割合1)	旗鈴 地区	白井 地区	法力 地区	坊方 地区	町方 地区	中根 地区	細越 地区	荒城 地区	合計
① クリーン作戦	20.0	14.1	33.3	17.6	25.0	8.5	43.2	23.5	22.6%
② 花いっぱい運動	0.0	17.2	14.3	0.0	12.2	8.5	5.4	5.9	10.2%
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森 自然体験学習会	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	1.0%
④ 広報紙等情報発信	0.0	1.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	5.9	1.2%
⑤ 寄せ植え講座	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.5%
⑥ 日本酒講座	0.0	3.1	4.8	2.9	2.2	0.0	8.1	0.0	2.6%
⑦ ワイン講座	0.0	3.1	9.5	2.9	2.2	0.0	8.1	0.0	2.9%
⑧ 丹生川マルシェ	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.5%
⑨ 親子ピクニック	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.5%
⑩ 令和の文化展	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.5%
⑪ ドラム缶ピザづくり	0.0	0.0	0.0	2.9	1.1	0.0	2.7	0.0	1.0%
⑫ 防災講演会	0.0	1.6	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.7%
⑬ 防災マップづくり	0.0	0.0	0.0	2.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.5%
⑭ 文化講演会	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.2%
⑮ 文化学習研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.2%
⑯ 芸能祭	5.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	2.7	0.0	1.0%
⑰ 郷土芸能学習会	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.5%
⑱ スポーツ体験会	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.7%
⑲ ウィンタースポーツ講習会	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	2.7	0.0	1.0%
⑳ 各種スポーツ大会	0.0	6.3	0.0	0.0	2.2	8.5	2.7	5.9	3.3%
㉑ 子ども会育成者研修会	0.0	1.6	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.7%
㉒ 子ども育成事業	0.0	1.6	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	1.2%
㉓ 夏休み子ども講座	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.5%
㉔ 女性部講座	0.0	3.1	0.0	2.9	3.9	2.1	0.0	0.0	2.6%
㉕ 1円玉募金	0.0	7.8	0.0	8.8	4.4	12.8	2.7	11.8	6.0%
㉖ ペットボトルキャップ回収	10.0	15.6	14.3	8.8	7.2	19.1	5.4	0.0	10.0%
㉗ 介護布寄付	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.1	5.4	5.9	1.9%
㉘ 高齢者学級学習会	5.0	1.6	0.0	0.0	0.6	2.1	0.0	0.0	1.0%
㉙ 高齢者学級視察研修	0.0	3.1	0.0	2.9	0.6	2.1	0.0	0.0	1.2%
㉚ 高齢者学級サークル活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	2.1	0.0	0.0	0.5%
㉛ にゅうかわ夏まつり	25.0	1.6	0.0	5.9	3.3	6.4	0.0	5.9	4.3%
㉜ 飛騨にゅうかわ宿儺まつり	25.0	6.3	9.5	23.5	4.4	10.6	2.7	17.6	8.6%
㉝ ウィンターカーニバル	10.0	4.7	4.8	8.8	3.3	4.3	5.4	17.6	5.2%
㉞ その他	0.0	6.3	9.5	8.8	3.3	10.6	2.7	0.0	5.0%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%

地区公民館別内訳 (割合2)	旗鉾 地区	白井 地区	法力 地区	坊方 地区	町方地 区	中根 地区	細越 地区	荒城 地区	合計
① クリーン作戦	4.2	9.5	7.4	6.3	47.4	4.2	16.8	4.2	100%
② 花いっぱい運動	0.0	25.6	7.0	0.0	51.2	9.3	4.7	2.3	100%
③ 乗鞍岳・五色ヶ原の森 自然体験学習会	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
④ 広報紙等情報発信	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	100%
⑤ 寄せ植え講座	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
⑥ 日本酒講座	0.0	18.2	9.1	9.1	36.4	0.0	27.3	0.0	100%
⑦ ワイン講座	0.0	16.7	16.7	8.3	33.3	0.0	25.0	0.0	100%
⑧ 丹生川マルシェ	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
⑨ 親子ピクニック	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
⑩ 令和の文化展	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
⑪ ドラム缶ピザづくり	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	100%
⑫ 防災講演会	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	100%
⑬ 防災マップづくり	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100%
⑭ 文化講演会	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
⑮ 文化学習研修	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
⑯ 芸能祭	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	100%
⑰ 郷土芸能学習会	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
⑱ スポーツ体験会	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
⑲ ウィンタースポーツ講習会	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	100%
⑳ 各種スポーツ大会	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	28.6	7.1	7.1	100%
㉑ 子ども会育成者研修会	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	100%
㉒ 子ども育成事業	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	100%
㉓ 夏休み子ども講座	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100%
㉔ 女性部講座	0.0	18.2	0.0	9.1	63.6	9.1	0.0	0.0	100%
㉕ 1円玉募金	0.0	20.0	0.0	12.0	32.0	24.0	4.0	8.0	100%
㉖ ペットボトルキャップ回収	4.8	23.8	7.1	7.1	31.0	21.4	4.8	0.0	100%
㉗ 介護布寄付	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	12.5	25.0	12.5	100%
㉘ 高齢者学級学習会	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	100%
㉙ 高齢者学級視察研修	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	100%
㉚ 高齢者学級サークル活動	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100%
㉛ にゅうかわ夏まつり	27.8	5.6	0.0	11.1	33.3	16.7	0.0	5.6	100%
㉜ 飛騨にゅうかわ宿儺まつり	13.9	11.1	5.6	22.2	22.2	13.9	2.8	8.3	100%
㉝ ウィンターカーニバル	9.1	13.6	4.5	13.6	27.3	9.1	9.1	13.6	100%
㉞ その他	0.0	19.0	9.5	14.3	28.6	23.8	4.8	0.0	100%
合計	4.8%	15.2%	5.0%	8.1%	42.9%	11.2%	8.8%	4.0%	100%

○全体

- ・上から順に「クリーン作戦」、「花いっぱい運動」、「ペットボトルキャップ回収」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」、「1円玉募金」となった
- ・「ウィンターカーニバル」や「にゅうかわ夏まつり」、「各種スポーツ大会」、「女性部講座」、「ワイン講座」、「日本酒講座」も10件以上となった

見直す事業	全体	回答数（全420件のうち）
1位	クリーン作戦	95
2位	花いっぱい運動	43
3位	ペットボトルキャップ回収	42
4位	飛騨にゅうかわ宿儺まつり	36
5位	1円玉募金	25

○男女別にみると

- ・男性は上から順に「クリーン作戦」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」となり、「花いっぱい運動」、「ウィンターカーニバル」は同じであった
- ・女性は上から順に「クリーン作戦」、「ペットボトルキャップ回収」、「花いっぱい運動」、「1円玉募金」となった

見直す事業	男性	回答数 （全1478件）	女性	回答数 （全1156件）
1位	クリーン作戦	334	クリーン作戦	317
2位	飛騨にゅうかわ宿儺まつり	248	ペットボトルキャップ回収	219
3位	花いっぱい運動	239	花いっぱい運動	168
4位	ウィンターカーニバル	142	1円玉募金	148

○年代別にみると

- ・30代、40代、70代の中で「クリーン作戦」が多い
- ・50代では上から順に「ペットボトルキャップ回収」、「クリーン作戦」、「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」、「花いっぱい運動」、「1円玉募金」となった
- ・60代では上から順に「クリーン作戦」、「花いっぱい運動」となり、「1円玉募金」と「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」が同じとなった
- ・「クリーン作戦」は30代、40代、50代、60代、70代が多い
- ・「花いっぱい運動」は50代、60代が多い
- ・「日本酒講座」、「ワイン講座」は50代～60代が多い
- ・「各種スポーツ大会」は40代～60代が多い
- ・「女性部講座」は50代が多い
- ・「1円玉募金」は50代～60代が多い
- ・「ペットボトルキャップ回収」は50代が特に多い
- ・「にゅうかわ夏まつり」は50代～60代が多い

- ・「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」は 50 代～60 代が多い
- ・「ウィンターカーニバル」は 60 代が多い

見直す事業	30代	40代	50代	60代	70代
クリーン作戦	1位	1位	2位	1位	1位
花いっぱい運動			4位	2位	
1円玉募金			5位	3位	
ペットボトルキャップ回収			1位		
飛騨にゅうかわ宿儺まつり			3位	3位	

○地区公民館別にみると

- ・旗鉾地区では上から順に「にゅうかわ夏まつり」と「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」が同じとなった
- ・白井地区では上から順に「花いっぱい運動」、「ペットボトルキャップ回収」となった
- ・法力地区、細越地区では「クリーン作戦」が多い
- ・坊方地区では上から順に「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」、「クリーン作戦」となった
- ・町方地区では上から順に「クリーン作戦」、「花いっぱい運動」、「ペットボトルキャップ回収」となった
- ・中根地区では「ペットボトルキャップ回収」多かった
- ・「花いっぱい運動」は町方地区、白井地区が多い
- ・「日本酒講座」、「ワイン講座」は町方地区、細越地区が多い
- ・「各種スポーツ大会」は白井地区、町方地区、中根地区が多い
- ・「女性部講座」は町方地区が多い
- ・「1円玉募金」は町方地区、中根地区、白井地区が多い
- ・「ペットボトルキャップ回収」は町方地区、白井地区、中根地区が多い
- ・「にゅうかわ夏まつり」は町方地区、旗鉾地区が多い
- ・「飛騨にゅうかわ宿儺まつり」は坊方地区、町方地区が多い
- ・「ウィンターカーニバル」は町方地区、中根地区が多い

見直す事業	旗鉾	白井	法力	坊方	町方	中根	細越	荒城
クリーン作戦			1位	2位	1位		1位	
花いっぱい運動		1位			2位			
ペットボトルキャップ回収		2位			3位	1位		
にゅうかわ夏まつり								
飛騨にゅうかわ宿儺まつり				1位				

○記述意見やその他（ ）内は回答数 抜粋して掲載

○クリーン作戦（94）

◇時間の見直し（61件）

- ・開始時間が早いのもっと遅くして欲しい
- ・子供も一緒に参加したがり、親としても参加させたいが、5時台という早朝の為なかなか難しい。時間の見直しをしてほしい。

◇時期の変更（6件）

- ・夏場の草が伸び放題の時が酷い。時期を変更するのもありかと
- ・小学校運動会との連日は予備日の兼ね合いもあり、場合によって参加者が減るため避けたほうが良いと思う。
- ・6月は忙しい
- ・昔は親子で町をきれいにするという指示で始めたと思うが、今は違っている普通の地域の草刈りだ！
- ・クリーン作戦の内容が地域にマッチしていない（ほかの方法で全域が納得いく方法の検討）
- ・草が多いので1回だけでなく2回は行っても良いと思います

◇人手不足（9件）

- ・高齢化のため、負担が大きい
- ・高齢化、人口減少により今までと同じ作業は無理。地区毎の作業に格差がありすぎ
- ・やれるだけでいいと思うが、住民減少により負担が大きくなっている
- ・人手不足、高齢化して若者がいない
- ・参加する人が限られている。もっと参加してもらえよう時間ややり方の見直しを
- ・やらない地域があり不公平、広い地域にもっと人を集めてほしい

◇方法の検討（15件）

- ・クリーン作戦は草刈りになっている。
- ・地域によって作業内容が違う
- ・個人がそれぞれやる事だと思う
- ・町内行事として解決するべき。
- ・参加している組と参加していない組があるように思い、見直してほしいです
- ・作業が早く終わるところ、めいっぱいかかるところと、かたよりがあるらしい
- ・自分達の町内だけでなく、人が少ない地域もカバーできるようにするとか、道路や川沿いを綺麗にする様なクリーン作戦をやってもらいたい。
- ・期間を決めて各自が都合の良い時にやってもらうようにしてはどうか（参加しない人もいますので）
- ・県が主体で行うべき
- ・道路管理者（高山土木）が行うべき
- ・住民の努力だけでは限界があるため、自治体のほうで対応すべきである
- ・国道部分について行政でおねがいできないか？高齢者も多く作業に危険が伴うため

- ・ほかの地区では行っていない
- ・除草剤の配分があるとありがたいです。手では限界があります
- ・もっと有効的な方法を考えてほしい

◇その他（3件）

- ・必要性がないと思う
- ・廃止、きれいなまちです。あえてやらなくても
- ・時間つぶし、ウルトラマラソンのためのもの？

○花いっぱい運動（44）

◇人手不足（20件）

- ・長年やってきているが、今後の人口減少や高齢化に対応する形を見据えて縮小や団体のあり方について見直してもらいたい
- ・花いっぱい運動も参加者が高齢化している為、準備など体力的に大変だと思う。その為、小中学生徒と一緒にできるイベントにしたり、毎年植え替えしなくても良い品種、コスモスなどにすると良いと思います
- ・町内で水やり当番を回しているが、世帯数の減少・高齢化により負担になっている
- ・高齢化が進み準備、管理する人が少ないため、できる地区だけで良いと思います
- ・人手不足、高齢化して若者がいない
- ・花があると、その土地がとても元気で活力があるようにはみえますが昨今の異常気象で花の世話がひどく大変になっているのではないかと心配します。特に役の方の負担が重そうです。何か世話を沢山しずらに草とりぐらいを順番にできるようなもの変わっていったらいいのではないかと思います。
- ・花を植えるだけでなく、植えるための準備が必要だけど、機械等も持っていないため、負担が大きい
- ・高齢化で老人会から引き継いだけど、今後維持していけないと思う
- ・役員になる方の負担になっているのでは？ 清見では多年草に変えてある地区あります

◇安全にできない（5件）

- ・高齢者には作業が苦痛、昔のスポット事業も荒れており、道ばたの花壇づくりも危険が伴う
- ・道路での作業は危ないし、人員は少なくなっている。各家庭に任せては
- ・道路際で危ない。花を見て楽しむ人はさほどいない
- ・以前、花いっぱい運動で子ども会が花植えをしたと聞いたことがあります。車など、子どもが危険でないように気をしながら花植えをするのは、とっても大変だったそうです。いま、改善されたならいいのですが
- ・町方の信号機のところは事故があってからでは遅いので考えてほしい

◇苗が少ない（2件）

- ・花植えの苗が少なすぎて、見映えが良くない
- ・肥料や花を十分に配布しないのならやめた方がよい

◇審査日の変更（2件）

- ・その年によって花の生育スピードが違うので審査する日にちを早めたりした方がいいと思います。審査日に花の盛りが終わっていることがあります。配布された花の苗以外でもきれいに咲いている花畑もあるのでいろいろな日も審査や特別表彰もあるといいと思います

◇その他（11件）

- ・国道等、車や人が通る地域を重点になってもらいたい
- ・花いっぱいを継続していく、きれいな町
- ・花いっぱい運動は廃止すべき意見が多数
- ・意味なし
- ・強制感が強い
- ・苗、肥料代が無駄。他に使った方がいい。
- ・岐阜国体（50年ほど前）の時のマリーゴールド等の植え付け、見直したら
- ・業者に渡す
- ・少子高齢化
- ・いろいろ大変だから
- ・必要？

○乗鞍岳・五色ヶ原の森自然体験学習会（5）

- ・もっと地元民を無料で五色ヶ原に連れてほしい
- ・募集人数が少ない（通常の高額が高すぎる、全国にもっとアピールを）

○広報紙等情報発信（5）

- ・広報紙より、SNS 発信、HP に力を入れてほしいです

○日本酒講座（10）・ワイン講座（11）

- ・ワイン講座とまとめて1つに
- ・お酒に関しては、本当に一部の人になってしまうので違うと思います
- ・参加したいなと思っても、会場が徒歩で行けない為、今まで参加できていないから
- ・送り迎えしてくれる家族がいないと参加できない
- ・別に丹生川で開催しなくても、旧高山市でやればいいのか
- ・内容を知らないのもっとわかりやすく広めてほしい
- ・まち協事業である意味がわからない。何を目的としているのかよくわからない

○ドラム缶ピザづくり（3）

- ・事業主体まち協でなくてもよいと思うから

○防災講演会（4）

- ・講演、ワークショップと毎年同じ講演ではなく、いろいろやった方がいい
- ・一般の人にもさらに防災講演会に出てほしい

○防災マップづくり（2）

- ・まちづくり協議会がする事業ではないと思う
- ・いいかげん、役員が集まるばかりでしかたなく参加

○芸能祭（4）

- ・昔のあり方が良いと思う。演劇が見たい
- ・小中学校も出れるといいと思う
- ・ワンパターン

○スポーツ体験（3）

- ・人が少ない

○ウィンタースポーツ（3）

- ・事業主体まち協でなくても良いと思うから
- ・町民スキー大会を復活してほしい

○各種スポーツ大会（12）

◇選手集め（9件）

- ・スポーツ参加者が少なくなってきた（参加者をふやす方法）
- ・人を集めるのが大変
- ・参加者、手伝いが集まらない競技については見直しをするべきだと思う
- ・まち協の行事としてではなく、所属している方々が組織を作って行ったらどうでしょう。あまりにもまち協の負担が多いのでは
- ・スポーツ関係もう少しおもしろいことはないのか？ソフトボール人が足りていない

○子ども会育成者研修会（3）

- ・子ども会自体が町内単位で活動できなくなっている

○子ども育成事業（5）

- ・すくなっ子の集金、教育経費は行政負担が原則、丹生川だけが集金している、必要なし
- ・道徳教育の復活、充実、すくなっ子集金の廃止、教育予算の拡充に力を入れるべき、何もやっていないのでは？

○女性部講座（8）

◇組織のあり方（4件）

- ・女性同士の繋がりの中で大事だと思うが、今の時代「女性部」自体ナンセンスなのかな？
- ・女性であればだれでもではなく、動ける女性を中心に活動を、家庭の負担が大きい
- ・「女性」って分けるのは時代に沿ってないかと思う。「女性部」っていうのがまず難しい気がする。家族の形が変わり、独身者も多いので
- ・女性部事業に年齢を重ねても、女性だと言われ、参加させられていますが、車にも乗れないし、足腰がよわってきたので、ペットボトルのフタなど集め回りが重くてたいへんでした。年齢を決めるなど考えて役員などは若い人をお願いしたいです

◇その他（5）

- ・今どき、女性だけの講座はいらない。
- ・時代錯誤
- ・女性は働きながら家事・育児もあり負担となる
- ・役員になる方の負担になっているのでは？

○1円玉募金（20）

◇キャッシュレス（5件）

- ・キャッシュレス決済が多くなり、1円玉がないこともある。集める当番の人がたいへんであまりありがたいとおもってもらえないのではと思ってます
- ・各地で災害も多く義援金など職場でも集めることが多くなった。キャッシュレス時代にそぐわない気がする
- ・何に募金をしているのかわかりにくい、現金の利用が減ってきている

◇名称の変更について（5件）

- ・わざわざ一円を集まる人がいないと思う。ペットボトルキャップも、スーパーなどで回収できる為、必要なのか。
- ・1円玉という名前を変えた方がいい（1円玉しか集まらず、金額が少ないと思う）

◇その他（9件）

- ・女性部役員さんの負担が大きい
- ・目的とコストが見合わないのでは
- ・1円玉募金は手数料どうなっているのでしょうか？能登募金の時みたいに手数料かからなきゃOK
- ・活動の意義が理解できない（私は）
- ・すでに寄付しているから
- ・計算が大変そう
- ・強制的
- ・回収やまとめて出すなど手間がかかる

○ペットボトルキャップ回収（40）

◇役員等の負担（25件）

- ・女性部のみでの対応は役員の方の負担が大きい。丹生川中のキャップが集まるので回収が大変。中止にしてほしい
- ・手間を考えると、気持ちはわかるが、キャップはプラ資源回収に出して、別に寄付を集めた方が良い
- ・回収にかかる見えない経費を考えるとその分直接寄付した方がマシ。時間のムダのTOP of TOP だと思う
- ・きれいに出してくださいと知らせても知らせても、汚れた物が混じっていて役員にとってもものすごく大変すぎる
- ・キャップ回収をするのは賛成だが、女性部の役をやった際に集まったキャップの汚れ、異種品（汚れのあるもの、ペットボトル以外のキャップ、虫がついたキャップなど入っていた）の確認作業が大変だった。今後もやるのであれば、各家庭でのキャップの管理方法（室内で保管する、ペットボトルキャップのみを入れる、汚れを落としてから保管する）を徹底して確認作業の手間が減るようにしてほしい

- ・特にペットボトルキャップ回収はぜひ早急にやめてもらいたいです。開始当初より回収の数も増え、片手間にできるものでなく、回収にかかる時間はボランティアでできる域を超えています。海外のポリオワクチン助成なら募金で対応してください。海外を助けるくらいなら地域の子供に対して手厚くしてやりたいと思うほどです。お年寄りの生きがい対策としてどうしても継続したければ、社協に事業移管し、生きがい対策として行なってください。
- ・やっていることは良いことなので協力します。しかし、役員さんが大変だと伺いました。(シール、汚れ、混入物除去など)受け取りの業者が引き取らないレベルはあるのか、多少の汚れはまとめて洗浄するから大丈夫なのか確認されてはどうでしょうか。引き取ってもらえないなら、やめましょう。直接まち協本部に個人で持ってくるのはどうでしょうか。もってこられるのは困るのであれば、やめましょう。私は個人的には続けたいので、我が家の分は綺麗に洗い、まち協以外で集めているところを探します。
- ・スーパーでも回収しているので女性部で回収する必要がない 役員さんの負担
- ・毎年、回収時に汚染キャップの排除に担当者は悩まされている。個人でもできる(丹生川小学校でも回収している)ので、個人の責任において、やりたい方がされるといいのではないかと思います。

◇ほかの方法 (5件)

- ・地域でペットボトル以外に資源回収をしてはどうか。学校の資源回収が少ないため
- ・市内のスーパーでも回収できるから長期間取っておくことが難しい
- ・ペットボトルキャップの回収を、文化ホールなどの場所にいつでも集められると良いと思います

◇目的がわからない (3件)

- ・妻が一応女性部でやってるから渋々集めるものの、本当はエゴでもなく、意味がないとグチるため
- ・回収することでの直接の意義がわからない。目的が違ってきてしまい役員の負担ばかりが大きくなっている
- ・何の役に立っているのかよくわからない 最近はスーパーなどの回収で出している

◇その他 (7件)

- ・時代に合ってなく、メリットが無いです。
- ・汚い、臭い。不衛生。キレイなものだけが集まってくるわけではない。役の人が何故、他人の家から送られてきたカビの生えたキャップの選別や再洗浄をしなければいけないのか意味が全くわからない。家の中も悪臭。不衛生な物を個人宅で取り扱わせるとか今の時代にそぐわない。
- ・ペットボトル入り飲料は飲まない、したがってキャップがないから
- ・コロナ感染予防のため、中止してほしい

○介護布の回収 (7)

- ・時代に合ってなく、メリットが無いです。
- ・サイズが大きい事、切っているじかんがない、ボランティアで対応してほしい
- ・介護布の回収は年に1回ですが、毎日ほしいものなので、年に3~4回、各地区の集会所に出せるよう箱などを置いてもらうといいんじゃないですか？
- ・コロナ感染予防のため、中止してほしい

○高齢者学級学習会（3）

- ・参加していない
- ・老人会は各町内単位での運営は難しいと思うのでまち協で一括運営してほしい。老人会加入などの条件なしで60歳以上で自由加入とする
- ・有名な講師の話が聞きたい

○高齢者学級視察研修（4）

- ・廃止
- ・旅行を楽しみにしてみえる方も多と思います。高齢で出かけることの少ない人もいるので近場と少し遠出と分けるのも良いかと。酒など楽しみの方もいると思いますが酒は少し控えてほしいです
- ・必然性がないと思います

○にゅうかわ夏まつり（17）

◇イベントの集約（7件）

- ・両方継続してほしいが、補助金の減少、担い手の不足、高齢化等あるのなら、無理して両方やるよりは、どちらかに集約した方がいいかもしれない
- ・丹生川夏まつりとすくな祭りは一年に二つやる必要が有るのか？一年にどちらかを交互に遣るべきで良いのではないのでしょうか？ご来店、ご来場する方も大体決まって来ていると思いますし、少子高齢化してきているなかで他に使える費用をもっと有効活用すべきだし、じゃなければ個々の集金金額を下げるべきではないでしょうか？ここ何年か事業がマンネリ化して来ていると思います。
- ・イベントが多すぎるのでは
- ・2つの行事を1つにまとめてやれないのか、今より人が集まる気がする、経費削減にもなるのでは？
- ・夏まつりに集約し、ほかはやめた方がよい。あれもこれもでは無理が生ずる。

◇イベント費用（4件）

- ・各種イベントの予算の中でテントリースなどの費用をかけすぎである。マルシェのようにキッチンカーを増やせば、費用削減できると思う。
- ・両方とも費用がかさんでいる。交互に開催して余剰金を各公民館に分配したら良いと思う
- ・2つのイベントを1イベントに集約してもいいのではないか。各種役員の出役負担、事務局の負担減のため
- ・お店が出て、演奏など形態が似ているので、見直しが必要だと思う（花火はやめないでほしいけれど）

◇開催日について（3件）

- ・丹生川の花火と高山の花火が同じ日なので変えてほしい
- ・お盆の日なら帰省の家族も楽しめ、盛り上がりも増すのでは

◇その他（4件）

- ・折角なら丹生川全体が活性化、或いは全体が良くなる暮らしやすくなるような事を考えて欲しいです。
- ・駐車場の確保
- ・継続してほしいとの意見は多いかもしれないが、それは単に参加する人の意見。事業を継続する為の人材が減

少していく中で「なくなるとさみしい」といった声に対応するために負担をかける必要があるのだろうか？災害時の対応などの仕組みづくりなどに力を注ぐべき、イベントが悪いとは言わないが、だれのために行うのか考える時期にきていると思う

- ・お金を払わないよそ者がふえて住民がさけている

○飛騨にゆうかわ宿讎まつり（32）

◇イベントの集約（12件）

- ・両方継続してほしいが、補助金の減少、担い手の不足、高齢化等あるのなら、無理して両方やるよりは、どちらかに集約した方がいいかもしれない
- ・宿讎まつりとマルシェを一緒にやるとか、芸能祭も一緒にやるとかすれば
- ・夏まつりを充実してほしい
- ・2つのイベントを1イベントに集約してもいいのではないかな。各種役員の出役負担、事務局の負担減のため
- ・1年おきに夏まつり、宿讎まつりをやっていけば充分だと思う
- ・どちらかのまつりを残すとしたら夏まつりを残してもらいたい

◇イベント費用（8件）

- ・各種イベントの予算の中でテントリースなどの費用をかけすぎである。マルシェのようにキッチンカーを増やせば、費用削減できると思う。
- ・両方とも費用がかさんでいる。交互に開催して余剰金を各公民館に分配したら良いと思う
- ・町内会を通じて協賛金を集めてまで継続する意義を感じない。来場者負担ですべてまかなえばいい
- ・投入金額が大きすぎる。役員出役負担が大きい。開催の効果がわからない。各戸の協力金拠出をやめてほしい
- ・経費がかかりすぎる。鍋に愛着はあるが、無理なら鍋をやめることも選択肢の一つ
- ・まち協の金を使いすぎる。町民のためになっているのか？

◇イベント内容（3件）

- ・地元役員や団体役員消防団等への負担(出役)が大きい。開催当初の目的からズレてきており、誰を対象としたイベントかわからない
- ・目玉がない（飽きがきているのではないかな）

◇イベントのあり方（5件）

- ・村の頃のまま、やっているだけ
- ・丹生川夏まつりとすくな祭りは一年に二つやる必要が有るのか？一年にどちらかを交互に遣るべきで良いのではないのでしょうか？ご来店、ご来場する方も大体決まって来ていると思いますし、少子高齢化してきているなかで他に使える費用をもっと有効活用すべきだし、じゃなければ個々の集金金額を下げるべきではないのでしょうか？ここ何年か事業がマンネリ化して来ていると思います。折角なら丹生川全体が活性化、或いは全体が良くなる暮らしやすくなるような事を考えて欲しいです。
- ・飛騨にゆうかわ宿讎まつりは、もっと肩の力を抜いて、収穫感謝祭的なイベントでいいのではないかな。趣も新たに「すくなフェスタ」など、若い世代もより参加できるものに。

- ・当初の目的は、住民自らがつくり、自分らが楽しむはずであったが、その意義がうすれていると感じる
- ・農業団体が主催イベントにしてはどうか

◇その他（6件）

- ・特に必要と感じない。他にお金を使った方が良いと感じる
- ・イベントが多すぎるのでは
- ・継続してほしいとの意見は多いかもしれないが、それは単に参加する人の意見。事業を継続する為の人材が減少していく中で「なくなるとさみしい」といった声に対応するために負担をかける必要があるのだろうか？災害時の対応などの仕組みづくりなどに力を注ぐべき、イベントが悪いとは言わないが、だれのために行うのか考える時期にきていると思う

○ウィンターカーニバル（23）

◇イベントの集約（5件）

- ・そんなに祭りばかりじゃない
- ・人数も少ないので、夏まつりにその分力を入れたらいいと思う

◇イベント費用（3件）

- ・予算が多すぎる
- ・費用対効果の面から×
- ・来場者負担ですべてまかなえばいい

◇イベントのありかた（8件）

- ・村の頃のまま、やっているだけ
- ・スキー場観光イベントに位置付けるべき
- ・まち協の行事でない
- ・単なるスキー場への助成事業であり、地域住民対象となっていない（観光客向けのため）
- ・たくさんの方が参加する行事ではないと思うので
- ・開催費用があるのなら、町内の学生ぐらいリフト券の割引等補助してほしい

◇その他（4件）

- ・遠いので行けない

○その他意見

◇事業が多い（2件）

- ・事業が多すぎる
- ・いろんなイベントに仕事などで参加できないので、できたら事業を減らして欲しい

◇事業の見直し（9件）

- ・特定の世代や人しか集まらない事業は見直すべき。その分祭り等にまわして欲しい。
- ・他の団体からの協力が必要なイベントがあればやる必要なし
- ・全ての事業について、これまでどおりに行うだけでなく、校下とやりたい人の思い、地域の負担などを比較しながら

ら、今後のあり方を検討していくべきではないか。女性部の意義について、他の地域では廃止していくところもあると聞いているので、なぜ女性だけの組織が必要なのか改めて検討して欲しい。

- ・全事業で参加率が少ない、無いものは廃止しその費用をほかに回してほしいです
- ・全て点検し、見直すべきは見直してはいかがですか
- ・ボランティアへの出役
- ・全体的に運営するのに、ボランティア性が強く、町民負担が多い。運営する方に、報酬をだせる体制にしてほしい
- ・役員が負担になるものなどは、委託して行えることは地元の事業所に割り振るなどした方がよいと思います

◇わからない（3件）

- ・参加人員や内容など詳しく知らない事業があるので答えられません。ただ、これまでやっていた事業を漫然と実施するのではなく、全体的に見直す時期にきているように思います。（先日も地区女性部の総会でペットボトルキャップ回収は何のためにやっていたの？という声が挙がっていました）
- ・補助金の配分が分からない事と参加人数も分からない為、回答出来ません
- ・参加しない事業がほとんどでわからない

◇事業の提案（2件）

- ・フリーマーケットがあればいいです
- ・認知症になる前の段階の世代の運動とか食事とかの講習会

◇その他（5件）

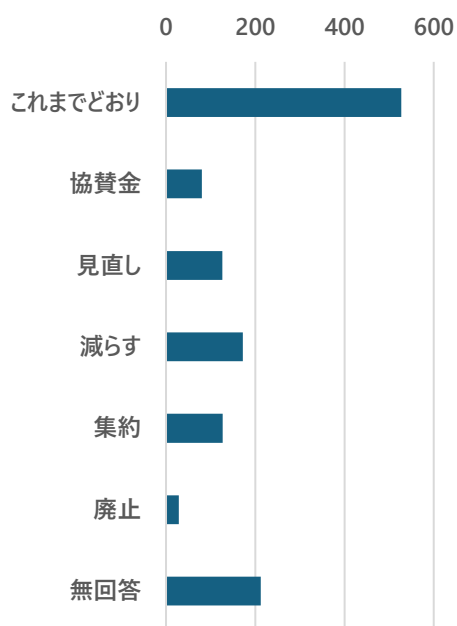
- ・前年度を踏襲しているものが多く、参加者も同じメンバーなのではとってしまいます
- ・子供がいないと参加できないものが多過ぎて万人誰でも参加できるものにすべき。
- ・丹生川に住んでいてよかった、住んでみたい、もっと知りたいと思えるような視点をさらに強化すると良いかと思えます
- ・町の活性化、各種事業の採択支援、予算の確保
- ・（まち協行事外ですが）ウルトラマラソンは規模（参加者）拡大はやめてほしい。内容の充実を

- ⇒・「クリーン作戦」、「花いっぱい運動」、「ペットボトルキャップ回収」、「飛騨にゆうかわ宿儺まつり」、「1円玉募金」の順となった。
- ・「クリーン作戦」は男女とも各年代が取り上げ、特に実施時間や方法の検討を求める意見があった。見直しを行い継続したい事業として捉えられている。
 - ・「花いっぱい運動」は男女とも3位に位置付けられ、担い手不足と作業時の安全確保、管理の苦勞などの意見があった。
 - ・女性では「ペットボトルキャップの回収」が2位、「1円玉募金」が4位と実施の意義と役員の苦勞の多さが指摘された。
 - ・男性では「飛騨にゆうかわ宿儺まつり」が2位、「ウィンターカーニバル」が4位とまちおこしイベントの集約や経費節減、その他在り方に対する意見があった。

(10) まちおこしイベントの今後の在り方について

問 10. まちおこしイベントの今後の在り方をどうお考えですか？

イベントの在り方	実数	構成比
① これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	527	41.4%
② まち協補助金は減っても、 その分住民の協賛金を集め、 これまでどおりの規模で3 イベントを実施	80	6.3%
③ 3 イベントとも見直し、縮小する	126	9.9%
④ まち協補助金の対象イベントを減らす	172	13.5%
⑤ まち協補助金対象を1 イベントに集約し、 合理的に実施	127	10.0%
⑥ 3 イベントとも廃止する	29	2.3%
⑦ 無回答	212	16.7%
全体	1273	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	254	252	1	20	527
② まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、 これまでどおりの規模で3 イベントを実施	46	32	0	2	80
③ 3 イベントとも見直し、縮小する	67	52	0	7	126
④ まち協補助金の対象イベントを減らす	90	74	1	7	172
⑤ まち協補助金対象を1 イベントに集約し、 合理的に実施	80	43	0	4	127
⑥ 3 イベントとも廃止する	16	10	1	2	29
⑦ 無回答	87	89	0	36	212
合計	640	552	3	78	1273

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① これまでどおりまち協補助金を使い、3イベントとも積極的に実施	3	14	60	110	92	99	109	33	7	527
② まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、これまでどおりの規模で3イベントを実施	0	4	6	8	16	24	14	8	0	80
③ 3イベントとも見直し、縮小する	0	1	6	15	27	38	28	10	1	126
④ まち協補助金の対象イベントを減らす	2	1	9	29	58	49	20	4	0	172
⑤ まち協補助金対象を1イベントに集約し、合理的に実施	0	2	3	15	39	44	18	3	3	127
⑥ 3イベントとも廃止する	0	0	1	4	10	6	3	3	2	29
⑦ 無回答	1	2	7	17	25	33	76	35	16	212
合計	6	24	92	198	267	293	268	96	29	1273

地区公民館別内訳	旗鈴地区	白井地区	法力地区	坊方地区	町方地区	中根地区	細越地区	荒城地区	無回答	合計
① これまでどおりまち協補助金を使い、3イベントとも積極的に実施	19	53	45	63	205	60	58	24	0	527
② まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、これまでどおりの規模で3イベントを実施	5	17	2	8	28	9	7	4	0	80
③ 3イベントとも見直し、縮小する	8	23	6	10	41	14	13	11	0	126
④ まち協補助金の対象イベントを減らす	7	14	8	21	59	33	23	7	0	172
⑤ まち協補助金対象を1イベントに集約し、合理的に実施	8	19	9	8	41	26	12	3	1	127
⑥ 3イベントとも廃止する	1	6	1	3	10	2	5	1	0	29
⑦ 無回答	8	24	14	20	87	23	15	21	0	212
合計	56	156	85	133	471	167	133	71	1	1273

○全体

- ・上から順に「これまでどおり積極的に実施」、「無回答」、「補助金対象イベントを減らす」となった
- ・「3イベントとも見直し、縮小する」、「まち協補助金対象イベントを集約し、合理的に実施」は同じ数だった

イベントの在り方	全体	回答数（全 1273 件のうち）
1 位	これまでどおり積極的に実施	527
2 位	無回答	212
3 位	補助金対象イベントを減らす	172

○男女別にみると

- ・男性は上から順に「これまでどおり積極的に実施」、「補助金対象イベントを減らす」、「無回答」となった
- ・女性は上から順に「これまでどおり積極的に実施」、「無回答」、「補助金対象イベントを減らす」となった
- ・「3 イベントとも見直し、縮小する」は男性が女性に比べて倍くらい多い

イベントの在り方	男性	回答数 (全 640 件)	女性	回答数 (全 552 件)
1 位	これまでどおり積極的に実施	254	これまでどおり積極的に実施	252
2 位	補助金対象イベントを減らす	90	無回答	89
3 位	無回答	87	補助金対象イベントを減らす	74

○年代別にみると

- ・10 代～70 代のどの世代も「これまでどおり積極的に実施」が一番多いが、80 代以上は「無回答」が一番多い
- ・30 代～60 代は「補助金対象イベントを減らす」が次に多いが、70 代は「3 イベントとも見直し、縮小する」が多い
- ・「3 イベントとも廃止する」はどの世代でも一番少ない

イベントの在り方	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代 以上
これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	1 位	2 位
まち協補助金の対象イベントを減らす			2 位	2 位	2 位	2 位	
無回答							1 位

○地区公民館別にみると

- ・どの地区公民館でも「これまでどおり積極的に実施」が一番多い
- ・旗鉾地区では「3 イベントとも見直し、縮小する」、「まち協補助金対象を 1 イベントに集約し、合理的に実施」、「無回答」が同じであった
- ・白井地区では「無回答」、「3 イベントとも見直し、縮小する」という順になった
- ・法力地区では「無回答」が多いがその他の項目にそれほど差がない
- ・坊方地区では「まち協補助金の対象イベントを減らす」、「無回答」という順になった
- ・町方地区では「無回答」、「まち協補助金の対象イベントを減らす」という順になった
- ・中根地区では「まち協補助金の対象イベントを減らす」、「3 イベントとも見直し、縮小する」という順になった

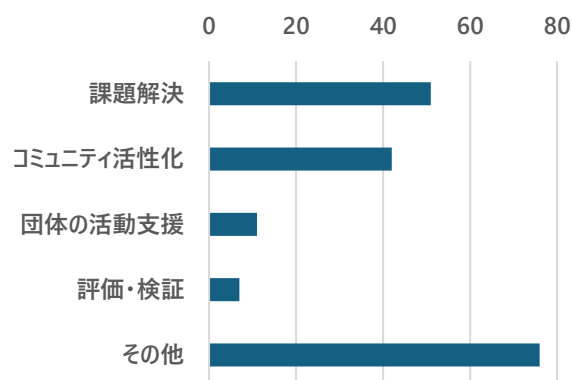
- ・細越地区では「まち協補助金の対象イベントを減らす」、「無回答」という順になった
- ・荒城地区では「無回答」、「3 イベントとも見直し、縮小する」という順になった
- ・「まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、これまでどおりの規模で 3 イベントを実施」、「3 イベントとも見直し、縮小する」は町方地区、白井地区が多い
- ・「まち協補助金の対象イベントを減らす」、「まち協補助金対象を 1 イベントに集約し、合理的に実施」は町方地区と中根地区が多い
- ・「3 イベントとも廃止する」は町方地区が多い

- ⇒ ・「これまでどおりまち協補助金を使い 3 イベントとも積極的に実施」、「まち協補助金の対象イベントを減らす」、「まち協補助金対象を 1 イベントに集約し合理的に実施」、「3 イベントとも見直し縮小する」、「まち協補助金は減ってもその分住民の協賛金を集めこれまでどおりの規模で実施」、「3 イベントとも廃止する」の順となった。
- ・まち協の全体事業の中で、まちおこしイベント事業費とそれを除く必要事業費との均衡を図るため、まちおこしイベント事業費の調整が必要となる。

(11) まち協が取り組むべきことについて

まち協が積極的に取り組むべきとお感じの取り組みはありますか？

問 11. 積極的に取り組む事業	実数	構成比
① 地域課題の解決	51	27.3%
② 地域コミュニティの活性化	42	22.5%
③ 地域団体等の活動支援や コーディネート	11	5.9%
④ 評価・検証と改善	7	3.7%
⑤ その他	76	40.6%
全体	187	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 地域課題の解決	28	22	0	1	51
② 地域コミュニティの活性化	22	20	0	0	42
③ 地域団体等の活動支援や コーディネート	6	5	0	0	11
④ 評価・検証と改善	3	4	0	0	7
⑤ その他	45	28	0	3	76
合計	104	79	0	4	187

年代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
① 地域課題の解決	0	0	3	9	17	14	7	0	1	51
② 地域コミュニティの活性化	0	2	4	4	16	11	5	0	0	42
③ 地域団体等の活動支援や コーディネート	0	1	0	1	3	6	0	0	0	11
④ 評価・検証と改善	0	1	0	2	2	2	0	0	0	7
⑤ その他	0	1	5	12	21	20	13	1	3	76
合計	0	5	12	28	59	53	25	1	4	187

地区公民館別内訳	旗銚 地区	白井 地区	法力 地区	坊方 地区	町方 地区	中根 地区	細越 地区	荒城 地区	無回 答	合計
① 地域課題の解決	4	7	4	4	14	8	7	3	0	51
② 地域コミュニティの活性化	2	6	5	4	16	5	4	0	0	42
③ 地域団体等の活動支援や コーディネート	0	2	3	1	1	2	2	0	0	11
④ 評価・検証と改善	0	2	0	1	1	2	1	0	0	7
⑤ その他	2	16	3	5	31	12	2	4	1	76
合計	8	33	15	15	63	29	16	7	1	187

○全体

- ・上から順に「地域課題の解決」、「地域コミュニティの活性化」、「地域団体等の活動支援やコーディネート」、「評価・検証と改善」となった
- ・とりわけ「地域課題の解決」、「地域コミュニティの活性化」が多い

まち協が取り組むこと	全体	回答数（全 187 件のうち）
1 位	地域課題の解決	51
2 位	地域コミュニティの活性化	41
3 位	地域団体等の活動支援や コーディネート	11
4 位	評価・検証と改善	7

○男女別にみると

- ・男性も女性も上から順に「地域課題の解決」、「地域コミュニティの活性化」、「地域団体等の活動支援やコーディネート」、「評価・検証と改善」となった
- ・男性は女性より「地域課題の解決」が多いが、「地域コミュニティの活性化」は男女同じくらいであった

まち協が取り組むこと	男性	回答数 （全 187 件）	女性	回答数 （全 552 件）
1 位	地域課題の解決	28	地域課題の解決	22
2 位	地域コミュニティの活性化	22	地域コミュニティの活性化	20
3 位	地域団体等の活動支援や コーディネート	6	地域団体等の活動支援や コーディネート	5
4 位	評価・検証と改善	3	評価・検証と改善	4

○年代別にみると

- ・20代～30代は「地域コミュニティの活性化」が多い
- ・40代～70代は「地域課題の解決」が多い
- ・50代～60代は「地域コミュニティの活性化」が多い
- ・50代は「地域課題の解決」と「地域コミュニティの活性化」が同じくらいである

- ・60代は「地域団体等の活動支援やコーディネート」が多い
- ・20代、40代～60代は「評価・検証と改善」が同じくらいである

まち協が取り組むこと	40代	50代	60代	70代
地域課題の解決	1位	1位	1位	1位
地域コミュニティの活性化	2位	2位	2位	2位
地域団体等の活動支援やコーディネート				
評価・検証と改善				

○地区公民館別にみると

- ・旗針地区、白井地区、中根地区、細越地区、荒城地区では「地域課題の解決」が多い
- ・法力地区、町方地区では「地域コミュニティの活性化」が多い
- ・坊方地区は「地域課題の解決」と「地域コミュニティの活性化」が同じだった
- ・白井地区、法力地区は差があるもののほぼ同じくらいだった

まち協が取り組むこと	旗針	白井	法力	坊方	町方	中根	細越	荒城
地域課題の解決	1位	1位	2位	1位	2位	1位	1位	1位
地域コミュニティの活性化		2位	1位	1位	1位	2位	2位	
地域団体等の活動支援や コーディネート								
評価・検証と改善								

○記述意見やその他（ ）内は回答数 抜粋して掲載

①地域課題の解決（51）

◇暮らしについて（5件）

- ・丹生川中心地域以外の交通の不便さ、バスが通っていてもバス停までの距離があれば使用できない
- ・買い物難民、移動手段の少なさ、自分1人ではできない仕事や家事を助けてほしくてもどこに助けを求めたらよいか、助けてくれる人の顔がみえない。などの課題があると思います。地区の公民館にさえ、移動手段がなくて出向くことが出来ない人がいるのが現状です。車やバイクの運転ができなくなると隣の地域の人とはめったに顔を合わせることが出来なくなります。私は気安く「乗っていきますヨ」と言いたいけれど、何かしらのシステムがあると声かけもしやすいし、利用もしやすいと思われます。中央で何かをするだけだと、出向くことが出来ない人はますます埋もれてしまいます。丹生川は人口規模も良い加減でまだまだコミュニティも生きています。人をうまく活用することで自分が年をとっても暮らしやすい町であってほしいです。
- ・医療問題（診療所）土川先生が行っていた往診等、在宅医療は大切だと思う

◇地域生活について（6件）

- ・地区の件数が減っていて毎年のように役をやらなければいけないのは大変すぎる
- ・白井地区でも本当は神社、公民館祭りを1つにまとめた方が楽だと思うけど、（今後を考えると持続可能でないため）なかなか1つにまとめるのは難しい。そこで、各町内会長さん集まった時に、他県他地区の取り組

みを話し合うことがあれば良いと思う。

- ・各町内から修繕要望箇所が毎年出るとは思いますが、進んではと思わない。毎年毎年提出してるが、いつ予定するとかの返答がない。異常気象が頻繁に起こる今だからこそ、災害が発生する前に危険な芽を潰してほしい。毎年要望箇所が増えるばかりです。まち協だけでは無理なら行政と話し合っ進めてもよいのではないのでしょうか。アンケートを執るのであれば期待します。
- ・休耕田、休作畑、空き家の解消
- ・3 イベントとも中心地みの行事に思われる、遠方の方の気軽に参加できる移動方法について考えると良いと思う

◇防災について（2件）

- ・地域防災力の向上、若い世代が暮らしやすい地域づくり
- ・今は私の住む地区からうじて草刈りできる70代の方がいらっしやるけれど、10年後、ゴザバ等道路まで伸びたり山野杉の倒木等エライことになるのでは？と心配しています。大雪で停電続いたことを思うと、イベントのお金をそちらに回した方が後々いいかと

◇ライフスタイルについて（3件）

- ・婚活

◇人口減少・過疎・移住について（5件）

- ・人口構成が急激に変化し、やりたいと思っても担い手がいなくなってできなくなるので、人口の変化とともに長期計画、短期計画を人口推計とともに考え、計画策定と進捗評価が必要だと思ひます。人口減でもできること、魅力的な地域であり続けるために、もう新しく始めることはかなり難しいので、維持することとやめること縮小することを明確にして周知してください。積極的に取り組むことは、団塊の世代が少しでも元気でいて、自立して暮らして下さること。あとの世代は自分の生活を守るだけで必死で、とても団塊の世代のお世話まで手が回らない時代が5年以内にきますから、皆さん元気で、倒れずボケず、暮らしていきましょう。
- ・地域課題の解決は第一にお願いしたいですが、一番困難でもあると思ひます。限界集落に近い状態で、課題は後10年経って残っているのは2・3軒か？先に明るい見通しが無い。
- ・地域課題は少子高齢化。いまさらだけどやらなければどどん人減ると思う。若い子たちが生まれた地域に戻る、住める、子育てできる、結婚するのが大事でそれを進めていけるよう。
- ・人口減少に対して、丹生川への移住支援を行う（空家利用のあっせんや就職サポートなど）

②地域コミュニティの活性化（42）

◇暮らしについて（1件）

- ・高山市といっても旧郡地域の課題でもある過疎や高齢化による孤立し、生活に不便が生じる問題を地域みんなで助け合い、声をかけ合う事のできる仕組みづくり（買い物助けや定期的な安否確認）

◇地域生活について（6件）

- ・ある程度年齢を分け、軽スポーツ、ゲーム、もの作りなど（大人（高齢者）と子どもの交流もありかも）
- ・高齢者が参加しやすい行事を考える（体を動かす）体操、ストレッチ
- ・町方のなかちょうがゆーとびあみたいな銭湯になればうれしい。夜や休日家族で楽しめる場所になります。平湯

や折敷地に行かなくても、近くで休める場所が欲しい（特に冬）

- ・家族で遊べる場所として、町方ぐらいに銭湯を作ってほしい。公民館なんかを使っているようなワークショップを定期的にするとか、交流と楽しみをつくる
- ・地域のコミュニティの場がどこにあるか分からない。若者向けに SNS で発信してほしいです。本当に必要な人に必要な支援を届けられると良いですね。

◇その他（5件）

- ・移住したくなるような地域づくり
- ・今までの取り組みでも一定の評価できる内容が多いので継続して下さるとありがたいです
- ・近年、地域での近密感が弱くなってきた様な気がする

③地域団体等の活動支援やコーディネート・交流（11）

◇地域団体等への活動支援（3件）

- ・公民館活動への補助（歴史、文化の掘り起こしと継承が次の時代や国際交流に必要となる）
- ・地域団体の見直しと支援の仕方を明確にしてほしい。団体が多いため、ある程度まとめ、積極的に関わってほしい

◇その他（2件）

- ・4項目すべてが大事な事です 積極的に進めてもらいたいです
- ・地域の課題を把握し、住民と問題意識を共有しながら、行政に意見具申しながら、地域・コミュニティを維持活発化する為に、地域経済団体までも含めその活動の支援やコーディネートにつとめ、その活動の検証を行ない、将来の地域を見定め、貢献する団体と考える。行政と協働する団体であるべき

④評価・検証（7）

- ・評価・検証の報告を SNS で発信し、小学生～30代に向けたアンケートを行ってほしいです

⑤その他（75）

◇事業の提案（17件）

- ・災害を想定した避難所開設訓練など
- ・健康増進目的（歩いた歩数などを毎日カウントするアプリを用いて各自の町内を登録。スマホから毎月分のデータ送信し、町内別で集計したもので、町内対抗ウォーキング大会記録として表彰する。これならば、家からあまり出ない方達も全員参加でき、かつ、町内に入っていないアパート暮らしの方々も参加できる。結果はスマホから確認でき、まち協の配布物にも掲載することで広く周知が可能。）
- ・老若男女が気軽に参加でき、定期的に行われる行事があるといい。例、各地区を歩くウォーキング、フレイル予防の体操
- ・地域住民の丹生川町に対する歴史、伝統、文化、魅力などの理解と誇りの醸成
- ・お金がかかることじゃなく、やりたいことをやれる環境や自由にできる場所など自主的な活動を手助けしてほしい（気さくな場所づくり）
- ・お年寄りの人の知恵を伝える わら細工、炭焼きなど

- ・SDGs でフリーマーケット+ 不用品交換会 (+ マルシェ) 同時に期限の近い食品や食べない贈答品を集めて必要な人に配る。
- ・昔やっていた“あいさつ運動”を復活させてはどうか、お互い、知らない人でも気軽に素直に挨拶ができるといいと思う
- ・子どもの人数が増えることが地域活性化の根本にあると思うので、婚活パーティーをお願いします
- ・丹生川は農業をしている若者はけっこういるのに出会いの場がありません。野菜ソムリエを招いてのイベントやお見合いイベントを開催してはどうでしょうか
- ・人口減少社会がやってきます。地域にこだわらず、広く web で参加者を募るなど効率的に行うことも考えては
- ・一部の人達だけの、偏った地域コミュニティでは、活性化は進まないと思います
- ・市の補助のない事業をやった方が良くと思う
- ・近未来を考えると現状では到底解決できない問題が多い。現在の課題と併せて今後の暮らしへの転換を専門家とともに考えていてもらいたいものと思います

◇子ども育成 (6 件)

- ・子供の見守と地域活性化(移住者が増加)
- ・子どもたちへの丹生川学? 地域の大切な昔を教えてあげてほしい。昔だけでなくトマト、ほうれん草など農業も!!
- ・子どもの社会教育、社会体育 (教育分野)
- ・子ども食堂、長期休み中のお昼ごはん
- ・子どもや高齢者が安心して住みやすい取り組み

◇高齢者を支える (12 件)

- ・主として年配の方の助けになる取り組みに力を入れて欲しいです
- ・高齢者向けのタブレット端末を使ったコミュニティ
- ・将来の高齢者を対象にした DX、ICT への試み
- ・運転ができない方、免許証を返納された方の移手段
- ・免許返納高齢者の移動交通支援 (行政と連携して 100%に近い支援を)
- ・A コープが来年閉業することにより、特にお年寄りの方が生活に困らないような対策が最優先されるべきだと思います。すでに買い物のお手伝いなどの企画をして下さりありがとうございます。
- ・利用しやすい移動販売車などによる、買い物支援(利用者、地域の意見を聞く必要あり)
- ・高齢者の生きがいづくり (高齢者福祉分野)
- ・子どもや高齢者が安心して住みやすい取り組み

◇その他の年代 (4 件)

- ・子育てしやすい町づくり
- ・子育てしている世帯の支援をもっとしてほしい
- ・高齢者対象のサロンはかなり定着してきましたが若い世代の交流の場が少ないと思います。サロン形式で子ども

子育て世代の方々 高齢者手前の人たちの集まれる場所や機会があれば良い。サロンがもっと全対象に行えるとよいと思います。

- ・子ども、若者の育成というより、後押しをする何か補助金というより別の事を考えては。例えばこうした例の先進地研修もよいのでは

◇コミュニティの活性化・負担軽減（2件）

- ・地域内のつながりの強化
- ・コミュニティの活性化が大事だとは感じますが、やはりほぼボランティアの方の協力で成り立っているのであれば時代にあってない活動だと感じます。それなりの対価を与えないのであればやめる方向でいいかと感じます。若い世代がボランティアでも参加したいと思える活動ならいいですが、そういった事を嫌って田舎をでる若者が多いのも事実な為難しいとは思いますが何かあればなと感じます

◇少子高齢化・過疎化・担い手（7件）

- ・過疎化の対策
- ・担い手支援、耕作放棄対策支援、空き家対策や相談窓口
- ・買い物や移動支援。地域の担い手、後継者の育成
- ・人出不足。町内に残っている人がどんどん生活する上での負担が増えている

◇くらしに関わる支援（10件）

- ・交流やイベントよりも、今後の生活（日用品の買い物、高齢化など）について対策を考えた方が良いと思う
- ・各家庭にアンケートで困っていることを拾いあげていただき、週に1度セブンイレブンの移動販売車が来てくれることになりました。何よりありがたく思っています。
- ・今は運転できるので困りませんがいつか移動手段、買い物等に困ると思います。採算的に難しいでしょうが、町内にタクシー営業所が再開してくれるとありがたいです
- ・旧市内で運転されている「とくし丸」などが独居老人宅に行ってくださいといいと思います。ひっばってきて下さい。チラシを見て予約するというのは難しい方でも、手に取って選んで買い物ができる楽しそうだから（自分の家の年寄りがそうだから）
- ・地域の課題としては、交通機関がほぼ無いので、丹生川地域をライドシェア解禁特区にする
- ・高齢者が移動に困っていると考え NPO 法人で移動支援に取り組み始めたところ（社会課題）何か協業できる点があると思われるので改めてお訪ねします
- ・思わぬ災害が全国各地で発生しています。町民全員が他人ごとではなく防災の意識を高める取り組みをまち協でリードしていけないものでしょうか。
- ・災害時の対応や防災活動の充実

◇地域組織の見直し（3件）

- ・高齢化により若者が少なく町内会長は1人で何年もやる状況になっている。しかし、他の所といっしょになったのでは、配りもの件で課題が残る。口座引き落としにしてもいいが、銀行へ入金に行く手段もない。何とかしてほしい

- ・人口が減っていく一方の中、町内や地域で同じようなメンバーで役員をし、組織を回しています。これが嫌で出ていく人、帰ってこない人がいる。そろそろ町内会、地域組織の見直しを図るときだと思います。
- ・旧高山市の社教がまち協になっていると思います。旧高山の人たちはそのままが良いと思います。しかしながら丹生川町には公民館活動もあり、それに対しての会費もあり二重構造になっているので、どちらか一本にするべきであると考えます

◇わからない（5件）

- ・地域の課題がなんなのか（まだ高山市に住んで2年ほどなので）わからない
- ・まち協が各地にあるのは知っているが、まち協がどんな組織でどんな経緯で存在しているのかわかっていないので、なんとも答えにくい
- ・これまでの活動の成果がよくわからない。活動の参加率や結果、予算等明確化が必要
- ・まち協について住民である私たちがよく知りません。青年部の方ががんばってみえる話はおききました。もっと広く知ることが大切だと思います。

◇その他（16件）

- ・現在の取り組みを続けていただければ...と思います
- ・前記問4に例記されている問題・課題に具体的に取り組んでいただきたい。（○をつけたものに限らず）イベントはやった時は楽しいけれどもそこに力を入れるのはまち協の仕事の柱ではない様な気がします
- ・近年、地域での近密感が弱くなってきた様な気がする
- ・地域の人口減少が進む昨今、単に住民の憩いの場として少しでも人が多く集まれば良しが重きを置かれている気がする。私としては①地域課題の解決にどれだけ力が注がれているかが気になるところです。
- ・金、人が減っていく中、自然のままに無理をしない方が良い
- ・どの行事にも言えるんですが、何でも例年通りやろうとし過ぎて組織の柔軟性がなくなっているように思います。見直そうという動きはあるのに。
- ・面倒な事には関わりたくないとの思いをいかに積極的に何かを成すとの思いに変えていくのか？まず1人1人が生き生きとなれる事を進めていく。そのことを基本にしてお一人お一人に地道に訴えて、楽しいという思いを実感させて上げる活動を進めていくときであると思います。
- ・丹生川の発展には大切なことだが、各家庭の事情があるので強制はやめてほしい
- ・まち協は、高山市が地元丸投げした、無責任な組織だと思います。まち協職員も、ほとんど市役所、団体職員の天下り、定年退職後のオアシスですね。
- ・意欲のある人、無関心な人、いろいろな人がいる中、いまいちまとまる事も出来ず、またマナーを守れない人が多い中、いろいろ取り組みをしてもあまり意味があるのかなあと思う
- ・丹生川に移住したくなる、新しい地域コミュニティを考えていく。提案していく。
- ・地区ごとの課題の収集と解決を世代別で取り組む。都市部との交流（丹生川として）。丹生川のブランド作りと発信
- ・丹生川の花火大会は、綺麗だととても評判がいいので、続けて欲しいです。迫力があって、感動します。

- ・丹生川町のスキー場 ほんのき平スキー場。過去に全国大会も行った素晴らしいスキー場です。スキー人口が↓となり、年々来場者が減っている様子。私たち老人でも楽しめる⇒圧雪車で上まで冬の素晴らしい景色が見えるような・・・

- ⇒・「地域課題の解決」、「地域コミュニティの活性化」、「地域団体等の活動支援やコーディネート」、「評価・検証と改善」の順となった。
- ・男女別は同様に「地域課題の解決」、「地域コミュニティの活性化」の順、年代別・地区別とも両者が1位または2位となった。
 - ・地域の特色や住民の願いを尊重した地域コミュニティの活性化として取り組んでいる、まちおこしイベントやスポーツ・文化事業などの大切さとともに、地域の担い手不足や鳥獣被害対応、災害時の対応などの地域課題の解決を重要視する意見が多く聞かれた。

●その他意見（自由記述）（ ）内は回答数 抜粋して掲載

問 12. その他、ご意見やご提案等がありましたらご記入ください

○まちづくり協議会について（109 件）

◇まち協組織運営などについて（18 件）

- ・①役員を引き受けてくださる方がなかなかいないのが大変なのではないかと思います。②役員報酬は大幅に増額すべきと思います。班長さんのような役であれば、ほとんどの住民が交代して行う役であり、報酬は低くて（或いはゼロで）良いと思いますが、まち協の役員さんは少数精鋭の方がやっておられ、全住民が交代にやっていくものではないので、大幅に増額すべきと思います。（予算に不足が生じるのであれば、各家庭から徴収する会費を値上げしてください）報酬の増額によって、役員の引き受け手が現れる可能性もあります。③また、事務局員の給料（報酬）も増額していくべきと思います。昨今、最低賃金の上昇・物価高・実質賃金の目減り等により、各企業に於いても給与の増額が相次いでいます。まち協の運営をお任せしている事務局の皆さんの処遇も改善してください。④役員報酬や事務局員給与の増額をするために、各家庭が負担する会費の金額を何倍かに増額してください。設立当初からずっと同じ会費額で運営していることにも疑問が残ります。「会費収入がこれだけしかないから役員報酬や事務局員の給料は上げられない」という考え方になっていませんか。役員をやらない住民が大半なのだから、「会費を増額して役員をやってくださる方や事務局員の給料を増額する」という考え方で予算組をしてください。
- ・会費を収めた分のリターンは平等(公平性)に必要なかと思います。特にお年寄りイベントに参加しづらい年齢層はお金だけ払ってるだけ。若者など活気ある世代向けのイベントも良いですが、一方で恩恵を受けていない方もいることを忘れないでほしい。
- ・毎年、町内会費でまちづくり協議会に納付しているが、どのように使われ、どのような効果があったのかわからない。行事・講座に参加する人も限られているのではないかと感じる。アンケートの結果を公表し、今後の課題を明らかにしてください。
- ・人件費がほかの地区より多く事業費が少ない
- ・住民の人々の課題解決相談窓口などの事業、まち協会費縮小（一家当りから人数当り）
- ・ほかのまち協に比べ丹生川の世帯負担金が多い、指定管理料を多くしてください。市民は公平であるべき
- ・まち協だよりで決算を公開
- ・まち協の予算のほとんどが事務費になっているようなので、何のためのまち協なのかと疑問に思います。クリーン作戦は今後人手不足になると思われるので考えた方が良くと思います。
- ・年金暮らしの老人からは集金はなんとかやめてもらいたい
- ・各種イベントに出られない、協賛金を出せない人も居るため、やりたい人が協力するか参加費徴収すれば良い（チケット制などをやってみると実態が明らかになる）
- ・丹生川まちづくり協議会と飛騨乗鞍観光協会は統合するべきではないか。似たような協議会が多いような気がする
- ・女性部のあり方を見直して欲しい
- ・丹生川町の社教の土台となっていた公民館活動、高山市と合併後他に例がないからと言う理由でその後援

助がなくなった。その後町協が始まった。公民館活動に対して町協はどうお考えか知りたい。

- ・各地区公民館活動とまち協の活動の在り方を考えるべきである
- ・丹生川町のみならず市全体の指針も行政や他協議会全体で近未来できる事柄について検討する基盤を作ってほしい
- ・高山市（行政）がすすめる地域課題の解決などまちづくりとまち協が行うまちづくりとの違いがよくわからない（明確でない）。まち協は何を目指し、何を担うのか、明らかにしてほしい。現状では旧村時代に実施し、合併後、先細りした各種イベント等の受皿にしかみえない
- ・まち協の役割は本来市の行政として行うべき活動であり、市の地域振興課へ組織再編した方が良い
- ・行政や旧丹生川職員を当てにすることなく自立した組織となること。例えばクリーン作戦。ゴミの回収は旧丹生川職員の善意で行っていますが、町方や坊方の職員は搬送業務はないですね。時間、ガソリン代不公平ですよね。今後地域の職員がいなくなったらどうするのでしょうか。今はいいや。と言うのではなく先を考えた運営も必要だと感じます。アンケート結果も公表していただきたいです。皆が町内のことを真剣に考えることは必要ですよね。アンケート結果を皆に公表することは町民にしっかり考えていただく良いきっかけだと感じます。

◇各種事業について（20件）

- ・クリーン作戦は朝6時から1時間程度でいいと思う
- ・クリーン作戦は一年に1回ではなく、春、夏、秋と3回位は実施した方がよいのではないのでしょうか
- ・158号沿いの環境整備をお金をかけてでもやってほしい(草刈りや伐採等)
- ・158号線の車道、歩道が少しずつですが美しくなってきたよかったです。自分もできるだけ道路の草取り、ゴミ拾い等協力します
- ・クリーン作戦の日が小学校の運動会の延期日なので、日付が変更されるといいと思います
- ・丹生川クリーン作戦の時間を7時以降にしてほしい
- ・丹生川マルシェをいつも楽しみにしています。大人も子どもも楽しめるイベント、ありがとうございます。
- ・いつも丹生川町を住みよい町にして頂き、ありがとうございます。丹生川マルシェはとても素晴らしい活動なため、丹生川の夏まつりや宿讎まつりのような目玉イベントにしてほしい
- ・昔のような丹生川全体でのスポーツ大会が有ればいいかなと思います。
- ・ペットボトルキャップの回収、特に異論はありませんが、どのように役立っているのか知りたいです
- ・フレイルの予防として高齢者が参加できる軽運動等の事業を取り入れてもらう。山口谷川のホタルを増やす取り組みを！！（地域ぐるみで）
- ・ベルマークの回収⇒集める。文化ホールの事務所へもってきてもらう。何かの役に立つのでは・・・と思いますが・・・
- ・信号機の花壇だけは考えてほしい。役員だけのみえの考えが大
- ・各部会の充実とアイデアの発掘で、方向を見いだせないか
- ・出会いの場があるイベントがあるといいと思った
- ・まち協だよりの広報紙を普通の紙にされるといいと思う（お金がかかりすぎ）
- ・丹生川地区でも外国人の方が観光に来られているので英会話教室みたいなものをやればいいのか？

- ・芸能人やアスリートなどの文化講演会、コンサートなどもっと文化ホールを有効に使った企画をお願いします。ヒットした映画の上映会などもっと企画してほしいです
- ・この町の高齢化と若年層の流出により、地域活動が順調ではなくなってまいります。恒例の方主導の活動を進めていくこととなります。今後この町を近隣の中でも注目される様にする為にも、とにかく1人1人が積極的に進んで何かをする。楽しいと思える事、いろいろサークルはありますが、その横の連携を持つ場の発表会を増やしたりすると、別なことにも興味を抱き個人としても普段の生活にも楽しさが出て来るものと思います。
- ・身体障がい者も楽しめる生活（参加できる）が高齢化社会への将来の丹生川にも結びつくのでは。段差、混雑を考えると行ってもなあ〜とあきらめる。「車いすでも押し車でもおいでよー」そういう気持ち、気持ちだけでもほしいです。（問5で⑤なのですでに発信呼びかけをしてあるとしたらごめんなさい）

◇まち協だよりについて（6件）

- ・新聞を購読していないため、まち協だよりが届きません。広報たかやまのように各家庭に届くようにしてもらいたいです。町内から案内が回覧でも回ってきますが情報を早く知りたい時に不便でした。例えばクリーン作戦、夏まつりの日時です。
- ・新聞を購読しておらず、まち協便りが入手出来ないので配布方法を見直してほしい。
- ・毎月楽しみにまち協だよりを購読しています。若者は、紙媒体は読まないの、QRコードを載せる以外に、まち協のInstagramをもっと活用した方が良くと思います。そして、SNS運用をもっと発信して欲しいです。イベントがなくても毎月SNS発信して欲しいです。飲食店の紹介など...今後も楽しみにしています！
- ・素敵な事業や講演会など、イベントがあっても知らずにいけないことが多いと感じます。Instagram等SNSの発信に力を入れていただきたいです。まち協の方々だけでは負担が多いかもしれないので、丹生川町民の20代の子たちに発信をお願いするのも良いと思います！頑張ってください"
- ・まち協だよりはわかりやすく見やすいので楽しみにしています
- ・まち協事業で知らないことがたくさんありました。（このアンケートで知りました）。我が家にはにゅうかわまち協だより届かず、そのため実家に帰った時に読んでます。子供対象の取り組みもたくさんありそうなので、届けてもらえると嬉しいです。

◇イベントについて（22件）

- ・宿儺祭り及び夏祭りは高山市の方からも評判がいいです!ただ毎年あまり代わり映えしないし規模が少し小さい気がします!
- ・住民の減少や高齢化でイベントの維持や開催が大変な事は重々わかりますが、せっかくの人気イベントなので規模をもう少し大きくして収益などにつながらないかと考えます。例に言うと馬瀬川花火大会などはすごく有名ですよね?他県からも注目されるようなイベントが1つあるだけで丹生川のよさやこんな町があるぞというのを広げられるのかなと思います。どんどん人口が減りこのままでは町協というより丹生川町が寂れていってしまいそうで怖いです、、、
- ・ウィンターカーニバルよく分からない。
- ・イベントどれも最高です。丹生川すんでいてよかったと思います。大変だと思いますが頑張ってもらいたいです。

- ・イベント等、催す側の役の方は大変だと思いますが、このようなイベントを通じて町内のいろんな人とコミュニケーションがとれていたら、災害時など緊急時にもいろんな事がスムーズにいくと思うので是非続けてほしいと思います
- ・夏祭りについて。集客数に対してお店(食品販売)の数が圧倒的に少ないです。スペースの問題もあると思いますがそのバランスを取らないと、いつまでたってもお客さんの長い列ができる事になります。年に一度のイベントを楽しみに来る方ばかりなので改善を希望します。
- ・イベントの準備などは役員さんがたいへんだろうと思いますが、楽しみにされている方もおられるだろうし、今まで通りでよいのではと思います。何かサークルなど活動しようと思うと、その中から代表者を決め、役員を決めなければ運営は成り立ちません。年齢を重ねるうちにそういう事が負担に感じるようになりました。のんびり暮らしていけたらいいなあと思うこのごろです
- ・夏まつりの花火をスマホ等で見れると良いと思う
- ・夏まつりとウィンターカーニバルにする
- ・イベント参加や役員として関わったことのない人はまだたくさんいて、その人にとつたらまち協の意義とか分かりにくかったりするかも知れないと思う。青年部とか使って、より浅くでも広くの人に関わってもらって、まちづくりが他人事ではなく、自分たちのためのことだと考えてもらうことが必要だと思う。
- ・夏まつりだけ継続
- ・無償の人員が必要なイベント等は時代の流れるに廃止で良いと思うまたは、参加したい人で実施する
- ・イベントを2～3年休止してみて、どうしてもという団体があったら、そこに任せる方法もあるのでは。組織を見直し、従来よりあるものを廃止、または活動を縮小するなど予算内で（市よりの金のみで今いかほどかしりませんが）行えるものへと変える方向で取り組んでほしいと思う。以前のをそのまま引きずらないでカットすべきはカットする。今、日本経済、家庭経済は大変なんですから"
- ・夏まつりか宿讎まつりどちらかで良い
- ・まち協のイベントは楽しいので参加しますが、ボランティアとかで運営の手伝いをしてくださる方々には頭が下がります。夏まつりの協賛金を各戸から3・4回くらい徴収しても良いと思います
- ・引っ越してきて数年で、年齢的にも、参加していてよいのかちゅうちよする。新しい方が引っ越して来たら、説明会などあればよいのでは。イベントの時に、バンドなど出ていますが、ダンスなど流行っているので楽しめるのでは。大々的にカラオケで競い合いとか、地元の特産品や温泉券など商品にするとか。組？ちくでの競い合いとか（新宿のど自慢大会、三井ビル参考）。夏まつりの花火大会の有料席を作る。みやすい家の方からは積極的に協賛金を集める
- ・宿讎まつりは4年に1度盛大に、夏まつりは毎年、ウィンターカーニバルは参加者が少なければ廃止。住みごころの良い地域にしてほしい。町内役員は住民の減少、または高齢化により特定の人材に集中してきている。町内の再編も必要。また町内の班についても町内で再編が必要となってきているのでは。少なくともまち協の役割（員）に町内役員を含める事も考える必要があるのでは
- ・丹生川全体の行事も必要ですが、地区別の集まりも大切で、その方が集まりやすい（行きやすい）かなと思います。秋の宿讎まつりは農業の町なので野菜販売をメインに催した方がよいと思う。先日一ノ宮町おいぬ市

の切腹ピストルズの太鼓良かったので、そんな感じのを取り入れて宿儺まつりを盛り上げてもいい（チケット販売して）

- ・先日、飛騨一之宮水無神社の行事に行きましたが、その時の“男性による太鼓”の演舞が大変すばらしく感動しました。（料金が 4,000 円）と割高と思いましたが）それに見合うぐらいはすばらしかった。“本物”を目指すことが肝要だと痛感しました。
- ・問 10 を⑤と選択しましたが、夏まつりと宿儺まつりは 1 イベントとして集約し、内容の合理化、充実化、人員の負担減少を図ってみたいと思います
- ・ウインターカーニバルは廃止。マルシェは大変良いと思いました。若い方々が頑張っ活動してみえる事が感じられました
- ・いつもご協力ありがとうございます。まちづくり協議会（まち協）の人員面での制約を考慮し、地域住民が主体的に活動するしくみづくりを提案したいと思います。現在、人口減少が問題となっている中、知名度の低い地域には人も集まりにくい状況です。そのため、まずは地域を知ってもらうことが人口減少の課題解決の第一歩だと考えています。とにかく、地域における関係人口を集めることができればどんなことでも支援するといったものです。地域に来訪者を増やすため、以下のような取り組みを提案します：地域住民自らがイベント（まつり、コンサートなど）を企画し、プレゼンテーションを行う。採択された企画に対し、初期の運営費として一定額を支援する。イベント実施後、来場者数に応じて追加の補助金を支給する。来場者数の把握方法としては、AI カメラの使用、集合写真でのカウント、または自主申告など、状況に応じて選択可能です。提案の件は dowol ですが、地域で頑張ろうとする人々の勇気と意欲をさらに支える、そんなまちづくり協議会であってほしいと考えています。”

◇運営の担い手やボランティアについて（10 件）

- ・丹生川のことを考えて下さるまち協の活動に感謝しています。ありがとうございます。今後温暖化の影響で、地域の人同士の助け合いや交流が大切になる時が必ず来ます。その時のために必要な、人と人を繋ぐことが、まち協の役割でもあると普段考えています。スポーツ、行事、どのイベントにしても、これまでやってきたからやるのではなく「本当に必要で、やりたいと思っている人が多い企画」を考え直すといいなと思います。また、それに関わる人の負担が少なくなる工夫、もしくは、「そもそも負担というものが無い企画」だったら、長続きすると思います。そのためにはまち協のかたに頼るだけでは駄目ですね。楽しくて、やりたい人が率先してやる行事が理想ですし、そのための協力をしたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・各行事を行うに当たり、関係者または、役員の負担が大きくなりそうだと、長く続かないのではないのでしょうか？
- ・町教に限らず、ほぼボランティアの方で成り立っている活動は考えたほうがいいのかと感じます。時代に合っていないやめたほうがいいです。参加したいと感じる特に若い世代が参加したいと思える活動に力を入れるべきだと思います。仕事を削ってまで地域の為に動ける考えの人は減ってますし、ましてや企業も実際そういった考えが大事なことを理解しつつも人手不足や業績の良し悪しで理解されない会社員の方も増えてます。出来ればこのアンケートも 10 代、20 代の方に絞って行えばまたちがう角度で何か見えてくるものがあるとおもいます。

- ・いつもありがとうございます。いろいろな計画をしていただいて感謝しています。行事に参加したときに役員さん？と聞かれました。役員じゃないで参加しにくいと言われることもまだまだあるようです。積極的に参加できる雰囲気になると良いです。花いっぱいについても草取りなどボランティア活動で呼びかけをして役だからの負担を少なくしていけたら良いかと思えます。ボランティアカードみたいなのがあってポイントで何かお楽しみがあるなんていいかも..."
- ・行事を行うにあたって、地区公民委員などは、特に負担が多く感じられます。役割の分担などをもう少し考えていただきたく思います。
- ・たくさん行事を行ってくださり、活性化につながっていると思う。いつもありがとうございます。ただ、活動が多いと役員さんの負担や協力金の負担も町民に重くかかってくるので、見直しも大切だと思います。
- ・地域課題解決の取り組みに関わることに町内役員がその担当役員となるのなら良いが、イベント等の役員としての出役はどうかと考える⇒役員の負担軽減
- ・働いている人が多く、行事役員など行う余裕が少ないのは仕方がない事で、余裕がある人は逆に健康を害していたりしているのではないかと思うのです（私事ですが）
- ・イベントの開催など大変なことと想います。ありがとうございます。参加する側は楽しませていただいておりますが、主催者の皆様は大変なことも多いと想われます。主催者の方々も負担が減るような仕組みになっていくことが1番であると思えます。
- ・まち協なのかわかりませんが、最近小中学生のボランティアをよく募集していますが、やらせるなら「働く」ということを意識させ、他の大人のスタッフやお客様がある場合はお客様とも積極的に関わらせてほしい。以前ウルトラマンのボランティアに参加していた中学生たちは、暇そうにしている子もいたり、ランナーにフードを提供することはさせてもらえてなかった気がする。特に中学生には社会や大人とどう関わったらいのかという事を感じたり、考えたりする機会にしてほしい。

◇事業の見直しや集約について（5件）

- ・問8で33もの事業がある事を初めて知りました。すべて参加している訳では無いのでどの事業がと言えませんが、参加者が少ない事業は見直しが必要だと思いました。
- ・知らない事業がたくさんあることを知りました。せっかくやるのならもう少し宣伝してほしい
- ・地域の活動を支えていただきありがとうございます。問8を見て多岐に渡り事業があるのだと実感しましたが、もう少し集約してもよいのかなと思います
- ・事業が多すぎるのではないだろうか。似たような事業は部会関係なくまとめていった方が良くと思う
- ・年間たくさんイベントや行事を行ってくださっているのを上記一覧を見て改めて知りました。ありがとうございます。

◇アンケートについて（5件）

- ・無記名でも町内会を選ぶのはアンケートとしてどうなのか？先入観が入るのでは...と書きにくい。二次元コードは必須なので途中でやめた。防災マップを作ってあっても、避難場所までが災害区域（避難場所も）家から出ない方が安全？"
- ・町内会、性別、年代は記入なしにしてもらいたいです。たくさん家庭数がある所はいいと思いますが、うちみたい

な所は…。町内会の範囲をざっくりにしてほしいです。地域別の活動があったらいいなと思います。

- ・旧東小校下で町内会と年代と書いたらほぼ書いた人がわかってしまうので、アンケートにならない！せめて旧東小校下とかでやってほしい
- ・このアンケートがムダにならない様に
- ・いつも丹生川のまちづくりの為に尽力をつくして下さりありがとうございます。丹生川に住んでいる若者が何が必要なのか、アンケートを取って欲しいです。

◇その他（23件）

- ・いつもありがとうございます。
- ・セブンイレブンの移動販売などいつも町内のことを考えてくださってありがとうございます
- ・いろいろと計画していただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします
- ・青年部の活動が活発で、非常に良い事だと思っています。今後も頑張ってください
- ・地域のためにご尽力くださりありがとうございます
- ・まち協の活動ありがとうございます。協力できることを自分なりにしていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。
- ・まち協の方々のいろんなイベント企画には本当に頭が下がります。これからもマイナスな意見にめげずに頑張ってください。応援しております。いつもありがとうございます。
- ・いつも、興味深い企画や、親子で楽しめる企画などを行ってくださりありがとうございます。これからも、参加して行きたいなあと考えています。
- ・いつも地域住民のために活動していただき、たいへんありがたく感謝しています。予算が削られる中の運営はなかなか厳しいことと存じますが、更に民間団体と協力して、暮らしやすいにゆかづくりをどうかよろしくお願いします。
- ・人口減少が進み、生活を維持させるのが困難な状況になっていくことは心配している。限られた人でどのようにコミュニティを維持していくためには、我々の考え方や価値観を変えていくことが重要。でもどうしたら当事者として考え続けられるかはなかなか難しい。まち協の役割は重要と思う。できる限りの支援はしたいと考える。
- ・コロナを経験後、皆さんで集まれる場があることにとてもうれしく思っています。進める側はたいへんかと思いますが、みんなが楽しめるものを心待ちにしている人たちもいると思います。今後もよろしくお願いいたします
- ・高齢になるとイベントの参加などおっくうになってしまいます。まずは若い人たちが増えてこそいろんな催しができると思います。そこからですね。人口が増え丹生川活性化しますように。
- ・無理なく、可能な範囲での活動にしてほしいと思います
- ・活動に携わる方々はいろいろ大変でしょうが、頑張ってください
- ・すべての行事をやめてしまうと、地域のつながりがなくなってしまう高齢者同士が集まって話す所がないと老人がかわいそう。高齢者は自動車がなくなるとふべん
- ・私は他地域からの移住者であり、とても住みやすく良い地域だと感じております。気になる事としては自分たちの高齢化、地域の高齢化、空き家の増加に対して、何でも交付金や補助金をあてにしないでボランティアを募る

具体的な方針を立てる等先を見据えた何か自分が役立てる事を皆さん望んでいる事と思います。

- ・高齢のため、足も悪く参加ができませんが、これからもよろしくお願ひします。頑張ってくださいお願ひします。
- ・介護生活のため参加はできませんが、頑張って取り組んでみえる皆様に感謝です。お願ひします。
- ・イベントなどの行事に参加したくても、出かける事のできない人、そんな人たちがひと月に1度の楽しみ、半年に1度でも人と関わることができたり、買い物や会話ができるといいな
- ・今まで通りの活動をお願ひします。
- ・若い人に負担をかけたくないけど、いまのままお願ひします
- ・地域の課題として人口の減少、高齢化が進む中、それに応じたイベント等の取り組み
- ・丹生川のまち協さんは高山市内でも精力的に頑張られているとは以前、ひだホテルの堀さんから評価されましたヨ。ただ、5年、10年先を見据えたときに坊方より奥の地区が維持できるのか？過疎化や財政不足で災害起きたときどう自助、共助できるかを考えると繋がり持つためのイベントも大切だとは思いますが、もっと生きる力を身につけさせる（個々に）活動も有りかなと個人的に思います。

○丹生川の地域づくりについて（37件）

◇子どもの育成について（9件）

- ・子供の為の活動により力を入れて欲しい
- ・毎年「去年と一緒に」の活動が難しくなるので、考える方は大変ですね。その中でも未来を支えてくれる子供を大事にする魅力的な地域であってほしいです。
- ・未満児、未就学児が楽しめる場所、イベントがあるとうれしいです。まちおこしイベントに参加したいけど、未満児と一緒にだと安全面を考えて参加しにくいです
- ・子ども会行事も子供の多い地区、少ない地区により活動できる内容が違ってくるので、考え直す時期かなと思います。
- ・交通量が多い道路がある中、ガードレールがなく、通学が心配です。高齢者の事故が問題となっているので、子どもたちの安全を地域で守っていききたい、守ってほしい。
- ・子どもたちの学校生活（部活動の移動手段、クラブ化にあたってのなど、高校への送迎）など親の車以外の移動手段を考えて頂けるとありがたい。移動にかかるお金など補助していただけるといいのでは
- ・子どもたち（少ないながらも）遊べる公園にしてほしいです。大きな公園ばかりでなく、ひなびてしまった小さな公園は淋しいです。古いさびた鉄棒、うんていなどなどお願ひいたします。
- ・子どもを遊ばせる場所（公園や屋内市施設）がないので作ってほしい
- ・丹生川には川があるが、子どもが入れるところがない（岩船公園くらい？）子どもでも遊べる水場が欲しい

◇若者支援について（7件）

- ・若い世代が住みたいと思えるような地域にしていきたいとは思う
- ・若者がたくさん働ける環境づくりをよろしくお願ひします。
- ・まち協の広告を見て、新たな事にチャレンジしてみえる事がよくわかります。とてもいい事だなと思います。丹生川をぜひ元気にして、若い人も定住あるいは帰ってきてくれ、子どもも沢山増えるようなところになってもらいたい

す。花火は続けてほしいです

- ・若者に自由な土地を与えてみるのはいかがでしょうか？もう、誰も住んでいない荒れた土地に空き家。自己責任の土地を与えてみる。コミュニティもゼロからつくってもら。必要なコミュニティから、形成されていくのではないのでしょうか。新しい名前の、新しい土地をゼロからつくりだす。それを、まち協で支えいく。新しい村作りで地域や日本を活性化できないだろうか？
- ・若い人の出会いの場を作って、婚活に力を入れてみてはどうでしょう。ほかの地区との連携もあり大変とは思いますが。飛騨全体の人々の交流できるイベントとしてはどうでしょう。
- ・高齢者に優しい街づくり。若者の結婚、子育てに力をいれるべき、そのためには何が必要なのか良く考えること。東京一極集中をやめ、地方の活力を深める工夫をすべき。このままでは日本が悪くなります。今のうちに手を打つ
- ・いろいろな事を考えて、実によくやって見ると感心しています。私はもう高齢者なので、あまり参加できませんが、これからの若い方たち向けのイベントを頑張ってください。

◇生活課題について（21件）

- ・町おこしとかもいいけど、若い人が出ていき年寄りばかり残るばかりでは過疎地になるばかり。丹生川インターが通るし、高山市からの若者の移住を取り込んだり、若者の住みやすい町作りには丹生川は目を向けないのか？食料品や日用品の調達、ゲンキーとコンビニしかない。何処の郡部より不便な地域が丹生川。そういう所にも目をむけてほしい。
- ・小児科のある病院が欲しいです。
- ・医療の問題。診療所は毎日ではないので診療してもらったり薬をもらうのに苦労している。老人ホームが少なすぎるし、高いので家で守りすることになると困る。年なのでイベントには参加できない。地区の交流もほとんどない、ゲートボールもグラウンドゴルフもなくさみしい。草刈りをたのめばかなりひょうがかかるし、若いのに役をやってくれない人がいるなど住みにくいところである
- ・病気や動けなくなったらゴミ出し、買い物、何もできなくなります。話すこともわらうこともなくなり、ポーっとテレビを見てるだけ。家から外に出ることもなくなると思います。薬もなくなっても、もらいに行けずがまんがまん
- ・公民館のそうじは必ず回ってくるのに、全く使ったことがない。もっと意味のある使い方をしてほしい
- ・自分で運転できるうちはよいが、子と一緒に住んでいないため、いろんな面で将来的な不安がたくさん感じる。食料品の買い出し、医療機関の受診などにおいて
- ・高齢者のいるお宅や力不足のご家庭に「雪またじ」を地域でやってほしい。雪かき（除雪車）も雑なので道側の家だと車が出れないので困る
- ・町方のゴミ回収。広い地区の中でコミュニティセンター1箇所って無理がないか？免許返納して車に乗れなくなったらゴミを捨てに来るのも一苦労だろう。車がないとゴミ捨てすら苦労する町って・・・
- ・丹生川町（村）が存続していける最低限の生活レベルを確保してください。地域医療、ショッピング（食品や介護等）。議員の人たちは何を考えて何を実行すべきかよく考えてもらいたい
- ・のらまいかーバスを高山～大洞～丹生川町まで延長していただきたい。特に高齢者が希望している

- ・夜遅くの高山から丹生川行きのバスがないので作って欲しい、そしたら自由な時間に帰る事ができる。支所に売店が欲しい。
- ・役場周辺に道の駅のような住民が参加し、協力し、互いに繋がりを持って地元民や観光客などふれあい、互いを共有し合いたい。すくなっツアーではなく、本当の両面宿働を宿働まつりで伝えたい
- ・タクシーなどを増やしてほしい
- ・このところ特に、ペットボトル・ゴミ（コンビニ袋に食べかす）が道路に投げ捨てられています。見つけては捨ててますがひどいものです。気づいたら捨てたのでどうしようもありません（それぞれが日々気にかけてせめてごみはすてる（ゴミ箱へ））
- ・鳥獣対策（特にイノシシ、ニホンカモシカ）対策してもらいたい
- ・準高速道路の開通により商業地域が変わります。それにつけて研究対策する会議を多く設けて外資に取られない丹生川で対策を真剣に考えるべきです
- ・大谷～瓜田 八本原バイパス 広野〇〇発電所（出〇5000 k 町方）（県〇）（排水管 30mで少ない）東部〇〇事業団〇〇〇の山〇いため〇〇〇〇中止残念。第2事東部〇〇してほしい
- ・丹生川の自然を残せる取り組みに期待します。
- ・祖谷のように、田舎を生かせる取り組みができるとよい。高齢者が多いので、高齢者が困らない生活ができる支援ができるとよい
- ・4年前に丹生川地区でも大きな災害がありましたほかの地区（朝日町）ではまち協でボランティアを集めたと聞いています。丹生川では何もなかったと思います。行事等も大切ですが、助け合うことも大事です

○その他（21件）

- ・自治会費の見直し
- ・行政高山市はやたらと民間・NPO・ボランティアにやらせ、予算を削ろうとしている。無駄なところに予算を使わず市民の要望するところに予算をまわしてほしい。
- ・指定管理者制度の対象事業の見直し。惰性で管理者を指定していないか？効果が少なく、税金のムダ遣いになっていないか？
- ・指定管理業務の自主事業を活用した、まちづくり事業。指定管理業務を連携させた、事務局人件費の適正化
- ・まち協さんをお願いする事ではないかもしれませんが、町民体育館に冷房を考えてもらえればありがたいです。息子がべたべたになって帰ってきてえらくて食事が出来ないと毎日言っています
- ・旧丹生川東小の体育館の破損箇所を高山市では修理しないとっています。白井地区住民と高山市の意識のずれがあり、高山市から住民へきちんと説明していただく機会を作るよう現在考えています。（まち協の問題ではないと思いますが知って頂きたく書きました。）
- ・業者を依頼するときには地元の業者を優先してもらおうと良いと思う。まち協職員の対応が上から目線で感じるこがある。「親しみがある」と「図々しい」は意味が違うことを理解してもらいたい。
- ・特にありません。役員の方々ご苦勞様です
- ・現在子どもも地元を離れ、普段は職場（地域外）にほとんどいるので地元との関係がうすく、イベントにも何

年も参加していませんので、問題点も何もわかりません。申し訳ありません。

- ・御苦労様です、やれることを精いっぱいやる事を自分はモットとしています
- ・返信用のでっかい封筒はもったいないと思います
- ・いろいろの事情でイベントなど参加できていない。あまり理解もしていないので参考になる意見でなくすみません
- ・問題は子どもの数が減少していくことと、高齢になっても楽隠居できず、せつせと働かないと生活できないなんでも金の世の中にしぐみに苦しんでいます
- ・2つの持病を抱えて家の中の生活だけで精いっぱい椅子に座ったままの生活ばかりで淋しい時もありますが、他人様との接触がわずらわしくなりました。たまに訪ねてくる子供がゆいいつの楽しみです
- ・まち協は必要なし
- ・まち協役員がしっかりやってください
- ・にゅうかわに住んでいるが、あまり丹生川のことを知らない
- ・合併後地域間の交流がなくなった。学校統合により楽しみがなくなった

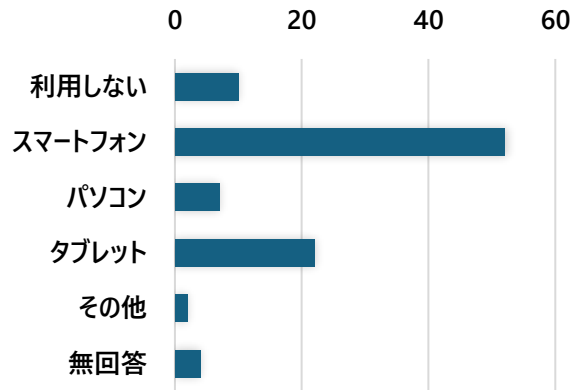
【中学生向け】

●あなた自身について

(1) インターネットの利用状況について

問 1. あなたはインターネットを利用しますか？主にどんな機器を使いますか？

インターネット利用	実数	構成比
① インターネットは利用しない	10	10.3%
② スマートフォン	52	53.6%
③ パソコン	7	7.2%
④ タブレット	22	22.7%
⑤ その他	2	2.1%
⑥ 無回答	4	4.1%
全体	97	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① インターネットは利用しない	5	5	0	0	10
② スマートフォン	16	35	1	0	52
③ パソコン	5	2	0	0	7
④ タブレット	12	10	0	0	22
⑤ その他	2	0	0	0	2
⑥ 無回答	5	5	0	0	10
合計	44	52	1	97	44

学年別内訳	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
① インターネットは利用しない	3	5	2	0	10
② スマートフォン	17	14	21	0	52
③ パソコン	3	1	3	0	7
④ タブレット	8	11	3	0	22
⑤ その他	2	0	0	0	2
⑥ 無回答	1	1	2	0	4
合計	34	32	31	0	97

○全体

- ・中学生でも「スマートフォン」を使ってのインターネット利用が多くおよそ半数が使っている
- ・その次には「タブレット」で利用している
- ・その他では「ゲーム機」の意見があった

インターネット利用	全体	回答数（全 97 件のうち）
1 位	スマートフォン	52
2 位	タブレット	22
3 位	インターネットは利用しない	10

○男女別にみると

- ・男女とも全体と変わらない順位となったが、女性は「スマートフォン」を使う人が男性の 2 倍ほど多い
- ・一方、「パソコン」や「タブレット」は男性の方が多い

インターネット利用	男性	回答数 (全 44 件)	女性	回答数 (全 52 件)
1 位	スマートフォン	16	スマートフォン	35
2 位	タブレット	12	タブレット	10
3 位	インターネットは利用しない	5	インターネットは利用しない	5
3 位	パソコン	5		

○学年別にみると

- ・どの学年も「スマートフォン」でのインターネット利用が多い
- ・1 年生、2 年生では「タブレット」での利用が多いが、3 年生はそんなに多くない

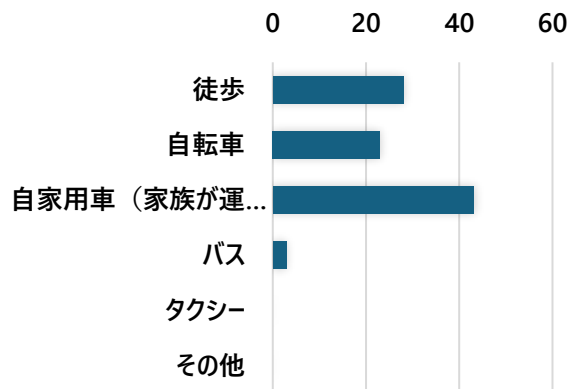
インターネット利用	1 年生	2 年生	3 年生
インターネットは利用しない			
スマートフォン	1 位	1 位	1 位
パソコン			
タブレット	2 位	2 位	

⇒・中学生のインターネット利用は、「スマートフォン」が最も多い。

(2) 日常の移動手段について

問2. 通学や買い物・用事など、あなたの日常の最も多い移動手段は何ですか？

主な移動手段	実数	構成比
① 徒歩	28	28.9%
② 自転車	23	23.7%
③ 自家用車（家族が運転）	43	44.3%
④ バス	3	3.1%
⑤ タクシー	0	0.0%
⑥ その他	0	0.0%
全体	97	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 徒歩	14	14	0	0	28
② 自転車	17	6	0	0	23
③ 自家用車（家族が運転）	12	30	1	0	43
④ バス	1	2	0	0	3
⑤ タクシー	0	0	0	0	0
⑥ その他	0	0	0	0	0
合計	44	52	1	0	97

学年別内訳	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
① 徒歩	15	6	7	0	28
② 自転車	6	11	6	0	23
③ 自家用車（家族が運転）	13	15	15	0	43
④ バス	0	0	3	0	3
⑤ タクシー	0	0	0	0	0
⑥ その他	0	0	0	0	0
合計	34	32	31	0	97

○全体

- ・中学生のほぼ半数は「自家用車（家族が運転）」であった
- ・その次に「徒歩」、「自転車」となった
- ・「バス」を使う人も少しはいる

移動手段	全体	回答数（全 97 件のうち）
1 位	自家用車（家族が運転）	43
2 位	徒歩	28
3 位	自転車	43

○男女別にみると

- ・男性は上から順に「自転車」、「徒歩」、「自家用車（家族が運転）」となった
- ・女性は上から順に「自家用車（家族が運転）」、「徒歩」、「自転車」となった
- ・女性は「自家用車（家族が運転）」がとても多いが、男性では上位 3 項目はそれほど変わらない

移動手段	男性	回答数 （全 44 件）	女性	回答数 （全 52 件）
1 位	自転車	17	自家用車（家族が運転）	30
2 位	徒歩	14	徒歩	14
3 位	自家用車（家族が運転）	12	自転車	6

○学年別にみると

- ・1 年生は上から順に「徒歩」、「自家用車（家族が運転）」、「自転車」となった
- ・2 年生は上から順に「自家用車（家族が運転）」、「自転車」、「徒歩」となった
- ・3 年生は上から順に「自家用車（家族が運転）」、「徒歩」、「自転車」となった
- ・1 年生、2 年生の上位 2 項目はそれほど変わらないが、3 年生は「自家用車（家族が運転）」がとても多かった

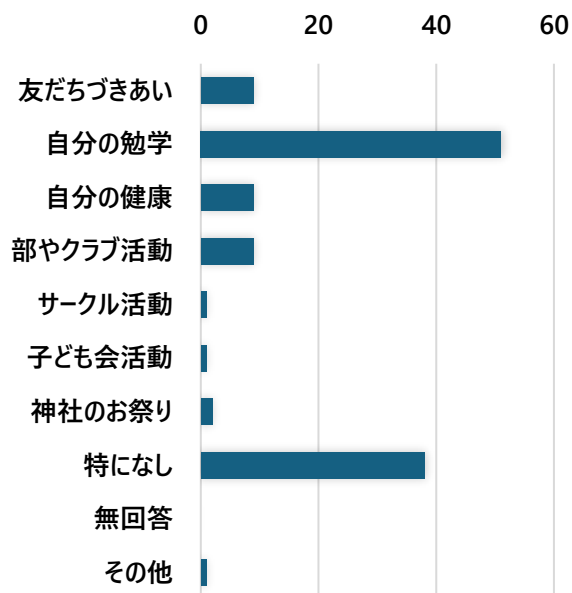
移動手段	1 年生	2 年生	3 年生
徒歩	1 位	3 位	2 位
自転車	3 位	2 位	3 位
自家用車（家族が運転）	2 位	1 位	1 位

- ⇒ ・出かけ先によるが、「家族が運転する自動車利用」が最も多い。
- ・次いで「徒歩」や「自転車」での移動が多いが、坊方や町方在住の中学生が多いことも要因と考えられる。
 - ・公共交通機関の利用は極めて少ない。

(3) 日常生活での困りごとについて

問3. 学校を除くあなたの生活の中で、課題となっていることはありますか？

日常生活での課題	実数	構成比
① 友だちづきあい	9	7.4%
② 自分の勉強	51	42.1%
③ 自分の健康	9	7.4%
④ 部やクラブ活動	9	7.4%
⑤ サークル活動	1	0.8%
⑥ 子ども会活動	1	0.8%
⑦ 神社のお祭り	2	1.7%
⑧ 特になし	38	31.4%
⑨ 無回答	0	0.0%
⑩ その他	1	0.8%
全体	121	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 友だちづきあい	3	6	0	0	9
② 自分の勉強	22	28	1	0	51
③ 自分の健康	5	4	0	0	9
④ 部やクラブ活動	3	6	0	0	9
⑤ サークル活動	1	0	0	0	1
⑥ 子ども会活動	0	1	0	0	1
⑦ 神社のお祭り	0	2	0	0	2
⑧ 特になし	19	19	0	0	38
⑨ 無回答	0	0	0	0	0
⑩ その他	3	6	0	0	9
合計	53	67	1	0	121

学年別内訳	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
① 友だちづきあい	5	3	1	0	9
② 自分の勉学	17	16	18	0	51
③ 自分の健康	3	5	1	0	9
④ 部やクラブ活動	4	2	3	0	9
⑤ サークル活動	0	1	0	0	1
⑥ 子ども会活動	0	1	0	0	1
⑦ 神社のお祭り	2	0	0	0	2
⑧ 特になし	11	14	13	0	38
⑨ 無回答	0	0	0	0	0
⑩ その他	1	0	0	0	1
合計	43	42	36	0	121

○全体

- ・上から順に「自分の勉学」、「特になし」となり、「友だちづきあい」、「自分の健康」、「部やクラブ活動」は同じであった
- ・40%の生徒が「自分の勉学」について課題と感じている

生活の課題	全体	回答数（全 120 件のうち）
1位	自分の勉学	51
2位	特になし	38
3位	友だちづきあい	9
3位	自分の健康	9
3位	部やクラブ活動	9

○男女別にみると

- ・男性と女性ともに上位 2 項目については全体と同じ結果となった
- ・3 番目に課題と感じていることは、男性は「自分の健康」で、女性は「友だちづきあい」や「部やクラブ活動」であった

生活の課題	男性	回答数 (全 53 件)	女性	回答数 (全 66 件)
1位	自分の勉学	16	自分の勉学	35
2位	特になし	12	特になし	10
3位	インターネットは利用しない	5	インターネットは利用しない	5
3位	パソコン	5		

○学年別にみると

- ・上位 2 項目は全体と変わらない
- ・1 年生は「友だちづきあい」が次に多かったがほかの項目とさほど変わらない
- ・2 年生は「自分の健康」が次に多かった
- ・3 年生は上位 2 項目が大きな割合を占める

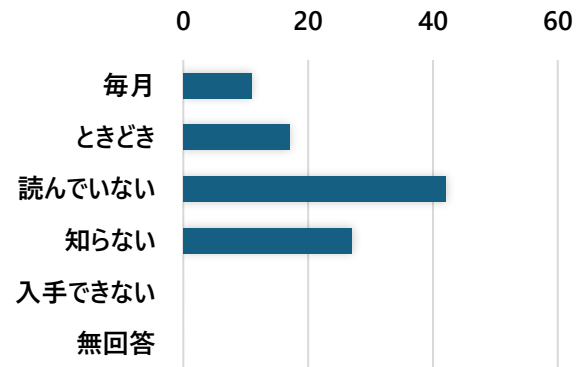
生活の課題	1 年生	2 年生	3 年生
友だちづきあい	3 位	4 位	
自分の勉学	1 位	1 位	1 位
自分の健康	5 位	3 位	3 位
部やクラブ活動	4 位	5 位	
特になし	2 位	2 位	2 位

⇒・中学生は「自分の勉学」に最も課題を感じている。

●丹生川まちづくり協議会について
 (4) にゅうかわまち協だよりについて

問4. あなたは「にゅうかわまち協だより」を知っていますか？

まち協だより	実数	構成比
① 毎月読んでいる	11	11.3%
② ときどき読んでいる	17	17.5%
③ 知っているが読んでいない	42	43.3%
④ 知らない	27	27.8%
⑤ まち協だよりを入手できない	0	0.0%
⑥ 無回答	0	0.0%
全体	97	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 毎月読んでいる	3	8	0	0	11
② ときどき読んでいる	7	10	0	0	17
③ 知っているが読んでいない	22	20	0	0	42
④ 知らない	12	14	1	0	27
⑤ まち協だよりを入手できない	0	0	0	0	0
⑥ 無回答	0	0	0	0	0
合計	44	52	1	0	97

学年別内訳	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
① 毎月読んでいる	4	3	4	0	11
② ときどき読んでいる	7	5	5	0	17
③ 知っているが読んでいない	15	16	11	0	42
④ 知らない	8	8	11	0	27
⑤ まち協だよりを入手できない	0	0	0	0	0
⑥ 無回答	0	0	0	0	0
合計	34	32	31	0	97

○全体

・中学生はまち協だよりについて「知っているが読んでいない」、「知らない」、「ときどき読んでいる」となった

まち協だより	全体	回答数（全 97 件のうち）
1 位	知っているが読んでいない	42
2 位	知らない	27
3 位	ときどき読んでいる	17

○男女別にみると

- ・男性も女性も全体と変わらない順序だった
- ・男性も女性も「知っているが読んでいない」が特に多かった

まち協だより	男性	回答数 （全 44 件）	女性	回答数 （全 52 件）
1 位	知っているが読んでいない	22	知っているが読んでいない	20
2 位	知らない	12	知らない	14
3 位	ときどき読んでいる	7	ときどき読んでいる	10

○学年別にみると

- ・どの学年も「知っているが読んでいない」が一番多く、全体順位と変わらない結果となった
- ・「知らない」、「ときどき読んでいる」は同じくらいだった

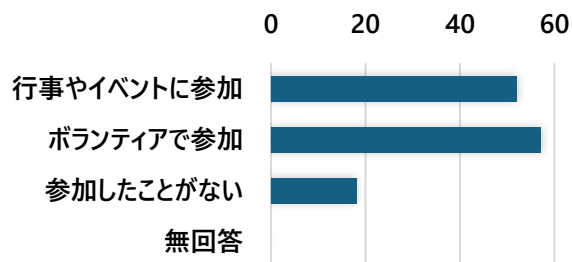
まち協だより	1 年生	2 年生	3 年生
ときどき読んでいる	3 位	3 位	3 位
知っているが読んでいない	1 位	1 位	1 位
知らない	2 位	2 位	2 位

⇒・中学生は、「まち協だよりを読んでいる」との回答は約 3 割、「知っているが読んでいない」は 4 割強、「知らない」は約 3 割であった。

(5) まちづくり協議会活動への参加について

問5. 丹生川まちづくり協議会の活動に、あなたは参加されたことはありますか？

問5. まち協活動に参加	実数	構成比
① 行事やイベントに参加	52	40.9%
② ボランティアで参加	57	44.9%
③ 参加したことがない	18	14.2%
④ 無回答	0	0.0%
全体	127	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 行事やイベントに参加	22	29	1	0	52
② ボランティアで参加	25	31	1	0	57
③ 参加したことがない	8	10	0	0	18
④ 無回答	0	0	0	0	0
合計	55	70	2	0	127

学年別内訳	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
① 行事やイベントに参加	19	12	21	0	52
② ボランティアで参加	16	19	22	0	57
③ 参加したことがない	7	8	3	0	18
④ 無回答	0	0	0	0	0
合計	42	39	46	0	127

○全体

- ・「ボランティアで参加」が一番多いが、「行事やイベントに参加」も同じくらい多い
- ・「参加したことがない」人もいる

まち協活動に参加	全体	回答数（全 127 件のうち）
1 位	ボランティアで参加	57
2 位	行事やイベントに参加	52
3 位	参加したことがない	18

○男女別にみると

- ・上位 3 項目は全体と同じ順位となった
- ・上位 3 項目での性別での差はあまりみられない

まち協活動に参加	男性	回答数 （全 55 件）	女性	回答数 （70 件）
1 位	ボランティアで参加	25	ボランティアで参加	31
2 位	行事やイベントに参加	22	行事やイベントに参加	29
3 位	参加したことがない	8	参加したことがない	10

○学年別にみると

- ・1 年生は上から順に「行事やイベントに参加」、「ボランティアで参加」、「参加したことがない」となった
- ・2 年生と 3 年生では上から順に「ボランティアで参加」、「行事やイベントに参加」、「参加したことがない」となった
- ・3 年生では「行事やイベントに参加」と「ボランティアで参加」はほぼ同じであった

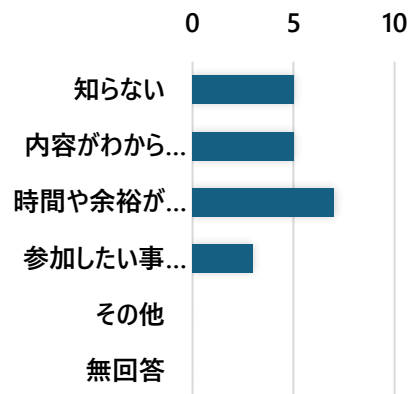
まち協活動に参加	1 年生	2 年生	3 年生
行事やイベントに参加			
ボランティアで参加	1 位	1 位	1 位
参加したことがない			

⇒・中学生は 85%が何らかの活動に参加しており、「ボランティアとしての参加」が 45%と大きなウエイトを占めている。

(6) まちづくり協議会活動に参加しない理由について

問6. 問5で「③参加したことがない」と答えた主な理由は何ですか？

参加しない理由	実数	構成比
① まち協のことを知らない	5	25.0%
② 名前は知っているが活動内容がわからない	5	25.0%
③ 参加したいが、時間や余裕がない	7	35.0%
④ 参加したい事業がない	3	15.0%
⑤ その他	0	0.0%
⑥ 無回答	0	0.0%
全体	20	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① まち協のことを知らない	2	3	0	0	5
② 名前は知っているが活動内容がわからない	1	4	0	0	5
③ 参加したいが、時間や余裕がない	4	3	0	0	7
④ 参加したい事業がない	2	1	0	0	3
⑤ その他	0	0	0	0	0
⑥ 無回答	0	0	0	0	0
合計	9	11	0	0	20

学年別内訳	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
① まち協のことを知らない	2	2	1	0	5
② 名前は知っているが活動内容がわからない	4	1	0	0	5
③ 参加したいが、時間や余裕がない	1	5	1	0	7
④ 参加したい事業がない	2	0	1	0	3
⑤ その他	0	0	0	0	0
⑥ 無回答	0	0	0	0	0
合計	9	8	3	0	20

○全体

- ・「参加したいが、時間や余裕がない」が一番多く、次いで「まち協のことを知らない」、「名前は知っているが活動内容がわからない」は同じとなった
- ・「参加したい事業がない」という人も少しいた

参加しない理由	全体	回答数（全 20 件のうち）
1 位	参加したいが、時間や余裕がない	7
2 位	まち協のことを知らない	5
3 位	名前は知っているが活動内容がわからない	5

○男女別にみると

- ・男性では「参加したいが、時間や余裕がない」が一番多く、「まち協のことを知らない」、「参加したい事業がない」が同じであった
- ・女性では「名前は知っているが活動内容がわからない」が一番多く、「まち協のことを知らない」、「参加したいが、時間や余裕がない」が同じであった
- ・女性はどれも同じような数であった

参加しない理由	男性	女性
まち協のことを知らない	2 位	2 位
名前は知っているが活動内容がわからない		1 位
参加したいが、時間や余裕がない	1 位	2 位
参加したい事業がない	2 位	

○学年別にみると

- ・1 年生では「名前は知っているが活動内容がわからない」が一番多く、「まち協のことを知らない」、「参加したいが、時間や余裕がない」が同じであった
- ・2 年生では「参加したいが、時間や余裕がない」が一番多く、次いで「まち協のことを知らない」であった
- ・3 年生では特に大きな差はなかった

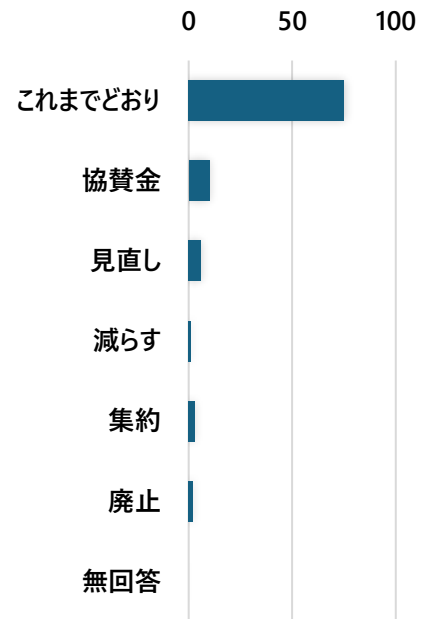
参加しない理由	1 年生	2 年生	3 年生
まち協のことを知らない	2 位	2 位	1 位
名前は知っているが活動内容がわからない	1 位		
参加したいが、時間や余裕がない		1 位	1 位
参加したい事業がない	2 位		1 位

⇒・中学生の参加しない理由は、「参加したいが時間や余裕がない」、「名前は知っているが活動内容がわからない」、「まち協のことを知らない」、「参加したい事業がない」の順となった。

(7) まちおこしイベントの今後の在り方について

問7. まちおこしイベントの今後の在り方をどうお考えですか？

イベントの在り方	実数	構成比
① これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	75	77.3%
② まち協補助金は減っても、 その分住民の協賛金を集め、 これまでどおりの規模で3 イベントを実施	10	10.3%
③ 3 イベントとも見直し、縮小する	6	6.2%
④ まち協補助金の対象イベントを減らす	1	1.0%
⑤ まち協補助金対象を1 イベントに集約し、 合理的に実施	3	3.1%
⑥ 3 イベントとも廃止する	2	2.1%
⑦ 無回答	0	0.0%
全体	97	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	34	40	1	0	75
② まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、 これまでどおりの規模で3 イベントを実施	3	7	0	0	10
③ 3 イベントとも見直し、縮小する	2	4	0	0	6
④ まち協補助金の対象イベントを減らす	1	0	0	0	1
⑤ まち協補助金対象を1 イベントに集約し、合理的に実施	2	1	0	0	3
⑥ 3 イベントとも廃止する	2	0	0	0	2
⑦ 無回答	0	0	0	0	0
合計	44	52	1	0	97

学年別内訳	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
① これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	28	23	24	0	75
② まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、 これまでどおりの規模で3 イベントを実施	4	5	1	0	10
③ 3 イベントとも見直し、縮小する	1	3	2	0	6
④ まち協補助金の対象イベントを減らす	0	1	0	0	1
⑤ まち協補助金対象を1 イベントに集約し、合理的に実施	1	0	2	0	3
⑥ 3 イベントとも廃止する	0	0	2	0	2
⑦ 無回答	0	0	0	0	0
合計	34	32	31	0	97

○全体

- ・「これまでどおりまち協補助金を使い、3 イベントとも積極的に実施」が一番多い
- ・次いで「まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、これまでどおりの規模で3 イベントを実施」が多い
- ・その他の項目には大きな差がない

イベントの在り方	全体	回答数（全 97 件のうち）
1 位	これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	75
2 位	まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を 集め、これまでどおりの規模で3 イベントを実施	10

○男女別にみると

- ・男女とも「これまでどおりまち協補助金を使い、3 イベントとも積極的に実施」が一番多い
- ・男性はその他の項目に大きな差はないが、女性は「まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、これまでどおりの規模で3 イベントを実施」が2 番目に多い

イベントの在り方	男性	回答数 (全 44 件)	女性	回答数 (全 52 件)
1 位	これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	34	これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	40
2 位			まち協補助金は減っても、その分 住民の協賛金を集め、これまで どおりの規模で3 イベントを実施	7

○学年別にみると

- ・どの学年も「これまでどおりまち協補助金を使い、3 イベントとも積極的に実施」が一番多い
- ・1 年生と2 年生は2 番目に「まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、これまでどおりの規模で3 イベントを実施」が多い
- ・3 年生は2 番目に「3 イベントとも見直し、縮小する」、「まち協補助金対象を1 イベントに集約し、合理的に実施」、「3 イベントとも廃止する」が同じであった

イベントの在り方	1 年生	2 年生	3 年生
これまでどおりまち協補助金を使い、 3 イベントとも積極的に実施	1 位	1 位	1 位
まち協補助金は減っても、その分住民の協賛金を集め、これまでどおりの規模で3 イベントを実施	2 位	2 位	
3 イベントとも見直し、縮小する			2 位
まち協補助金対象を1 イベントに集約し、合理的に実施			2 位
3 イベントとも廃止する			2 位

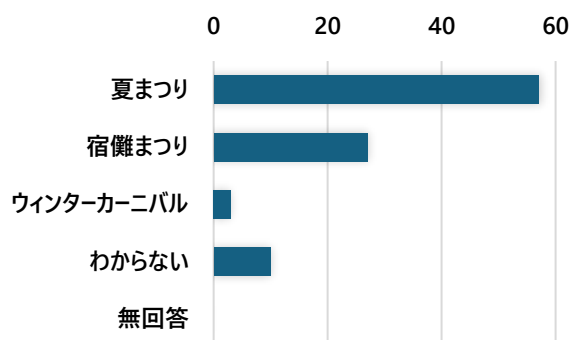
⇒・中学生は、「これまでどおりまち協補助金を使い3 イベントを積極的に実施」の回答が 77%と大きなウエイトを占めた。

- ・1、2 年生と3 年生に意向の違いがあった。

(8) 最も大切にしたいまちおこしイベントについて

問 8. 3つのまちおこしイベントのうち、最も大切にしたいイベントはどれですか？

大切にしたいイベント	実数	構成比
① 夏まつり	57	58.8%
② 宿儺まつり	27	27.8%
③ ウィンターカーニバル	3	3.1%
④ わからない	10	10.3%
⑤ 無回答	0	0.0%
全体	97	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 夏まつり	26	30	1	0	57
② 宿儺まつり	8	19	0	0	27
③ ウィンターカーニバル	3	0	0	0	3
④ わからない	7	3	0	0	10
⑤ 無回答	0	0	0	0	0
合計	26	30	1	0	57

学年別内訳	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
① 夏まつり	22	20	15	0	57
② 宿儺まつり	8	8	11	0	27
③ ウィンターカーニバル	1	1	1	0	3
④ わからない	3	3	4	0	10
⑤ 無回答	0	0	0	0	0
合計	34	32	31	0	97

○全体

- ・上から順に「夏まつり」、「宿儺まつり」、「わからない」となった
- ・「夏まつり」はおよそ 60%の割合で大切にしたいと考えられており、「宿儺まつり」はおよそ 30%だった

大切にしたいイベント	全体	回答数 (全 97 件のうち)
1 位	夏まつり	57
2 位	宿儺まつり	27
3 位	わからない	10

○男女別にみると

- ・男女ともに「夏まつり」が一番多い
- ・男性は 2 番目が「宿儺まつり」で、3 番目は「わからない」だがあまり差はない
- ・女性は 2 番目が「宿儺まつり」で、3 番目は「わからない」だが大きな差がある
- ・「ウィンターカーニバル」は男性に大切にしたいと思われている

大切にしたいイベント	男性	回答数 (全 44 件)	女性	回答数 (全 52 件)
1 位	夏まつり	26	夏まつり	30
2 位	宿儺まつり	8	宿儺まつり	19
3 位	わからない	7	わからない	3

○学年別にみると

- ・どの学年も「夏まつり」を一番大切にしたい
- ・1 年生、2 年生ともに 2 番目は「宿儺まつり」だが、「夏まつり」とは差がある
- ・3 年生も 2 番目は「宿儺まつり」だが、「夏まつり」との差はあまりない

大切にしたいイベント	1 年生	2 年生	3 年生
夏まつり	1 位	1 位	1 位
宿儺まつり	2 位	2 位	2 位
ウィンターカーニバル			
わからない	3 位	3 位	3 位

⇒・中学生が最も大切にしたいまちおこしイベントは、夏まつりが約 6 割を占めた。

- ・1、2 年生と 3 年生では、夏まつりと宿儺まつりなどに対する重みの違いがうかがえた。

(9) まち協が取り組むといいことについて(自由記述) ()内は回答数 抜粋して掲載
問9. まち協で取り組むといいと思うことや実施してほしい事業はありますか? (自由記述)

全 28 件

◇**イベント関連 (8 件)**

- ・すくな祭りのなべの種類を増やして欲しい
- ・もっと料理の種類数を増やして
- ・秋祭り
- ・祭りを増やしてほしい
- ・中学生とかのお店

◇**講座など (4 件)**

- ・スキーの町民大会
- ・プラモデルを作る
- ・マルシェをする回数を少し増やす
- ・運動ができるイベント

◇**その他 (16 件)**

- ・特になし (15)
- ・たのしめるもの

●丹生川地域について

(10) 丹生川の魅力について (自由記述) () 内は回答数 抜粋して掲載

問 10. 丹生川の好きなところや魅力、ほかに誇れることは何ですか? (自由記述)

全 93 件 (重複回答もあるため、それぞれの項目の合計は 93 件を超える)

◇自然 (80 件)

- ・他の地域にはない豊かな自然などの特色があること
- ・自然がたくさんあって空気が綺麗
- ・修学旅行に行ってみて丹生川の空気の良さがよくわかった
- ・自然が豊かで空気が美味しく落ち着く所
- ・景色がいいし野菜が美味しい
- ・鍾乳洞
- ・川の水が綺麗
- ・綺麗で美しい自然や歴史ある建物や食べ物、優しい丹生川の人々
- ・綺麗、人が少ない
- ・自然そのものを生かした産業が盛んなこと
- ・自然が多いスキー場がある
- ・自然や観光地があるところ
- ・乗鞍などの自然

◇特産物や野菜 (12 件)

- ・特産物がたくさん有ること
- ・食べ物
- ・自然が豊か。美味しいものがたくさんある
- ・野菜が美味しい
- ・空気がいい。トマトが美味しい
- ・自然が良くて美味しい野菜などが取れること

◇人のつながり (8 件)

- ・地域の取り組みがたくさんある、自然豊か
- ・小さな町だから顔見知りや知り合いが多い。近所交流が盛ん
- ・自然が豊かで、人々がとっても優しい
- ・自然、優しい人が多い
- ・自然と人の温かさ
- ・近所の人との関わり
- ・自然や昔ながらの歴史的なものが残ってるものはもちろん魅力だけど、近所の人との会話や挨拶、当たり前で
きることがいいとこだと思う

◇歴史（5）

- ・自然、歴史、人付き合い
- ・両面宿儺
- ・長い歴史、自然がある
- ・空気がおいしいところや、歴史深く、野菜がすごくおいしくところ。

◇イベント（2件）

- ・夏祭り
- ・すくな祭りがいい

◇その他（1）

- ・全くない

(11) 将来の丹生川について（自由記述）（ ）内は回答数 抜粋して掲載

問 11. 将来の丹生川は、こうあって欲しいと思うことはどのようなことですか？（自由記述）

全 85 件（重複回答もあるため、それぞれの項目の合計は 93 件を超える）

◇自然が豊か、守る（26）

- ・緑豊かな町になってほしい
- ・きれいな自然を守りたい
- ・今と変わらず自然が魅力であってほしい
- ・綺麗な自然をたもってほしい
- ・本来の自然を失わずいろんな施設があり人口が増加している

◇人口増加（15）

- ・過疎化せずに適度に人がいる
- ・人が最近減っているので賑やかで自然が綺麗なままでいてほしい。
- ・人口の増加
- ・子供が多い町
- ・人口増加

◇今のまま（15）

- ・今のような綺麗な自然や歴史ある文化が残っていてほしい
- ・今までの姿で良い。それが一番良い。
- ・今の丹生川の状態が維持されていて欲しい

◇まちの発展（16）

- ・もっと遊べる場所がふえてほしい 映画館、サッカーコートとか
- ・自然はそのまま、交通が便利になっている
- ・本来の自然を壊さず子供も大人も過ごしやすい環境
- ・観光客が行き交う
- ・お店がたくさんあり賑やかな街になって欲しい
- ・大都会
- ・丹生川にしか見られない自然の魅力を利用した産業が発達している丹生川
- ・人が溢れるくらい来て欲しい
- ・人々でにぎわっている町

◇明るいまち（14）

- ・他県に出ても帰ってきた時に昔の仲間で集まれるような町
- ・今やっている行事やイベントが続いていること
- ・今までみたいに特にイベントでは賑わっている温かみのある地域がいい
- ・みんなが安心して暮らせていて、活性化が進み、過疎化が止まっている。丹生川がずっと存在していて欲しい。

- ・遊びにこれる
- ・今の丹生川のように人々が笑顔であってほしい
- ・明るくて優しい丹生川
- ・今のように地域の取り組みが多くて、自然豊かな丹生川
- ・活気がある
- ・環境が良く住みやすい
- ・平和

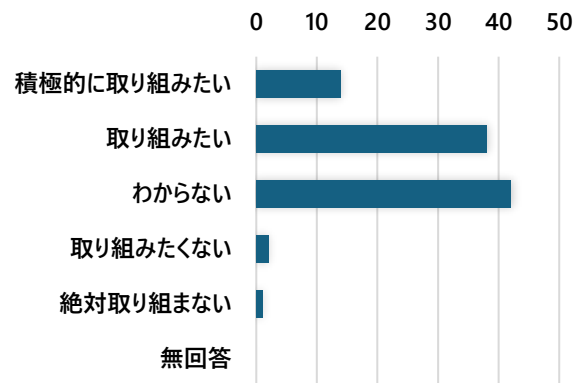
◇その他（４）

- ・ダンス
- ・特になし

(3) 丹生川のまちづくりに取り組みたいか

問 12. あなたは将来、ふるさと丹生川のまちづくりに取り組みたいと思いますか？

丹生川のまちづくりに取り組みたいか	実数	構成比
① 積極的に取り組みたい	14	14.4%
② 取り組みたい	38	39.2%
③ わからない	42	43.3%
④ 取り組みたくない	2	2.1%
⑤ 絶対取り組みない	1	1.0%
⑥ 無回答	0	0.0%
全体	97	100.0%



性別内訳	男性	女性	その他	無回答	合計
① 積極的に取り組みたい	7	6	1	0	14
② 取り組みたい	16	22	0	0	38
③ わからない	18	24	0	0	42
④ 取り組みたくない	2	0	0	0	2
⑤ 絶対取り組みない	1	0	0	0	1
⑥ 無回答	0	0	0	0	0
合計	44	52	1	0	97

年代別内訳	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
① 積極的に取り組みたい	4	4	6	0	14
② 取り組みたい	14	16	8	0	38
③ わからない	15	12	15	0	42
④ 取り組みたくない	0	0	2	0	2
⑤ 絶対取り組みない	1	0	0	0	1
⑥ 無回答	0	0	0	0	0
合計	34	32	31	0	97

○全体

- ・上から順に「わからない」、「取り組みたい」、「積極的に取り組みたい」となった
- ・「わからない」と「取り組みたい」の差はあまりない
- ・「積極的に取り組みたい」と「取り組みたい」は合わせて 50%を超えている
- ・「取り組みたくない」と「絶対に取り組まない」は少ない

まちづくりに取り組むか	全体	回答数 (全 97 件のうち)
1 位	わからない	42
2 位	取り組みたい	38
3 位	積極的に取り組みたい	14

○男女別にみると

- ・男女ともに「わからない」と「取り組みたい」、「積極的に取り組みたい」となった
- ・男女とも「わからない」と「取り組みたい」の差はあまりない
- ・男性と女性では「積極的に取り組みたい」の差はあまりない
- ・女性では「取り組みたくない」と「絶対に取り組まない」はいない

まちづくりに取り組むか	男性	回答数 (全 44 件)	女性	回答数 (全 52 件)
1 位	わからない	18	わからない	24
2 位	取り組みたい	16	取り組みたい	22
3 位	積極的に取り組みたい	7	積極的に取り組みたい	6

○学年別にみると

- ・1 年生と 3 年生は上から順に「わからない」、「取り組みたい」、「積極的に取り組みたい」となった
- ・2 年生は上から順に「取り組みたい」、「わからない」、「積極的に取り組みたい」となった
- ・1 年生と 2 年生は「わからない」と「取り組みたい」の差はあまりないが「積極的に取り組みたい」は少ない
- ・2 年生に「取り組みたくない」と「絶対に取り組まない」はいなかった
- ・3 年生は「わからない」が一番多いが、「積極的に取り組みたい」と「取り組みたい」との差がある
- ・3 年生は「積極的に取り組みたい」と「取り組みたい」の差はあまりない

まちづくりに取り組むか	1 年生	2 年生	3 年生
積極的に取り組みたい	3 位	3 位	3 位
取り組みたい	2 位	1 位	2 位
わからない	1 位	2 位	1 位

- ⇒ ・地域のまちづくりに「取り組みたい」との回答は 5 割強、「わからない」が 4 割強であった。
 ・高校生以降も継続して地域のまちづくりに取り組みたい思いを失わせない取り組みが重要となる。